

緊急地震速報等の利活用状況調査

結果

平成24年11月

気象庁

目次

I. 調査の概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査手法	3
4. サンプル数・割付	3
5. 調査期間	4
6. 調査票	4
II. 調査結果	21
1. 属性	21
(1) 性別	21
(2) 年代	22
(3) 職業	23
(4) 居住地	24
2. 緊急地震速報に対する意識・認識について	26
(1) 緊急地震速報に関する認知状況	26
(2) 予測震度の誤差の許容範囲	28
(3) 緊急地震速報に対する評価	30
(4) 緊急地震速報が役に立っていると思う理由	31
(5) 緊急地震速報が役に立っていないと思う理由	32
(6) 今後、緊急地震速報を見聞きたい方法	33
(7) 緊急地震速報の発表基準についての意見	35
3. 携帯電話等による入手状況について	36
(1) 緊急地震速報の入手手段としての認知状況	36
(2) 専用報知音の認知状況	37
(3) 所有している携帯電話等	38
(4) 所有している携帯電話等の設定状況	39
(5) 所有している携帯電話等を設定していない理由	40
(6) 携帯電話等の一斉配信サービスにおける利用上の注意事項の認知状況	42
4. 緊急地震速報を見聞きた時の行動について	43
(1) 見聞きた時にとるべき行動の決定状況	43
(2) あらかじめ決めてある取るべき行動の内容【(1)で「決めている」回答者】	44
(3) 見聞きた時に想定される行動【(1)で「具体的に決めていない」回答者】	46
(4) とるべき行動をあらかじめ決めていない理由【(1)で「決めていない」回答者】	47
(5) 緊急地震速報を見聞きた経験	48
(6) 緊急地震速報を見聞きた時に得た情報について	49
(7) 緊急地震速報を見聞きた時に得た情報の入手手段(方法)について	50

目次

(8) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【①いつ】	52
(9) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【②どこで】	53
(10) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【③何をしていた時】	55
(11) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【④どのような行動をとった】	58
(12) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【⑤行動を起こした順番】	60
(13) 緊急地震速報を見聞きして行動をとった(とれた)理由	62
(14) 緊急地震速報を見聞きして行動をとらなかった(とれなかった)理由	63
(15) 緊急地震速報を見聞きした際に思ったこと	65
(16) 緊急地震速報を見聞きした際に地震の揺れで身の危険を感じたかどうか	67
(17) 緊急地震速報で被害を軽減できた事例	68
5. 地震への備え等について	69
(1) 緊急地震速報の訓練の必要性	69
(2) 訓練への参加経験・参加理由	70
(3) 訓練に参加していない理由	72
(4) 地震への備えの対処状況	74
(5) 地震情報の入手状況	75
(6) 地震に関して経験や興味があること	76
(7) 緊急地震速報に対する意見・要望	77

I. 調査の概要

1. 調査目的

緊急地震速報については、東北地方太平洋沖地震とその後の活発な余震活動のために精度が低下し、現在も、頻度は少なくなったものの適切とはいえない緊急地震速報が発表される状況にある。

このような中で、本調査は、国民の意識の変化や、見聞きした際の行動などにどのような影響があるのかを把握し、今後の緊急地震速報の内容及び提供方法等の改善、利用の拡大を図るための基礎資料の収集を目的として実施した。

2. 調査対象

日本全国に在住の20歳以上の男女個人

3. 調査手法

インターネット上のWEB画面に用意した質問に回答する方式(WEB調査)

4. サンプル数・割付

有効回収数:5,490件 (配信サンプル数:86,269件)

性別、年齢、居住地の分布は、平成22年国勢調査人口等基本集計(総務省統計局)の分布割合を元に割付。回収数は以下の通り。

・回収数一覧表 ※割付との誤差の割合は0.05%未満

回収数	計	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上	回収数	計	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60歳以上
北海道	243	30	39	37	41	96	滋賀県	58	8	10	10	10	20
男	113	15	19	18	20	41	男	28	4	5	5	5	9
女	130	15	20	19	21	55	女	30	4	5	5	5	11
青森県	58	6	8	9	11	24	京都府	113	16	20	18	16	43
男	28	3	4	4	5	10	男	54	8	10	9	8	19
女	32	3	4	5	6	14	女	59	8	10	9	8	24
岩手県	56	6	8	8	10	24	大阪府	379	52	69	63	54	141
男	26	3	4	4	5	10	男	180	26	34	31	26	63
女	30	3	4	4	5	14	女	199	26	35	32	28	78
宮城県	102	14	18	16	17	37	兵庫県	239	31	41	39	37	91
男	48	7	9	8	8	16	男	112	15	20	19	18	40
女	54	7	9	8	9	21	女	127	16	21	20	19	51
秋田県	46	4	6	6	8	22	奈良県	60	8	10	9	9	24
男	21	2	3	3	4	9	男	28	4	5	4	4	11
女	25	2	3	3	4	13	女	32	4	5	5	5	13
山形県	51	6	8	8	8	21	和歌山県	42	3	7	6	7	19
男	24	3	4	4	4	9	男	19	1	4	3	3	8
女	27	3	4	4	4	12	女	23	2	3	3	4	11
福島県	86	10	13	12	16	35	鳥取県	24	2	4	4	4	10
男	41	5	7	6	8	15	男	11	1	2	2	2	4
女	45	5	6	6	8	20	女	13	1	2	2	2	6
茨城県	128	17	21	20	22	48	島根県	32	4	4	4	6	14
男	63	9	11	10	11	22	男	15	2	2	2	3	6
女	65	8	10	10	11	26	女	17	2	2	2	3	8
栃木県	86	11	15	14	15	31	岡山県	82	10	14	12	12	34
男	43	6	8	7	8	14	男	39	5	7	6	6	15
女	43	5	7	7	7	17	女	43	5	7	6	6	19
群馬県	85	10	14	14	14	33	広島県	121	16	20	18	19	48
男	41	5	7	7	7	15	男	57	8	10	9	9	21
女	44	5	7	7	7	18	女	64	8	10	9	10	27
埼玉県	309	43	58	52	48	108	山口県	62	6	10	8	10	28
男	153	22	30	27	24	50	男	29	3	5	4	5	12
女	156	21	28	25	24	58	女	33	3	5	4	5	16
千葉県	266	35	49	45	40	97	徳島県	34	4	6	3	7	14
男	131	18	25	23	20	45	男	16	2	3	2	3	6
女	135	17	24	22	20	52	女	18	2	3	1	4	8
東京都	578	92	117	103	79	187	香川県	40	4	6	6	6	18
男	283	47	60	53	40	83	男	19	2	3	3	3	8
女	295	45	57	50	39	104	女	21	2	3	3	3	10
神奈川県	389	55	75	71	57	131	愛媛県	61	6	10	9	10	26
男	194	29	39	37	29	60	男	28	3	5	4	5	11
女	195	26	36	34	28	71	女	33	3	5	5	5	15
新潟県	104	12	16	15	18	43	高知県	33	4	4	4	6	15
男	50	6	8	8	9	19	男	15	2	2	2	3	6
女	54	6	8	7	9	24	女	18	2	2	2	3	9
富山県	49	6	8	7	8	20	福岡県	216	31	37	33	35	80
男	24	3	4	4	4	9	男	100	15	18	16	17	34
女	25	3	4	3	4	11	女	116	16	19	17	18	46
石川県	50	6	8	8	8	20	佐賀県	36	4	6	6	6	14
男	24	3	4	4	4	9	男	17	2	3	3	3	6
女	26	3	4	4	4	11	女	19	2	3	3	3	8
福井県	36	4	6	6	6	14	長崎県	61	6	9	9	11	26
男	17	2	3	3	3	6	男	27	3	4	4	5	11
女	19	2	3	3	3	8	女	34	3	5	5	6	15
山梨県	36	4	6	6	6	14	熊本県	78	10	12	11	14	31
男	17	2	3	3	3	6	男	36	5	6	5	7	13
女	19	2	3	3	3	8	女	42	5	6	6	7	18
長野県	92	10	15	14	14	39	大分県	51	6	8	7	8	22
男	44	5	8	7	7	17	男	23	3	4	3	4	9
女	48	5	7	7	7	22	女	28	3	4	4	4	13
岐阜県	88	11	14	14	14	35	宮崎県	50	6	8	7	8	21
男	42	5	7	7	7	16	男	23	3	4	3	4	9
女	46	6	7	7	7	19	女	27	3	4	4	4	12
静岡県	161	19	27	26	26	63	鹿児島県	73	8	10	10	14	31
男	78	10	14	13	13	28	男	34	4	5	5	7	13
女	83	9	13	13	13	35	女	39	4	5	5	7	18
愛知県	313	46	60	54	46	107	沖縄県	55	8	10	10	10	17
男	155	24	31	28	23	49	男	27	4	5	5	5	8
女	158	22	29	26	23	58	女	28	4	5	5	5	9
三重県	78	10	13	12	12	31	全国	5490	720	957	883	863	2067
男	38	5	7	6	6	14	男	2633	364	485	443	427	914
女	40	5	6	6	6	17	女	2857	356	472	440	436	1153

5.調査期間

平成24年10月31日(水)～11月5日(月)

6.調査票

緊急地震速報の利活用状況調査アンケート

＜あなたが緊急地震速報についてご存知のこと、緊急地震速報についてのあなたのお考えについてお伺いします。＞

(1) あなたは以下の内容についてご存知でしたか。それぞれ、あてはまる方を選択して下さい。(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

番号	説明	知っていた	知らなかった
①	「緊急地震速報」は、地震が発生した直後、 <u>地震による強い揺れが伝わる前に気象庁から発表される予測情報</u> です。 <u>地震の揺れが伝わった後に各地の詳しい震度等を伝える「地震情報」とは異なる</u> ものです。		
②	地震が発生した場所に近いところでは、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。		
③	緊急地震速報で発表される予想震度の値は、震度階級でプラスマイナス1程度の誤差を伴います。		
④	緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間は長くても十数秒～数十秒です。		
⑤	事故、落雷、機器の障害など地震以外の現象を地震と誤認して、緊急地震速報を発表する可能性があります。		
⑥	特に大規模な地震に対しては、地震の発生した場所や大きさの予測精度に限界があります。		
⑦	複数の地震が同時期に発生したり、近い場所で発生した場合には、それぞれの地震を区別できず、的確な発表ができないことがあります。		
⑧	緊急地震速報には、「一般向けの緊急地震速報(警報)」と「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」の2種類があり、これらは発表の基準やお知らせの仕方が異なります。		

＜一般向けの緊急地震速報（テレビや携帯電話でお知らせ）は、震度5弱以上の強い揺れを予想した場合に、予測震度4以上の地域へ発表されます。
この緊急地震速報の予測震度の誤差について、この程度なら情報として信頼できるというあなたの許容範囲をお伺いします。＞

(2) 以下の場合、あなたは許容できますか。あてはまるものを選択してください。
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

番号	場面	許容できる	許容できない	わからない
①	テレビや携帯電話であ あなたのいる地域に緊急 地震速報が発表され たが、	あなたのいる地域で実際に 観測された震度は4だった		
②		あなたのいる地域で実際に 観測された震度は3だった		
③		あなたのいる地域で実際に 観測された震度は2だった		
④		あなたのいる地域で実際に 観測された震度は1だった		
⑤		あなたのいる地域で震度は 観測されなかった		
⑥	あなたのいる地域に緊 急地震速報が発表され なかったが、	あなたのいる地域で震度3 が観測された		
⑦		あなたのいる地域で震度4 が観測された		
⑧		あなたのいる地域で震度5 弱が観測された		
⑨		あなたのいる地域で震度5 強が観測された		
⑩		あなたのいる地域で震度6 弱以上が観測された		

(3) これまでの経験から、緊急地震速報はあなたの役に立っていると思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。

1. 役に立っている ⇒問(4)へ
2. どちらかといえば役に立っている ⇒問(4)へ
3. どちらかといえば役に立っていない ⇒問(5)へ
4. 役に立っていない ⇒問(5)へ

(4) 問3で「役に立っている」「どちらかといえば役に立っている」とお答えの方にお伺いします。

緊急地震速報はどのような点で役に立っていると思いますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 冷静になれる。心構えができる。
2. 机の下にもぐる、身構えるなど危険回避の行動がとれる
3. 家族など周りの人によびかけたり、助けることができる
4. 防災意識が高まった
5. その他(具体的に:)

⇒問(4)回答者は、全員問(6)へ飛ぶ

(5) 問3で「どちらかといえば役に立っていない」「役に立っていない」とお答えの方にお伺いします。

緊急地震速報はなぜ役に立っていないとお考えですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 揺れの前に速報を見聞きしても、対応できないから
2. 揺れが始まってから速報を見聞きしても、対応できないから
3. 強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかった(あるいは、全く揺れなかった)から
4. 速報に気がつかないことが多かった(あるいは、気がつかなかった)から
5. 速報を見聞きしても何のこともよくわからなかったから
6. 速報が役に立ったという話を聞いたことがないから
7. その他(具体的に:)

(6) あなたは今後、緊急地震速報をどのような方法で見聞きしたいですか。あてはまるもの全て選んでください。また、その中から最も必要と思う項目を一つだけ選んでください。

※「1.見聞きしたい方法」では当てはまるもの全て選んでください。

※「2.最も見聞きしたい方法」では、※1で選んだ項目の中から一つだけ選んでください。

1. テレビの画面や音声
2. ラジオの音声
3. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTT ドコモ:エリアメール、au とソフトバンク:緊急速報メール)
4. スマートフォン(NTT ドコモ:エリアメール、au とソフトバンク:緊急速報メール)
5. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他)
6. パソコンの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他)
7. 緊急地震速報の専用受信装置(端末)
8. マンションなどの共同住宅、学校、職場などでの表示や放送など
9. 防災行政無線や一時的に立ち寄った病院、店舗などの表示や放送など
10. その他(具体的に:)

(7) 現在、「一般向けの緊急地震速報(警報)」が発表されるのは、予想される最大の震度が「5弱以上」の場合ですが、あなたは、この基準についてどう思いますか。次の中から、あなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。

なお、基準となる震度を低くすると、今よりも頻繁に緊急地震速報が発表される一方、基準の震度を高くすると、より強い揺れが来る時しか緊急地震速報が発表されません。地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、基準の震度を低くすると緊急地震速報の発表回数は多くなります。(震度5弱以上の地震は少ない年で1年間に4~5回、多い年で数十回、平均すると10回程度発生しています。震度4の地震は震度5弱のおおむね5倍程度発生しています。)

1. 現在の発表基準(最大震度)を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表が良い
2. 現在のままで良い
3. 現在の発表基準(最大震度)を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方が良い
4. よくわからない

<携帯電話及びスマートフォンを用いた緊急地震速報の入手についてお聞きします。>

気象庁が緊急地震速報(警報)を発表したとき、NTT ドコモ・au・ソフトバンクでは、利用者の携帯電話やスマートフォン(以下、携帯端末)に対して、一斉にメールでお知らせするサービス

(NTT ドコモ:エリアメール、au とソフトバンク:緊急速報メール)を提供しています。

(8) あなたは、このように携帯端末で緊急地震速報(警報)が入手できることを知っていましたか。あてはまるものを一つだけお答えください。

1. 知っていた
2. 知らなかった

(9) 携帯端末の一斉同報機能を用いたメールサービスのうち、緊急地震速報(警報)については専用の報知音(ブザー音)が鳴ることをご存知ですか。あてはまるものを一つだけお答えください。

1. 知っており、聞いたことがある
2. 知っているが、聞いたことはない
3. 知らなかった

(10) 一部の携帯端末では、一斉にメールでお知らせするサービスに対応していなかったり、対応していても事前の設定が必要です。

あなたがお持ちの携帯端末について、あてはまるものを以下から選んでください。(いくつでも)

※携帯端末を複数台お持ちの方は、全ての携帯端末についてお答えください。

※携帯端末をお持ちでない方は、「15. 持っていない」を選んでください。

1. 携帯電話 (NTT ドコモ)
2. 携帯電話 (au)
3. 携帯電話 (ソフトバンク)
4. 携帯電話 (その他)
5. スマートフォン (NTT ドコモ)
6. スマートフォン (au の iPhone)
7. スマートフォン (au の iPhone 以外)
8. スマートフォン (ソフトバンクの iPhone3 又は iPhone3S)
9. スマートフォン (ソフトバンクの iPhone4)
10. スマートフォン (ソフトバンクの iPhone4S)
11. スマートフォン (ソフトバンクの iPhone5)
12. スマートフォン (ソフトバンクの iPhone 以外)
13. スマートフォン (その他)
14. PHS(ウィルコム等)
15. 持っていない ⇒問 (14) へ

(11) あなたがお持ちの携帯端末について、**少なくとも1つ以上**は緊急地震速報 (警報) が入手できるように設定していますか。あてはまるものを一つだけお答えください。

【参考】携帯各社の説明ページ

NTT ドコモ :

<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/>

au :

http://www.au.kddi.com/notice/kinkyu_sokuhou/index.html

ソフトバンク :

http://mb.softbank.jp/mb/service/urgent_news/

1. 設定している ⇒問 (13) へ
2. 設定していない ⇒問 (12) へ
3. 分からない ⇒問 (12) へ
4. 一斉メールでお知らせするサービスに対応した機種ではない ⇒問 (13) へ

(12) 問 11 で「設定していない」「分からない」とお答えの方にお伺いします。
設定していない、分からない理由について、以下の中からあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 携帯端末の設定の仕方が分からないから
2. 設定方法が難しそうだから
3. 携帯端末の操作に慣れていないから
4. 設定してあると思っていたから
5. 携帯端末の報知音を聞いたことがないから
6. 報知音が鳴ると困るから
7. 報知音が怖い(または聞きたくない)から
8. 予想が信用できないから
9. 見聞きしても行動できないと思うから
10. 携帯端末の機能に興味がないから
11. 周りの人の携帯端末の報知音でわかるから
12. 周りの人が利用していないので使わない
13. 他の手段で緊急地震速報を入手しているから
14. その他(具体的に：)

(13) 携帯端末の一斉同報機能を用いたメールサービスは、受信可能な携帯端末を利用していても、緊急地震速報を受信できないなどの、利用上の注意事項があることを知っていますか。

ご存知の事例全てを選択して下さい。

いつでも受信できると思っていた方は「10. いつでも受信できると思っていた」を、このことを全く知らなかった方は「11. 知らなかった」を選んでください。(いくつでも)

1. 受信するための設定が必要(機種による)
2. 受信するために端末のバージョンアップが必要(機種による)
3. 通話中
4. パケット通信中およびその他の通信中
5. 電波の弱いところや圏外にいる場合
6. 携帯端末の電源が切れている場合
7. 電波OFFモードを設定している場合
8. 県境などの受信する場所によって、緊急地震速報で発表された対象エリア外でも受信することがある
9. マナーモードの設定によっては、報知音が鳴らないことがある
10. いつでも受信できると思っていた
11. 知らなかった

<つぎに、あなたが緊急地震速報を見聞きした時の行動についてお聞きします>

(14) あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動をあらかじめ決めてありますか。あてはまるものを一つだけお選びください。

《とるべき行動をあらかじめ決めている (例) 》

- ・机の下などにもぐる
- ・家具や棚 (たな) などを押さえる
- ・近くの安全な場所に移動する
- ・ドアなどを開けて逃げ道を確保する
- ・家具や棚 (たな) などから離れる
- ・周りの人に地震が来ることを知らせる
- ・安全な場所なら揺れに備えて身構える
- ・外に出る 等

《ある程度は意識しているが、具体的には決めていない (例) 》

- ・周囲の状況認識をと思う
- ・安全な場所を探すと思う

1. とるべき行動をあらかじめ決めている
2. ある程度は意識しているが、具体的には決めていない
3. 取るべき行動は何も決めていない ⇒問 (17) へ

(15) 緊急地震速報を見聞きしたときに、とるべき行動をあらかじめ決めているとお答えの方にお伺いします。

具体的にどのような行動をとることになっているか、以下からあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 机の下などにもぐる
2. 家具や棚などから離れる
3. 家具や棚などを押さえる
4. 周りの人に地震が来ることを知らせる
5. 子どもなど身のまわりの人を守る
6. 近くの安全な場所に移動する
7. 安全な場所なら揺れに備えて身構える
8. ドアなどを開けて逃げ道を確保する
9. 外に出る
10. 外出着を着る(くつを履く)
11. テレビをつけるなど他の情報を得る
12. 火を消す
13. 予想された揺れまでカウントダウンをする
14. 誰かに知らせるために電話をする
15. その他(具体的に:)
16. 何も行動をとらないことにしている

(16) 緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動について、ある程度は意識しているが、具体的には何も決めていないとお答えの方にお伺いします。
以下からあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 周囲の状況認識をすると思う
2. 安全な場所を探すと思う
3. その他(具体的に：)

(17) 問 14 で「何も決めていない」とお答えの方にお伺いします。
とるべき行動をあらかじめ決めていない理由について、あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 揺れの強さによって、とるべき行動が違うと思うから
2. 地震発生時の自分・周囲の状況で、とるべき行動が違うと思うから
3. 緊急地震速報が出るような大きな地震なら、何もできないと思うから
4. 日頃から決めなくてはいけないと思っているが、まだ決めていないから
5. そもそも緊急地震速報を信用していないから
6. その他(具体的に：)

(18) あなたは緊急地震速報を見聞きした経験がありますか。あてはまるものを一つ選んでください。

※緊急地震速報でお知らせした強い揺れの地域にご自分のいる地域が入っていない場合を含み、訓練の場合は除きます

1. 1回経験したことがある
2. 2回経験したことがある
3. 3回経験したことがある
4. 4回以上経験したことがある
5. 1回も経験したことがない ⇒問 (26) へ

(19) 問 18 で緊急地震速報を見聞きした経験がある方にお伺いします。
見聞きした経験が複数回ある方は、緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時に得た情報についてお答えください。あなたは、その緊急地震速報によってどのような情報を得ましたか。得た情報が複数ある場合は、その後の行動で最も役に立った情報を一つだけお答えください。

1. あなたがいた場所で、強い揺れが来るまでの猶予時間
2. あなたがいた場所の予想震度
3. 地震の震源、規模(マグニチュード)
4. 地震のおおよその震源地、および強い揺れが予想される地域
5. 緊急地震速報が発表されたこと (報知音だけ聞こえた場合など)
6. よく覚えていない

(20) 先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えの方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**についてお答えください。

あなたが緊急地震速報を見聞きした手段(方法)についてお答えください。得た手段(方法)が複数ある場合は、その後の行動で最も役に立った情報を得た手段(方法)を一つだけお答えください。

1. テレビの画面や音声
2. ラジオの音声
3. 携帯電話(スマートフォンは除く。NTT ドコモ：エリアメール、au とソフトバンク：緊急速報メール)
4. スマートフォン(NTT ドコモ：エリアメール、au とソフトバンク：緊急速報メール)
5. スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他)
6. パソコンの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他)
7. 緊急地震速報の専用受信装置(端末)
8. マンションなどの共同住宅、学校、職場などでの表示や放送など
9. 防災行政無線や一時的に立ち寄った病院、店舗などの表示や放送など
10. その他 (具体的に：)

(21) 先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**の状況についてお答えください。緊急地震速報を見聞きしたとき、それは①いつで、あなたは②どこで③何をしていましたか。また、④その時に緊急地震速報を見聞きしてどのような行動をとったのかお答えください。

①いつ

1. 未明 (0時～3時)
2. 明け方 (3時～6時)
3. 朝 (6時～9時)
4. 昼前 (9時～12時)
5. 昼過ぎ (12時～15時)
6. 夕方 (15時～18時)
7. 夜のはじめ頃 (18時～21時)
8. 夜遅く (21時～24時)
9. よく覚えていない

②どこで

1. 自宅
2. 学校
3. 職場
4. 公共施設
5. 集客施設
6. 自動車
7. バス・タクシー等
8. 電車
9. エレベータ内
10. 屋外
11. その他（具体的に： ）
12. よく覚えていない

③何をしていたとき（あてはまるものを全て選んでください）（いくつでも）

《移動中だった》

1. 電車、バス等に乗っていた
2. 自動車を運転していた
3. 徒歩で移動していた
4. その他の手段で移動していた（具体的に： ）

《工作中・勉強中だった》

5. デスクワークをしていた
6. 会議、講演会、講習会等の大人数で仕事をしていた
7. 接客をしていた
8. 工場等で機械操作や製造作業等をしていた
9. 現場で作業をしていた
10. 勉強をしていた・授業を受けていた
11. その他の工作中だった（具体的に： ）

《仕事などに拘束されていない状態、休みや余暇の状態だった》

12. 運動をしていた
13. 買い物や外食をしていた
14. 料理をしていた
15. 掃除・洗濯をしていた
16. 子どもなど身の回りの人の世話をしていた
17. くつろいでいた（休憩中だった）
18. 寝ていた
19. 食事をしていた
20. お風呂に入っていた
21. トイレに入っていた
22. その他(具体的に：)

《情報接触状況について》

- 23. テレビをみていた・ついていた
- 24. ラジオを聞いていた
- 25. 携帯端末で電話をかけていた
- 26. 携帯端末で電話以外の使用をしていた

- 27. よく覚えていない

④どのような行動をとった（あてはまるものを全て選んでください。）（いくつでも）

- 1. 机の下などにもぐった
- 2. 家具や棚などから離れた
- 3. 家具や棚などを押さえた
- 4. 周りの人に地震が来ることを知らせた
- 5. 子どもなど身のまわりの人を守った
- 6. 近くの安全な場所に移動した
- 7. 安全な場所だったため揺れに備えて身構えた
- 8. ドアなどを開けて逃げ道を確保した
- 9. 外に出た
- 10. 外出着を着た(くつを履いた)
- 11. テレビをつけるなど他の情報を得た
- 12. 火を消した
- 13. 予想された揺れまでカウントダウンをした
- 14. 誰かに知らせるために電話をした
- 15. その他(具体的に：)
- 16. 何の行動もとらなかった(とれなかった) ⇒問 (23) へ ⇒16 以外は (⑤) へ

⑤下記はあなたが前問で選択した、緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時の行動を再度表示しています。

この時の行動について、行動を起こした順番をお答えください。

※表示されている項目分、行動した順番をお答えください。

(例) 4つ項目が表示されていた場合、1～4番の回答になります。

- 1. 机の下などにもぐった 番目
- 2. 家具や棚などから離れた 番目
- 3. 家具や棚などを押さえた 番目
- 4. 周りの人に地震が来ることを知らせた 番目
- 5. 子どもなど身のまわりの人を守った 番目
- 6. 近くの安全な場所に移動した 番目
- 7. 安全な場所だったため揺れに備えて身構えた 番目
- 8. ドアなどを開けて逃げ道を確保した 番目
- 9. 外に出た 番目
- 10. 外出着を着た(くつを履いた) 番目
- 11. テレビをつけるなど他の情報を得た 番目
- 12. 火を消した 番目

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 13. 予想された揺れまでカウントダウンをした | <input type="checkbox"/> 番目 |
| 14. 誰かに知らせるために電話をした | <input type="checkbox"/> 番目 |
| 15. その他(具体的に：) | <input type="checkbox"/> 番目 |

(22) 先ほど、④どのような行動をとったかという設問で、「1」～「15」を選択した方にお伺いします。

緊急地震速報を見聞きして行動をとった(とれた)理由についてあてはまるものを全て選んでください。また、その中から最もあてはまるものを主な理由として一つ選んでください。

※「1. 行動をとった(とれた)理由」であてはまるものを全て選んでください。

※「2. 行動をとった(とれた)主な理由」では、※1で選んだ項目の中から一つだけ選んでください。

《行動をとった(とれた)理由》

1. 地震で揺れたら危険だとその時思った
2. 地震で揺れたら危険だと以前から知っていた
3. 退避できる場所があった
4. すぐやめられる作業をしていた
5. 周囲の人が行動をとった(とろうとした)
6. 緊急地震速報を見聞きしたら行動しようと予め決めていた
7. 緊急地震速報を見聞きしたら行動できるように訓練していた
8. 過去に緊急地震速報を見聞きしたことがあった
9. 過去に緊急地震速報を見聞きして行動をとったことがあった
10. 過去に強い地震の揺れを経験していた
11. 過去に地震の被害を受けたことがあった
12. 緊急地震速報を信用しているから
13. その他(具体的に：)
14. 特に理由はない

⇒問(14)回答者以外は、全員問(24)へ飛ぶ

(23) 問 21-④で「何の行動もとらなかった(とれなかった)」とお答えの方にお伺いします。緊急地震速報を見聞きして行動をとらなかった(とれなかった)理由についてあてはまるものを全て選んでください。また、その中から最もあてはまるものを主な理由として一つ選んでください。

※「1. 行動をとらなかった(とれなかった)理由」についてあてはまるものを全て選んでください。

※「2. 行動をとらなかった(とれなかった)主な理由」では、※1で選んだ項目の中から一つだけ選んでください。

《行動をとらなかった（とれなかった）理由》

1. 突然だったので動転してしまった
2. 行動するには時間がなさすぎた
3. 退避するのに適切な場所がなかった
4. すぐにやめられない作業をしていた
5. 外へ出ようと準備をしていたら避難できなくなった
6. お風呂やトイレに入っていて行動できなかった
7. 眠っていてとっさの対応がとれなかった
8. 面倒だった
9. 何をしてもよいかわからなかった
10. 予想震度が小さかったので、何もする必要はないと思った
11. 今まで大丈夫だったので、今回も大丈夫だろうと思った
12. 自分のいる場所は揺れても安全だと思った
13. (耐震性が高いなど) 自分のいる場所は揺れても安全だとわかっていた
14. 何をしても無駄だと思った
15. 周囲の人が何も行動していなかったから大丈夫だと思った
16. 行動するのがはずかしかった
17. 緊急地震速報を信用していないから
18. その他(具体的に：)
19. 特に理由はない

(24) 先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**の状況についてお答えください。緊急地震速報を見聞きした際、あなたはどう思いましたか。あてはまるものを一つだけお答えください。

1. 強い揺れが来ると思った
2. 揺れが来るとは思ったが、強い揺れが来るとは思わなかった
3. 揺れが来るかどうかはわからないと思った
4. 揺れが来るとは思わなかった
5. 何かの間違いだと思った
6. 何がなんだかわからなかった
7. その他（具体的に：)

(25) 先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**の状況についてお答えください。

その地震では、あなたは地震の揺れによって身の危険を感じましたか。あてはまるものを一つだけお答えください。

1. 非常に感じた
2. やや感じた
3. まったく感じなかった
4. よく覚えていない

(26) 緊急地震速報で被害を軽減できた事例を知っていたら教えてください(日時、場所、状況について、覚えている範囲でできるだけ具体的にお書き下さい)。

※なお、ご提供いただいた情報は、気象庁の今後の周知広報活動で利用させていただくことがあることをご了承ください。

()

<緊急地震速報の訓練についてお聞きします。>

(27) 緊急地震速報の仕組みをもっと多くの人が理解し、見聞きした時には速やかに適切な行動をとってもらうためには、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練が有効という意見があります。

このような訓練は、既に一部の自治体・学校・会社等でこれを防災訓練に取り入れる等により実施されていますが、このことについて、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。あてはまるものを一つだけお答えください。

1. より多くの人が緊急地震速報を理解して有効に活用するためには必要なことだと思う
2. 必要だと思うが、混乱がないよう実施方法をよく検討すべき
3. 本当の地震と間違ったり、混乱する可能性があるので、実施しないほうが良い
4. 仕組みや見聞きした時の行動などは十分理解されており、実施の必要はない
5. わからない

(28) あなたは、このような訓練(架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練)に参加したことがありますか。

参加したことがある場合は、参加したきっかけについて、あてはまるものを全て選んでください。参加したことがない場合は、「14. 緊急地震速報の訓練には参加したことがない」を選んでください。(いくつでも)

1. 訓練の参加呼びかけがチラシ、回覧版等で来たから
2. 訓練の参加呼びかけをHPで見たから
3. 訓練の参加呼びかけを防災行政無線で聞いたから
4. 訓練の参加呼びかけをテレビ・ラジオ(コミュニティ放送含む)で知ったから
5. 訓練に参加して地震に備えようと思ったから
6. 勤務先で訓練に参加することになったから
7. 住んでいる地域、自治会で訓練に参加することになったから
8. 子供・孫の通っている学校や幼稚園等で訓練に参加することになったから
9. 訓練に参加しようと周囲の人(家族・知人・近所の人)に誘われたから
10. 訓練の参加方法等について教えてもらった、あるいは、参加方法等について詳しい人がいたから
11. 地震の強い揺れに見舞われた時のことを思うと不安だったから
12. 自分のいる地域は地震の強い揺れに見舞われる可能性が高い(または、可能性がある)と思ったから
13. その他(具体的に:)
14. 緊急地震速報の訓練には参加したことがない ⇒問(29)へ
⇒選択肢14以外は、問(30)へ

(29) 問 28 で訓練にこれまで参加していない方にお伺いします。

あなたが、このような訓練（架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練）に参加していない理由についてお答えください。あてはまるものを全て選んでください。（いくつでも）

1. 訓練実施のお知らせが来なかったから
2. 訓練実施のお知らせは来たが、都合が合わなかったから
3. 訓練実施のお知らせは来たが、忘れてしまったから
4. 訓練に参加しても地震発生時の行動には効果が無いと思うから
5. 訓練に参加しなくとも揺れ始めたときに臨機応変に行動すればよいと思うから
6. 訓練に参加しても緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどないと思うから
7. 訓練に参加するのは面倒だから
8. 訓練に参加してもどうすればよいかわからないから
9. 自分のいる場所は安全なので、訓練に参加しても意味がないと思うから
10. 周囲の人がだれも訓練に参加していないから
11. 訓練に参加するのがはずかしかったから
12. そもそも緊急地震速報を信用していないから
13. その他(具体的に：)

<その他>

(30) あなたの年齢を教えてください。

1. 20～29 歳
2. 30～39 歳
3. 40～49 歳
4. 50～59 歳
5. 60～69 歳
6. 70 歳以上

(31) あなたの職業を教えてください

1. 農業
2. 林業
3. 漁業
4. 鉱業
5. 建設業
6. 製造業
7. 電気・ガス・熱供給・水道業
8. 情報通信業
9. 運輸業
10. 放送・通信業
11. 卸売・小売業、飲食店
12. 金融・保険業
13. 不動産業

14. 学術研究・専門技術サービス業
15. 宿泊業・飲食サービス業
16. 生活関連サービス業・娯楽業
17. 医療・福祉業
18. 教育業
19. 公務員
20. 主婦、家事手伝い
21. 学生
22. 無職
23. その他

(32) 居住地域

< 47都道府県から回答してください >

(33) あなたの地震への備えについて、あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 建物や設備などの耐震補強を行なった
2. 家具や書棚、ロッカーなどの耐震固定（転倒防止等）を行なった
3. ガラスの飛散防止を行なった
4. 避難経路等の確認を行なった
5. 地震発生時の行動等について家族で確認した
6. 定期的な訓練を行なっている
7. 非常食や非常飲料を確保した
8. 地震保険（火災保険に付随する「地震保険」）に加入している
9. 特に何も行なっていない

(34) 日ごろから地震に関する情報は入手していますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 地震を感じる度にインターネット等で確認する
2. 地震を感じたらテレビをつける
3. 震度等を知らせてくれるメールサービスを利用している
4. 震度等を知らせてくれる PC ソフトやスマートフォンのアプリを利用している
5. 特別に入手する情報は無い

(35) あなたは以下の経験や興味がありますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

1. 地震の強い揺れを体験したことがある
2. 地震の強い揺れで怪我をしたことがある
3. 地震の揺れで被害を受けたことがある
4. 地震の被害を受けた親類から体験談を聞いたことがある
5. 地震の揺れや被害についての言い伝えを受け継いでいる
6. 地震の揺れや被害についてのテレビ番組に興味があり、よく見る
7. 地震の揺れや被害についての講演等に参加したいと思う

8. 地震の揺れや被害についての体験型施設（起震車、シミュレーター、ゲーム、アトラクション等）を体験したことがある
9. 地震の揺れや被害について書かれた本に興味があり、よく読む
10. 地震発生仕組みや揺れに興味があり、揺れの感じ方でP波（縦波）、S波（横波）を区別できる
11. 長周期地震動による揺れや被害について興味がある
12. 長周期地震動に対して気象庁が新たな防災情報を発表する予定であることを知っており、これに興味がある
13. 上記について特に経験や興味があるものがない

(36) 緊急地震速報のサービスは、継続的に改善をしていく必要があると考えられます。緊急地震速報の放送内容や携帯電話への配信、警報音、周知・広報に関する事など、どのようなことでも結構ですので、緊急地震速報に対するあなたのご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。（ご自由にお書きください）

[]

II. 調査結果

1. 属性

(1) 性別

① 設問(アンケートモニター情報より)

あなたの性別を教えてください。

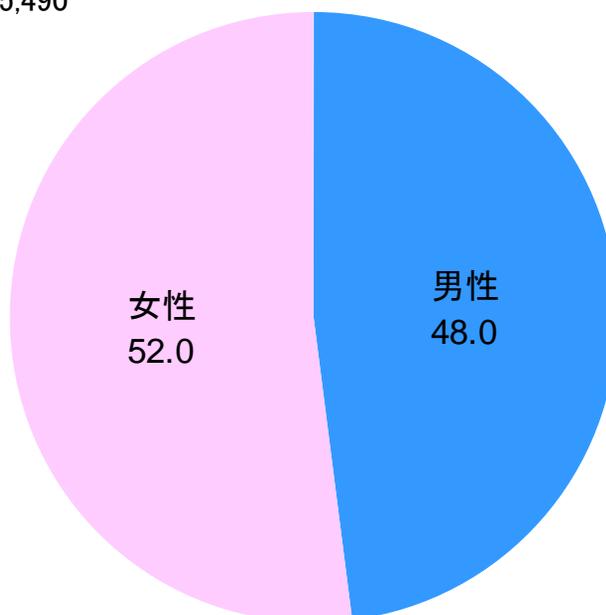
② 回答数

No.		n	%
1	男性	2633	48.0%
2	女性	2857	52.0%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)

n=5,490

(%)



(2) 年代

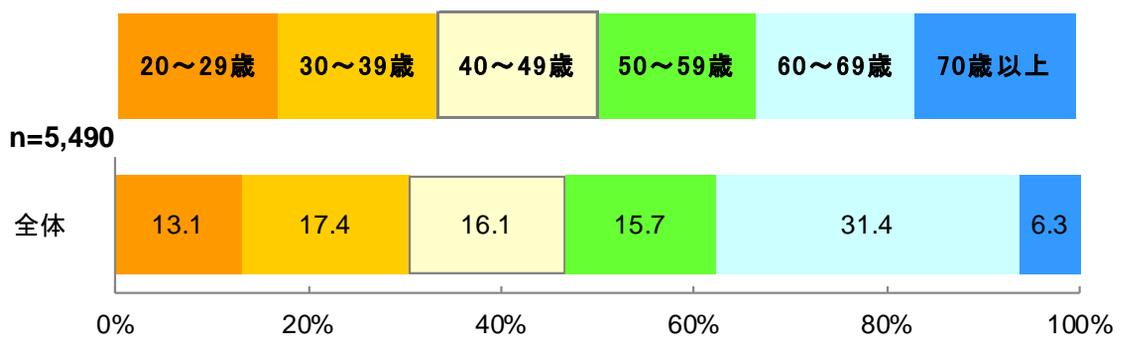
① 設問(Q30)

あなたの年齢を教えてください。

② 回答数

No.	n	%
1 20～29歳	720	13.1%
2 30～39歳	957	17.4%
3 40～49歳	883	16.1%
4 50～59歳	863	15.7%
5 60～69歳	1722	31.4%
6 70歳以上	345	6.3%
不明	0	
全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(3) 職業

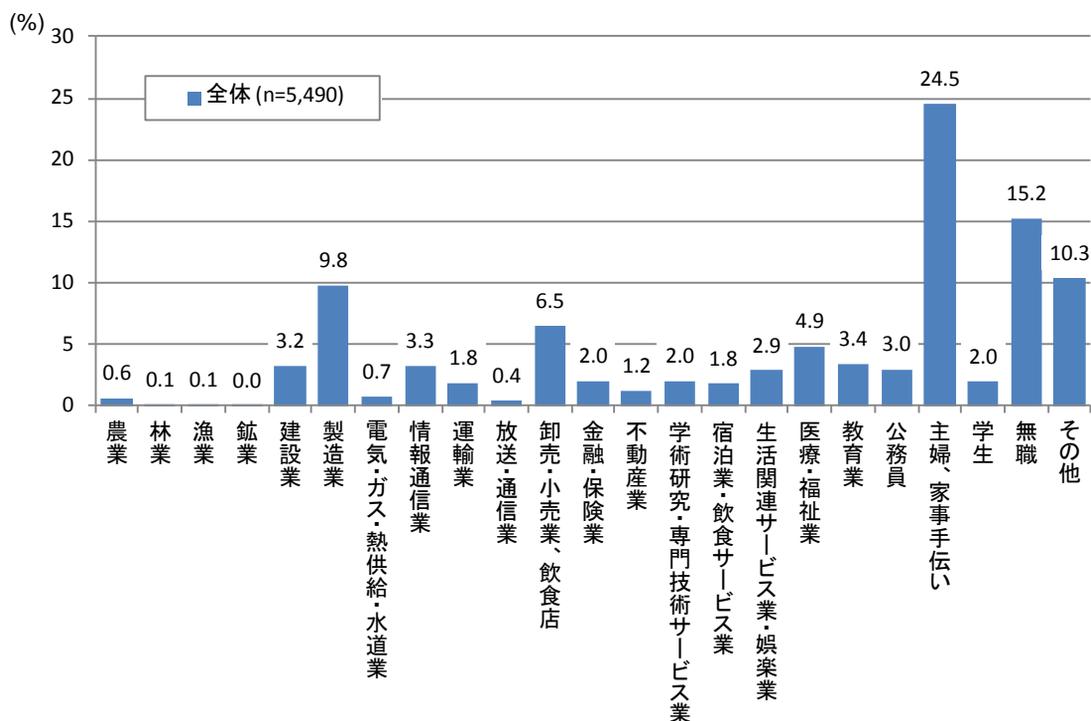
① 設問(Q31)

あなたの職業を教えてください。

② 回答数

No.		n	%
1	農業	35	0.6%
2	林業	4	0.1%
3	漁業	4	0.1%
4	鉱業	2	0.0%
5	建設業	177	3.2%
6	製造業	540	9.8%
7	電気・ガス・熱供給・水道業	41	0.7%
8	情報通信業	179	3.3%
9	運輸業	101	1.8%
10	放送・通信業	22	0.4%
11	卸売・小売業、飲食店	356	6.5%
12	金融・保険業	112	2.0%
13	不動産業	68	1.2%
14	学術研究・専門技術サービス業	112	2.0%
15	宿泊業・飲食サービス業	98	1.8%
16	生活関連サービス業・娯楽業	158	2.9%
17	医療・福祉業	268	4.9%
18	教育業	189	3.4%
19	公務員	165	3.0%
20	主婦、家事手伝い	1346	24.5%
21	学生	108	2.0%
22	無職	837	15.2%
23	その他	568	10.3%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(4) 居住地

① 設問(Q32)

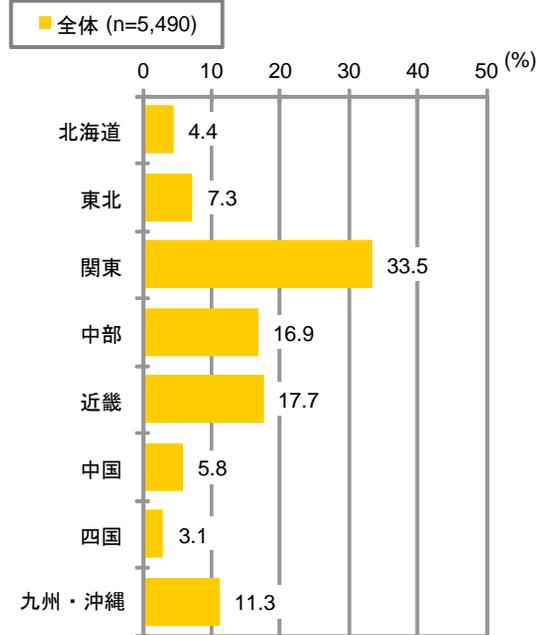
あなたのお住まいを教えてください。

② 回答数

No.	n	%
1 北海道	243	4.4%
2 青森県	58	1.1%
3 岩手県	56	1.0%
4 宮城県	102	1.9%
5 秋田県	46	0.8%
6 山形県	51	0.9%
7 福島県	86	1.6%
8 茨城県	128	2.3%
9 栃木県	86	1.6%
10 群馬県	85	1.5%
11 埼玉県	309	5.6%
12 千葉県	266	4.8%
13 東京都	578	10.5%
14 神奈川県	389	7.1%
15 新潟県	104	1.9%
16 富山県	49	0.9%
17 石川県	50	0.9%
18 福井県	36	0.7%
19 山梨県	36	0.7%
20 長野県	92	1.7%
21 岐阜県	88	1.6%
22 静岡県	161	2.9%
23 愛知県	313	5.7%
24 三重県	78	1.4%
25 滋賀県	58	1.1%
26 京都府	113	2.1%
27 大阪府	379	6.9%
28 兵庫県	239	4.4%
29 奈良県	60	1.1%
30 和歌山県	42	0.8%
31 鳥取県	24	0.4%
32 島根県	32	0.6%
33 岡山県	82	1.5%
34 広島県	121	2.2%
35 山口県	62	1.1%
36 徳島県	34	0.6%
37 香川県	40	0.7%
38 愛媛県	61	1.1%
39 高知県	33	0.6%
40 福岡県	216	3.9%
41 佐賀県	36	0.7%
42 長崎県	61	1.1%
43 熊本県	78	1.4%
44 大分県	51	0.9%
45 宮崎県	50	0.9%
46 鹿児島県	73	1.3%
47 沖縄県	55	1.0%
不明	0	
全体	5490	100.0%

(4) 居住地

③ WEB一般 (%グラフ)



・地域エリア内訳

No.	地域 エリア名	内訳
1	北海道	北海道
2	東北	青森県/岩手県/宮城県/秋田県/山形県/福島県
3	関東	茨城県/栃木県/群馬県/埼玉県/千葉県/東京都/神奈川県
4	中部	新潟県/富山県/石川県/福井県/山梨県/長野県/岐阜県/静岡県/愛知県
5	近畿	三重県/滋賀県/京都府/大阪府/兵庫県/奈良県/和歌山県
6	中国	鳥取県/島根県/岡山県/広島県/山口県
7	四国	徳島県/香川県/愛媛県/高知県
8	九州・沖縄	福岡県/佐賀県/長崎県/熊本県/大分県/宮崎県/鹿児島県/沖縄県

2. 緊急地震速報に対する意識・認識について

(1) 緊急地震速報の認知状況

① 設問(Q1)

<あなたが緊急地震速報についてご存知のこと、緊急地震速報についてのあなたのお考えについてお伺いします。>

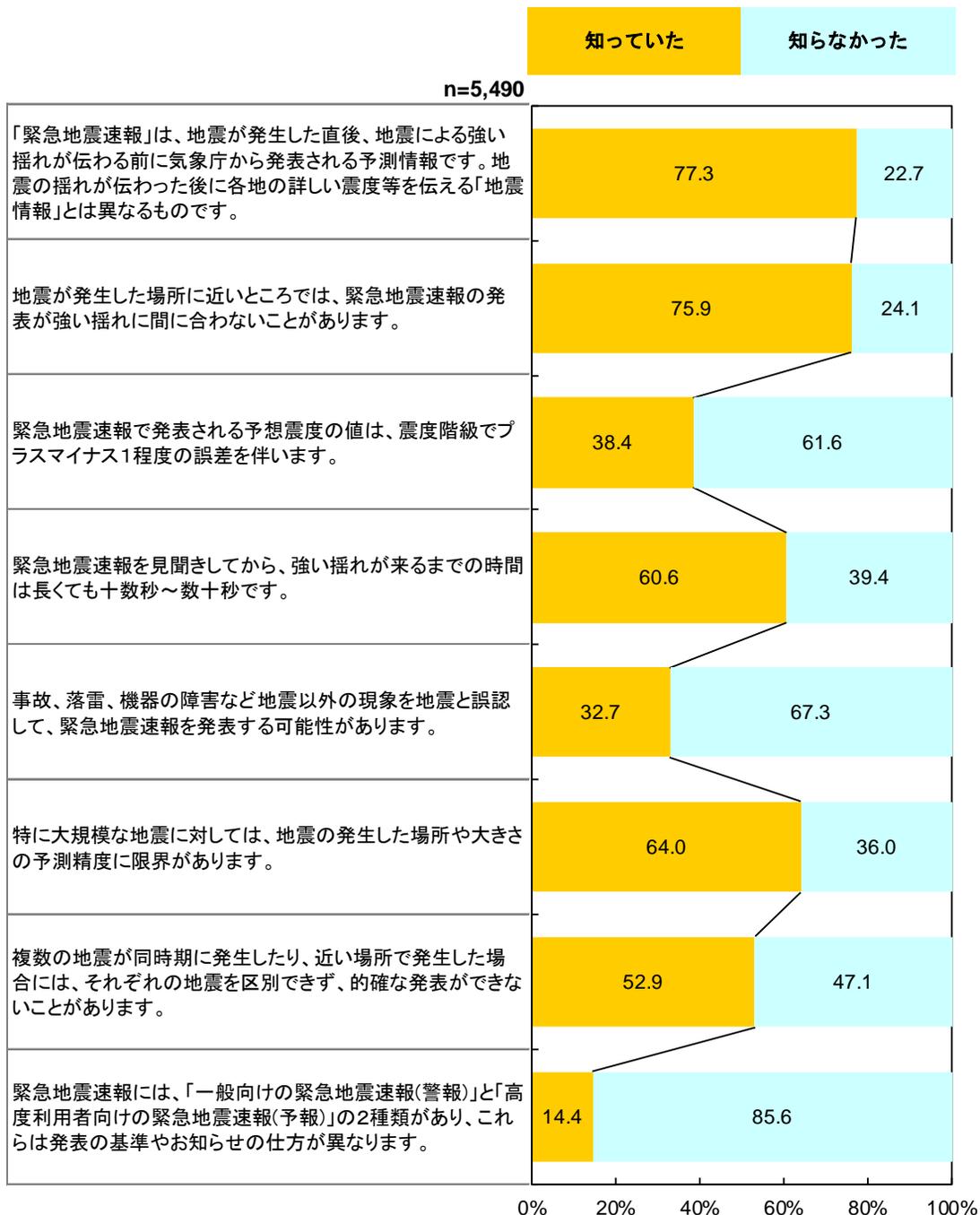
あなたは以下の内容についてご存知でしたか。それぞれ、あてはまる方を選択して下さい。(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

② 回答数

番号	n=5,490 上段：回答数 下段：%	知っていた	知らなかった
①	「緊急地震速報」は、地震が発生した直後、地震による強い揺れが伝わる前に気象庁から発表される予測情報です。地震の揺れが伝わった後に各地の詳しい震度等を伝える「地震情報」とは異なるものです。	4243 (77.3%)	1247 (22.7%)
②	地震が発生した場所に近いところでは、緊急地震速報の発表が強い揺れに間に合わないことがあります。	4169 (75.9%)	1321 (24.1%)
③	緊急地震速報で発表される予想震度の値は、震度階級でプラスマイナス1程度の誤差を伴います。	2106 (38.4%)	3384 (61.6%)
④	緊急地震速報を見聞きしてから、強い揺れが来るまでの時間は長くても十数秒～数十秒です。	3328 (60.6%)	2162 (39.4%)
⑤	事故、落雷、機器の障害など地震以外の現象を地震と誤認して、緊急地震速報を発表する可能性があります。	1796 (32.7%)	3694 (67.3%)
⑥	特に大規模な地震に対しては、地震の発生した場所や大きさの予測精度に限界があります。	3516 (64.0%)	1974 (36.0%)
⑦	複数の地震が同時期に発生したり、近い場所で発生した場合には、それぞれの地震を区別できず、的確な発表ができないことがあります。	2904 (52.9%)	2586 (47.1%)
⑧	緊急地震速報には、「一般向けの緊急地震速報(警報)」と「高度利用者向けの緊急地震速報(予報)」の2種類があり、これらは発表の基準やお知らせの仕方が異なります。	791 (14.4%)	4699 (85.6%)

(1) 緊急地震速報に関する認知状況

③ WEB一般(%グラフ)



(2) 予測震度の誤差の許容範囲

① 設問(Q2)

＜一般向けの緊急地震速報(テレビや携帯電話でお知らせ)は、震度5弱以上の強い揺れを予想した場合に、予測震度4以上の地域へ発表されます。

この緊急地震速報の予測震度の誤差について、この程度なら情報として信頼できるというあなたの許容範囲をお伺いします。＞

以下の場合、あなたは許容できますか。あてはまるものを選択してください。

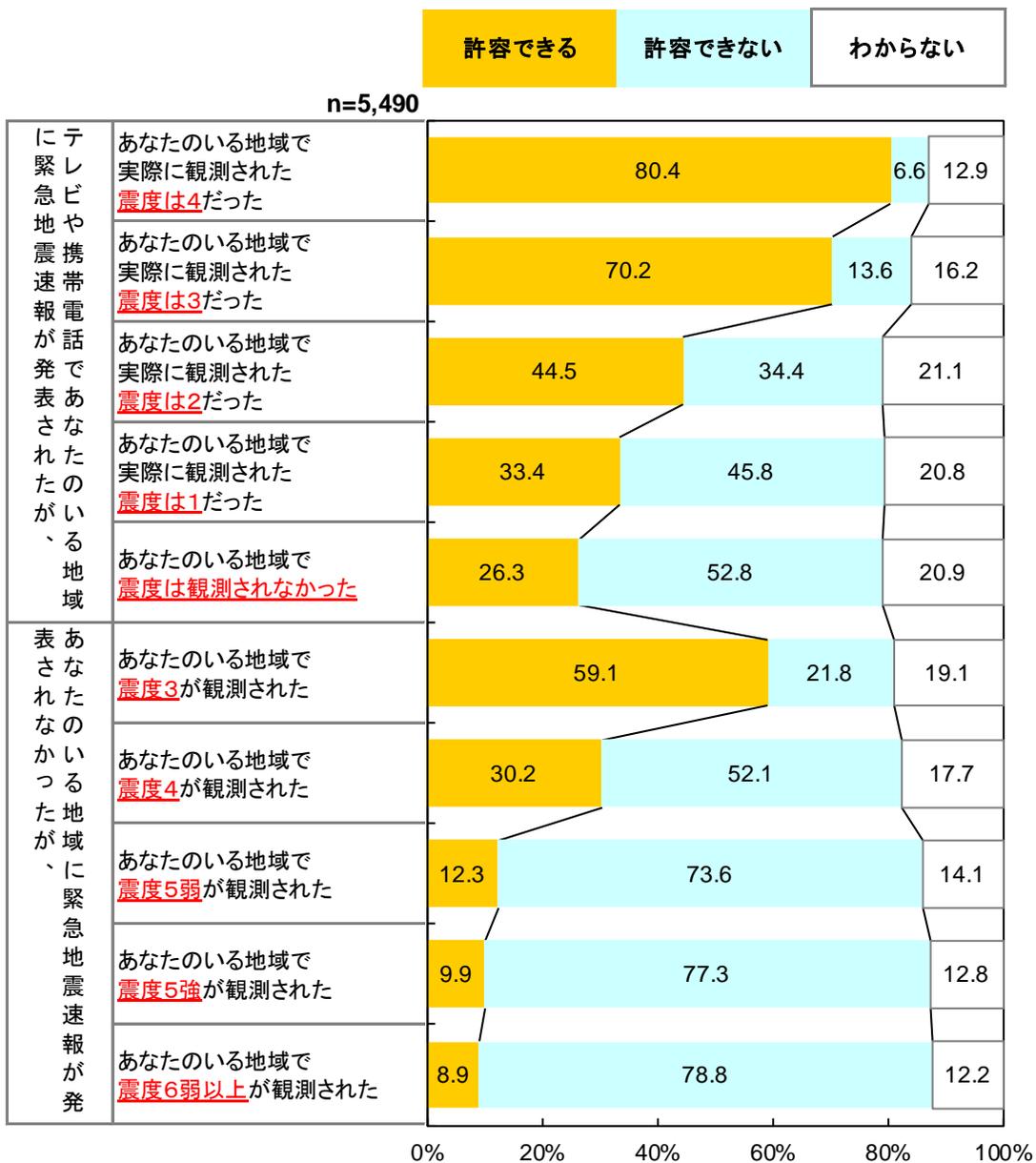
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

② 回答数

番号			許容 できる	許容 できない	わ か ら な い
		n=5,490 上段：回答数 下段：%			
①	テレビや携帯電話であなたのいる地域に緊急地震速報が発表されたが、	あなたのいる地域で実際に観測された震度は4だった	4415 (80.4%)	365 (6.6%)	710 (12.9%)
②		あなたのいる地域で実際に観測された震度は3だった	3855 (70.2%)	748 (13.6%)	887 (16.2%)
③		あなたのいる地域で実際に観測された震度は2だった	2441 (44.5%)	1889 (34.4%)	1160 (21.1%)
④		あなたのいる地域で実際に観測された震度は1だった	1832 (33.4%)	2515 (45.8%)	1143 (20.8%)
⑤		あなたのいる地域で震度は観測されなかった	1442 (26.3%)	2901 (52.8%)	1147 (20.9%)
⑥	あなたのいる地域に緊急地震速報が発表されなかったが、	あなたのいる地域で震度3が観測された	3242 (59.1%)	1198 (21.8%)	1050 (19.1%)
⑦		あなたのいる地域で震度4が観測された	1660 (30.2%)	2860 (52.1%)	970 (17.7%)
⑧		あなたのいる地域で震度5弱が観測された	677 (12.3%)	4041 (73.6%)	772 (14.1%)
⑨		あなたのいる地域で震度5強が観測された	544 (9.9%)	4244 (77.3%)	702 (12.8%)
⑩		あなたのいる地域で震度6弱以上が観測された	490 (8.9%)	4328 (78.8%)	672 (12.2%)

(2) 予測震度の誤差の許容範囲

③ WEB一般(%グラフ)



(3) 緊急地震速報に対する評価

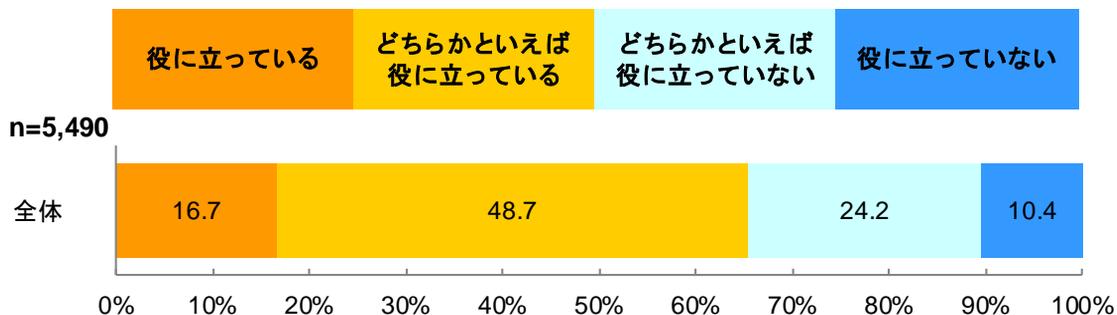
① 設問(Q3)

これまでの経験から、緊急地震速報はあなたの役に立っていると思いますか。あてはまるものを一つ選んでください。

② 回答数

No.		n	%
1	役に立っている	915	16.7%
2	どちらかといえば役に立っている	2671	48.7%
3	どちらかといえば役に立っていない	1331	24.2%
4	役に立っていない	573	10.4%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(4) 緊急地震速報が役に立っていると思う理由

① 設問(Q4)

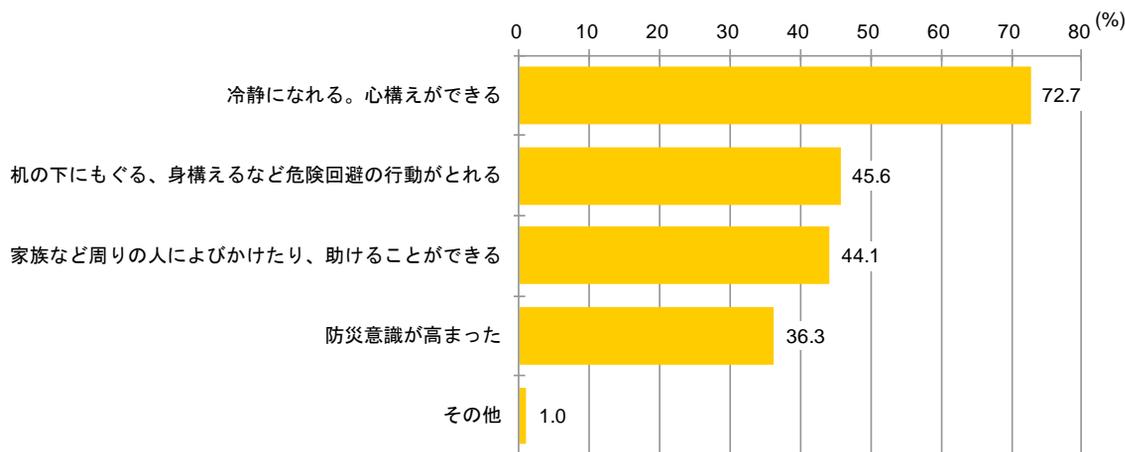
問3で「役に立っている」「どちらかといえば役に立っている」とお答えの方にお伺いします。
緊急地震速報はどのような点で役に立っていると思いますか。あてはまるものを全て選んでください。
(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	冷静になれる。心構えができる。	2606	72.7%
2	机の下にもぐる、身構えるなど危険回避の行動がとれる	1637	45.6%
3	家族など周りの人によびかけたり、助けることができる	1583	44.1%
4	防災意識が高まった	1301	36.3%
5	その他	35	1.0%
	不明	0	
	非該当	1904	
	全体	3586	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)

■ 「役に立っている」もしくは「どちらかといえば役に立っている」回答者 (n=3,586)



④「その他」の主な内容 (n=32)

※特になし・非該当を除く
※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	火の始末ができる	10
2	心構えができる、対策を考えることができる	10
3	情報を入手することができる、お知らせをすることができる	6
4	安心感がある	2
4	車、電車等の減速できる	2
	その他	3

(5) 緊急地震速報が役に立っていないと思う理由

① 設問(Q5)

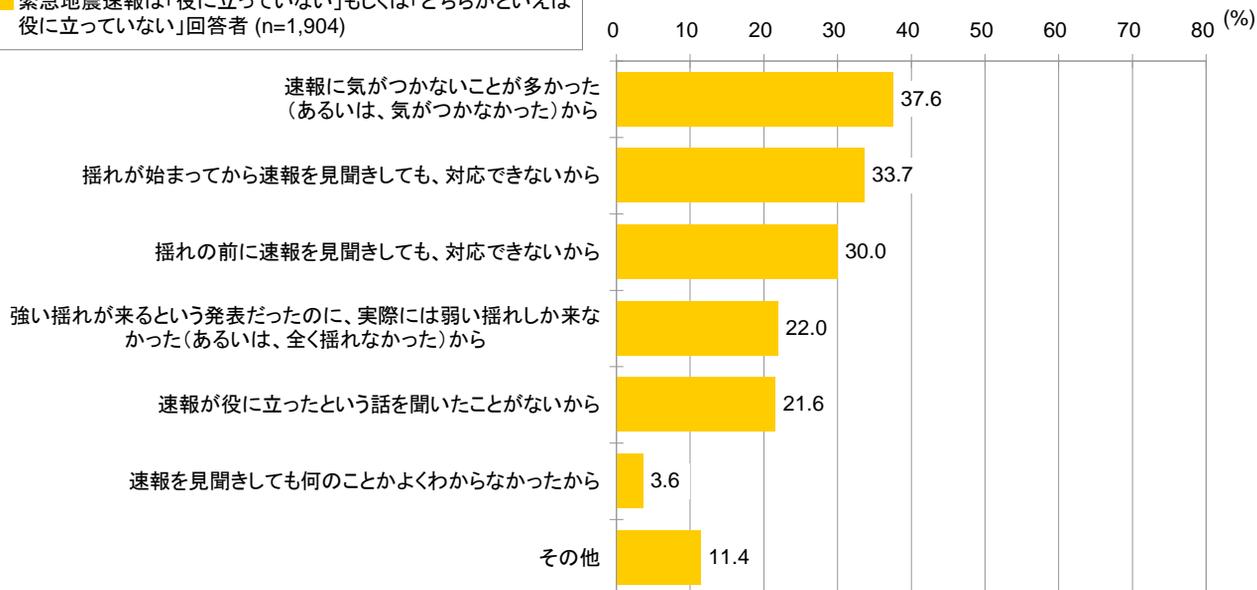
問3で「どちらかといえば役に立っていない」「役に立っていない」とお答えの方にお伺いします。緊急地震速報はなぜ役に立っていないとお考えですか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	揺れの前に速報を見聞きしても、対応できないから	571	30.0%
2	揺れが始まってから速報を見聞きしても、対応できないから	641	33.7%
3	強い揺れが来るという発表だったのに、実際には弱い揺れしか来なかった(あるいは、全く揺れなかった)から	418	22.0%
4	速報に気がつかないことが多かった(あるいは、気がつかなかった)から	715	37.6%
5	速報を見聞きしても何のことかよくわからなかったから	68	3.6%
6	速報が役に立ったという話を聞いたことがないから	411	21.6%
7	その他	218	11.4%
	不明	0	
	非該当	3586	
	全体	1904	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)

■ 緊急地震速報は「役に立っていない」もしくは「どちらかといえば役に立っていない」回答者 (n=1,904)



④「その他」の主な内容 (n=216)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	緊急地震速報は未経験、ほとんど聞いたことがない	138
2	緊急地震速報が来ないことがある、誤報もある、精度が当てにできない	29
3	緊急地震速報を受け取る媒体がない	18
4	不安感をあおられる、音に驚く	14
5	緊急地震速報の「発表のタイミング」が遅い	7
	その他	14

(6) 今後、緊急地震速報を見聞きたい方法

① 設問(Q6)

あなたは今後、緊急地震速報をどのような方法で見聞きたいですか。あてはまるもの全て選んでください。また、その中から最も必要と思う項目を一つだけ選んでください。

※「1.見聞きたい方法」では当てはまるもの全て選んでください。

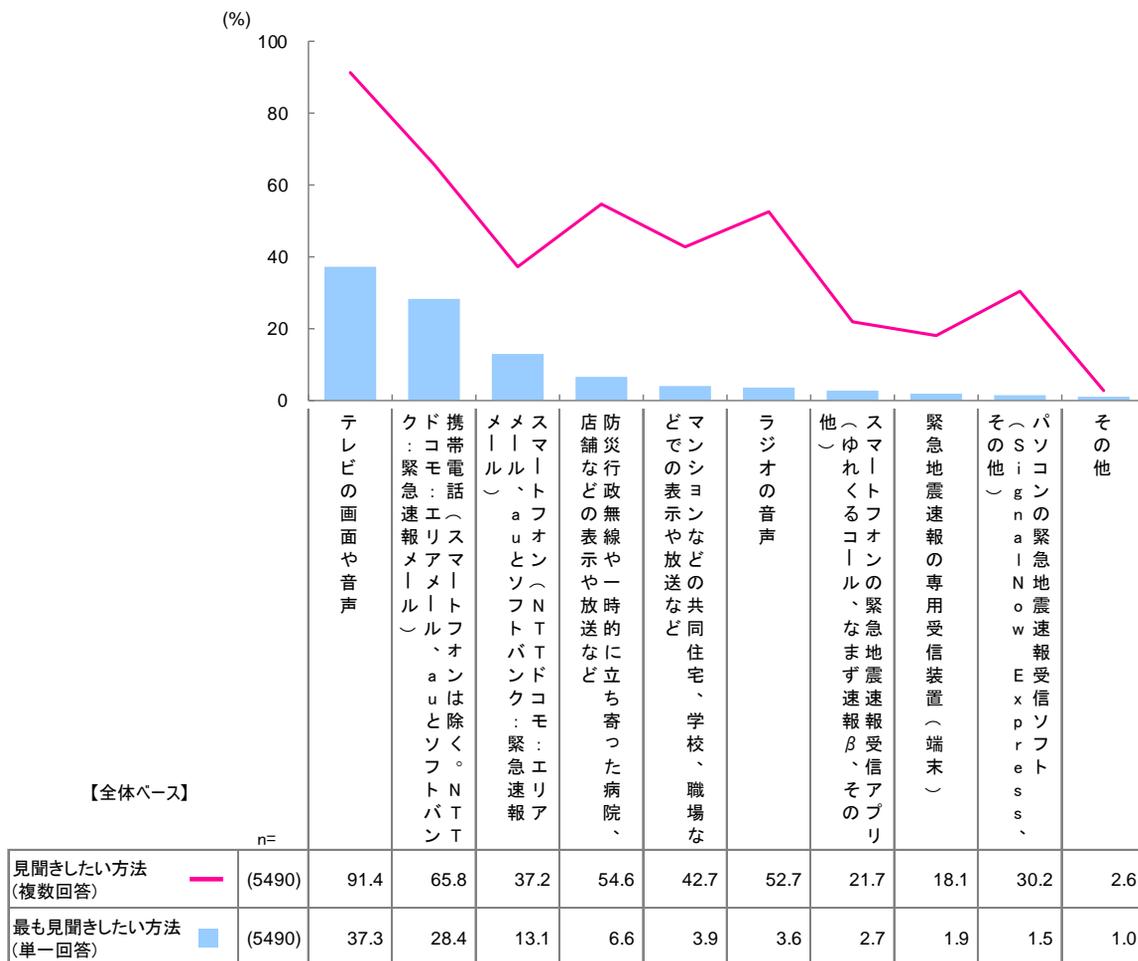
※「2.最も見聞きたい方法」では、※1で選んだ項目の中から一つだけ選んでください。

② 回答数

番号	n=5,490 上段：回答数 下段：%	見聞きたい方法 (いくつでも)	最も見聞きたい方法 (ひとつだけ)
1	テレビの画面や音声	5020 (91.4%)	2049 (37.3%)
2	ラジオの音声	2891 (52.7%)	199 (3.6%)
3	携帯電話(スマートフォンは除く。NTTドコモ：エリアメール、auとソフトバンク：緊急速報メール)	3611 (65.8%)	1557 (28.4%)
4	スマートフォン(NTTドコモ：エリアメール、auとソフトバンク：緊急速報メール)	2040 (37.2%)	718 (13.1%)
5	スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他)	1192 (21.7%)	147 (2.7%)
6	パソコンの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他)	1656 (30.2%)	81 (1.5%)
7	緊急地震速報の専用受信装置(端末)	994 (18.1%)	104 (1.9%)
8	マンションなどの共同住宅、学校、職場などでの表示や放送など	2343 (42.7%)	216 (3.9%)
9	防災行政無線や一時的に立ち寄った病院、店舗などの表示や放送など	2998 (54.6%)	365 (6.6%)
10	その他	142 (2.6%)	54 (1.0%)

(6) 今後、緊急地震速報を見聞きたい方法

③ WEB一般(%グラフ)



④「その他」の主な内容 (n=83)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	市町村などでの緊急放送として流してほしい	37
2	公共機関での放送（電車バス等）で流してほしい	14
3	一般道での音声情報（カーナビでの情報を含む）を流してほしい	10
4	可能な限りどこでも情報を流してほしい	7
	その他	13

(7) 緊急地震速報の発表基準についての意見

① 設問(Q7)

現在、「一般向けの緊急地震速報(警報)」が発表されるのは、予想される最大の震度が「5弱以上」の場合ですが、あなたは、この基準についてどう思いますか。

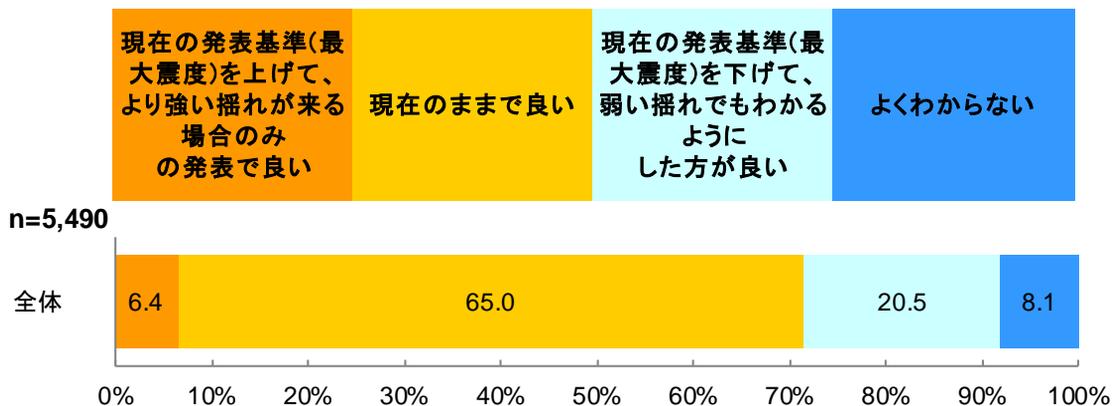
次の中から、あなたのお考えに最も近いものを一つ選んでください。

なお、基準となる震度を低くすると、今よりも頻繁に緊急地震速報が発表される一方、基準の震度を高くすると、より強い揺れが来る時しか緊急地震速報が発表されません。地震の発生回数は地震の規模が小さいほど多くなりますので、基準の震度を低くすると緊急地震速報の発表回数は多くなります。(震度5弱以上の地震は少ない年で1年間に4~5回、多い年で数十回、平均すると10回程度発生しています。震度4の地震は震度5弱のおおむね5倍程度発生しています。)

② 回答数

No.		n	%
1	現在の発表基準(最大震度)を上げて、より強い揺れが来る場合のみの発表で良い	352	6.4%
2	現在のままで良い	3567	65.0%
3	現在の発表基準(最大震度)を下げて、弱い揺れでもわかるようにした方が良い	1128	20.5%
4	よくわからない	443	8.1%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



3. 携帯電話等による入手状況について

(1) 緊急地震速報の入手手段としての認知状況

① 設問(Q8)

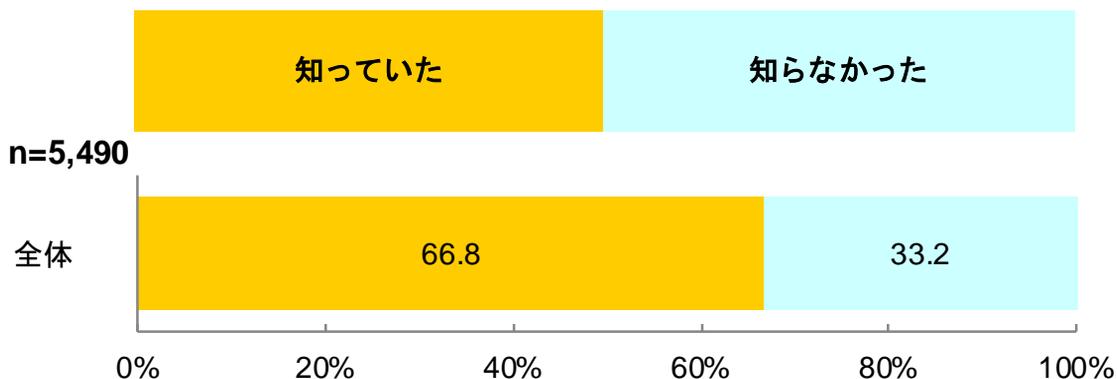
気象庁が緊急地震速報(警報)を発表したとき、NTTドコモ・au・ソフトバンクでは、利用者の携帯電話やスマートフォン(以下、携帯端末)に対して、一斉にメールでお知らせするサービス(NTTドコモ:エリアメール、auとソフトバンク:緊急速報メール)を提供しています。

(8)あなたは、このように携帯端末で緊急地震速報(警報)が入手できることを知っていましたか。あてはまるものを一つだけお答えください。

② 回答数

No.	n	%
1 知っていた	3665	66.8%
2 知らなかった	1825	33.2%
不明	0	
全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(2) 専用報知音の認知状況

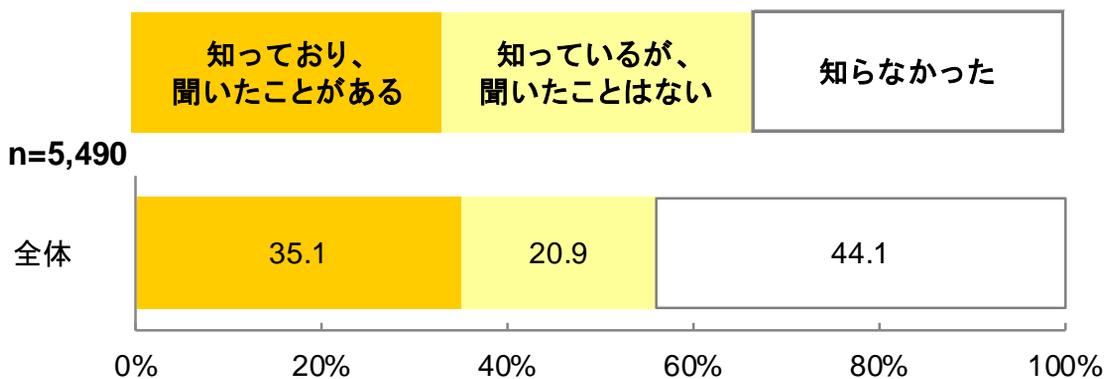
① 設問(Q9)

携帯端末の一斉同報機能を用いたメールサービスのうち、緊急地震速報(警報)については専用の報知音(ブザー音)が鳴ることをご存知ですか。あてはまるものを一つだけお答えください。

② 回答数

No.	n	%
1 知っており、聞いたことがある	1926	35.1%
2 知っているが、聞いたことはない	1145	20.9%
3 知らなかった	2419	44.1%
不明	0	
全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(3) 所有している携帯電話等

① 設問(Q10)

一部の携帯端末では、一斉にメールでお知らせするサービスに対応していなかったり、対応していても事前の設定が必要です。

あなたがお持ちの携帯端末について、あてはまるものを以下から選んでください。(いくつでも)

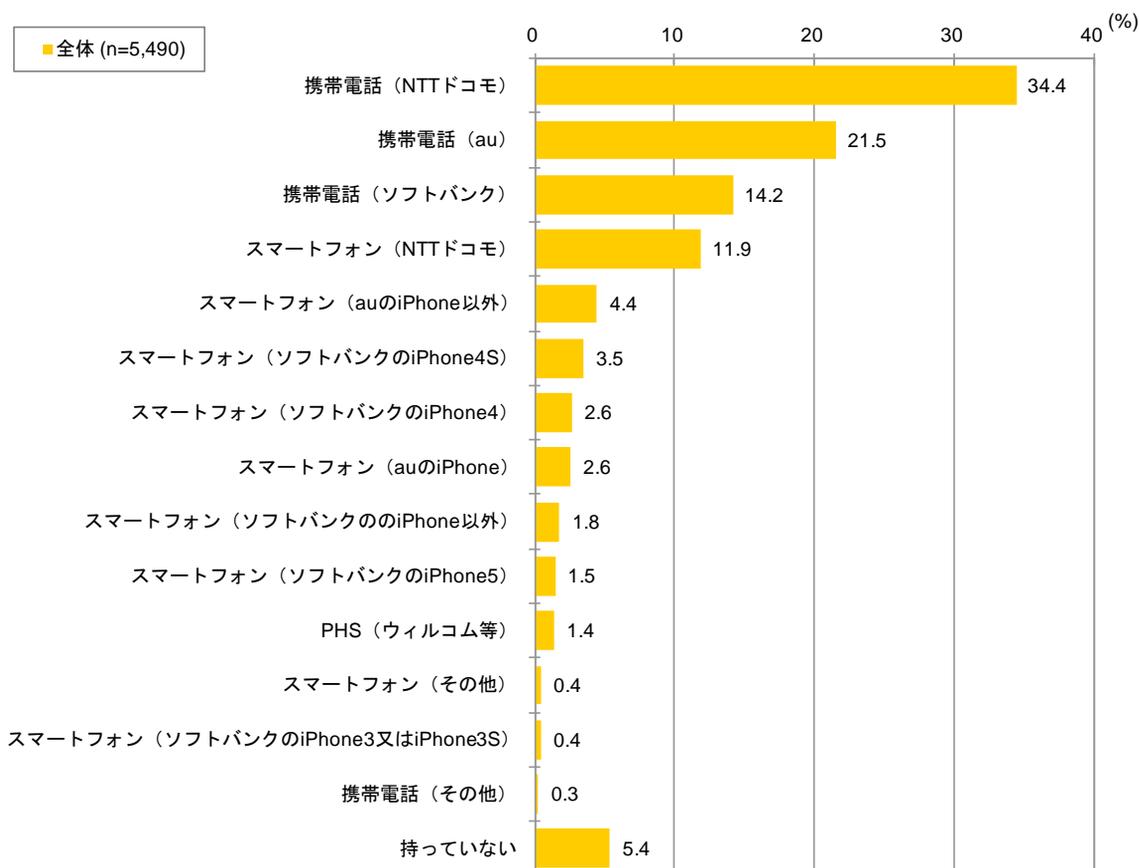
※携帯端末を複数台お持ちの方は、全ての携帯端末についてお答えください。

※携帯端末をお持ちでない方は、「15. 持っていない」を選んでください。

② 回答数

No.		n	%
1	携帯電話 (NTTドコモ)	1890	34.4%
2	携帯電話 (au)	1183	21.5%
3	携帯電話 (ソフトバンク)	778	14.2%
4	携帯電話 (その他)	14	0.3%
5	スマートフォン (NTTドコモ)	652	11.9%
6	スマートフォン (auのiPhone)	141	2.6%
7	スマートフォン (auのiPhone以外)	244	4.4%
8	スマートフォン (ソフトバンクのiPhone3又はiPhone3S)	23	0.4%
9	スマートフォン (ソフトバンクのiPhone4)	145	2.6%
10	スマートフォン (ソフトバンクのiPhone4S)	191	3.5%
11	スマートフォン (ソフトバンクのiPhone5)	80	1.5%
12	スマートフォン (ソフトバンクののiPhone以外)	97	1.8%
13	スマートフォン (その他)	24	0.4%
14	PHS(ウィルコム等)	76	1.4%
15	持っていない	295	5.4%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(4) 所有している携帯電話等の設定状況

① 設問(Q11)

あなたがお持ちの携帯端末について、**少なくとも1つ以上**は緊急地震速報(警報)が入手できるように設定していますか。あてはまるものを一つだけお答えください。

【参考】携帯各社の説明ページ

NTTドコモ:

<http://www.nttdocomo.co.jp/service/safety/areamail/>

au:

http://www.au.kddi.com/notice/kinkyu_sokuho/index.html

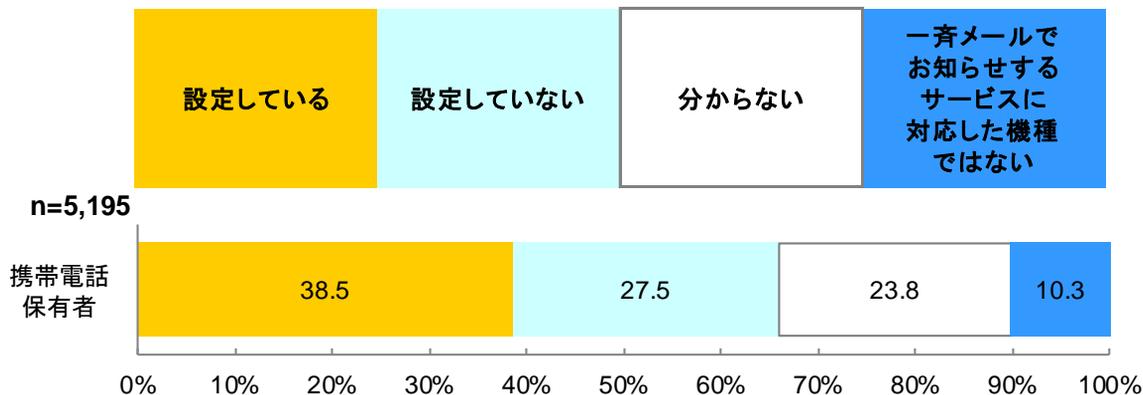
ソフトバンク:

http://mb.softbank.jp/mb/service/urgent_news/

② 回答数

No.		n	%
1	設定している	1998	38.5%
2	設定していない	1428	27.5%
3	分からない	1235	23.8%
4	一斉メールでお知らせするサービスに対応した機種ではない	534	10.3%
	不明	0	
	非該当	295	
	全体	5195	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(5) 所有している携帯電話等を設定していない理由

① 設問(Q12)

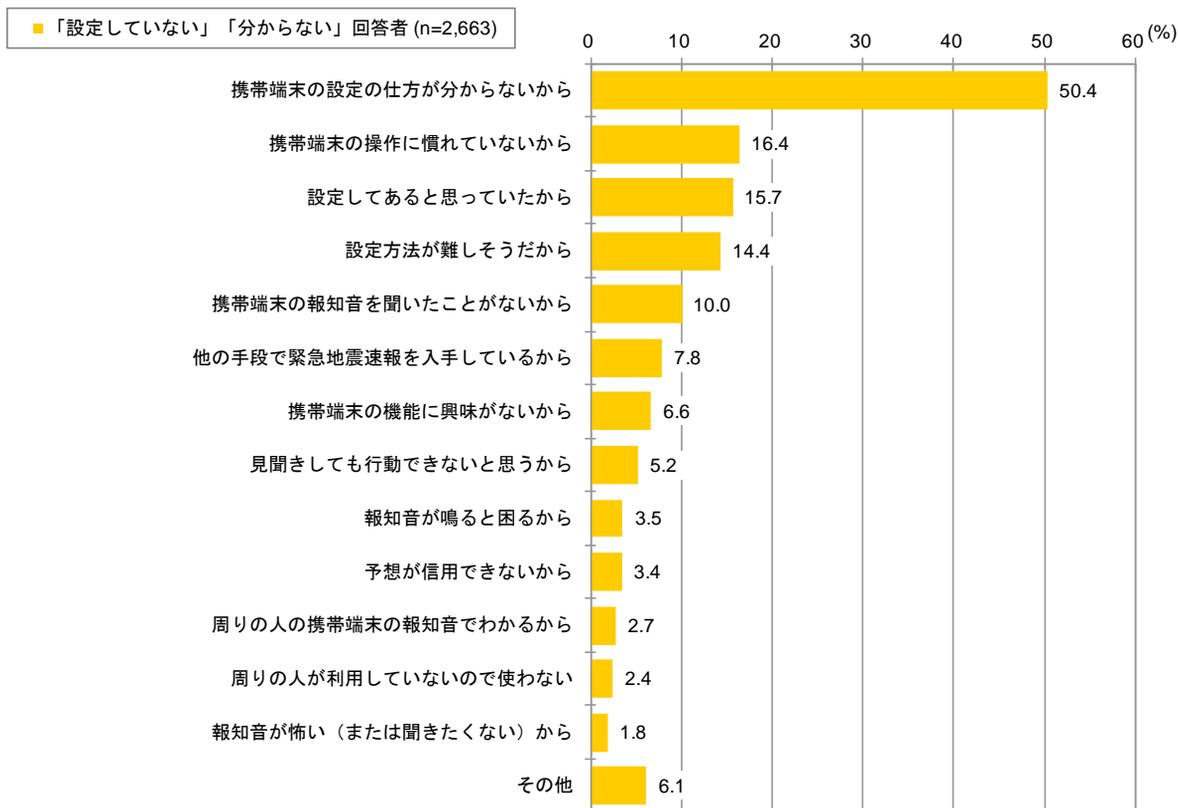
問11で「設定していない」「分からない」とお答えの方にお伺いします。

設定していない、分からない理由について、以下の中からあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	携帯端末の設定の仕方が分からないから	1342	50.4%
2	設定方法が難しそうだから	383	14.4%
3	携帯端末の操作に慣れていないから	438	16.4%
4	設定してあると思っていたから	418	15.7%
5	携帯端末の報知音を聞いたことがないから	267	10.0%
6	報知音が鳴ると困るから	94	3.5%
7	報知音が怖い(または聞きたくない)から	49	1.8%
8	予想が信用できないから	91	3.4%
9	見聞きしても行動できないと思うから	138	5.2%
10	携帯端末の機能に興味がないから	177	6.6%
11	周りの人の携帯端末の報知音でわかるから	73	2.7%
12	周りの人が利用していないので使わない	64	2.4%
13	他の手段で緊急地震速報を入手しているから	209	7.8%
14	その他	163	6.1%
	不明	0	
	非該当	2827	
	全体	2663	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(5) 所有している携帯電話等を設定していない理由

④「その他」の主な内容 (n=143)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	設定できるかどうか知らない、わからないから	44
2	設定できる機種ではない	20
3	購入したばかりだから	12
4	携帯電話をいつも携帯しているわけではない、電源が入っているわけではない	11
5	連絡用としての機能しか使っていない	10
6	警報が鳴るとうるさい、怖い	8
6	必要がないから（地震があまり発生しない地域に住んでいる等）	8
8	面倒だから、今のところ困っていないから	7
8	考えていなかった、特に気にしていなかった	7
	その他	18

(6) 携帯電話等の一斉配信サービスにおける利用上の注意事項の認知状況

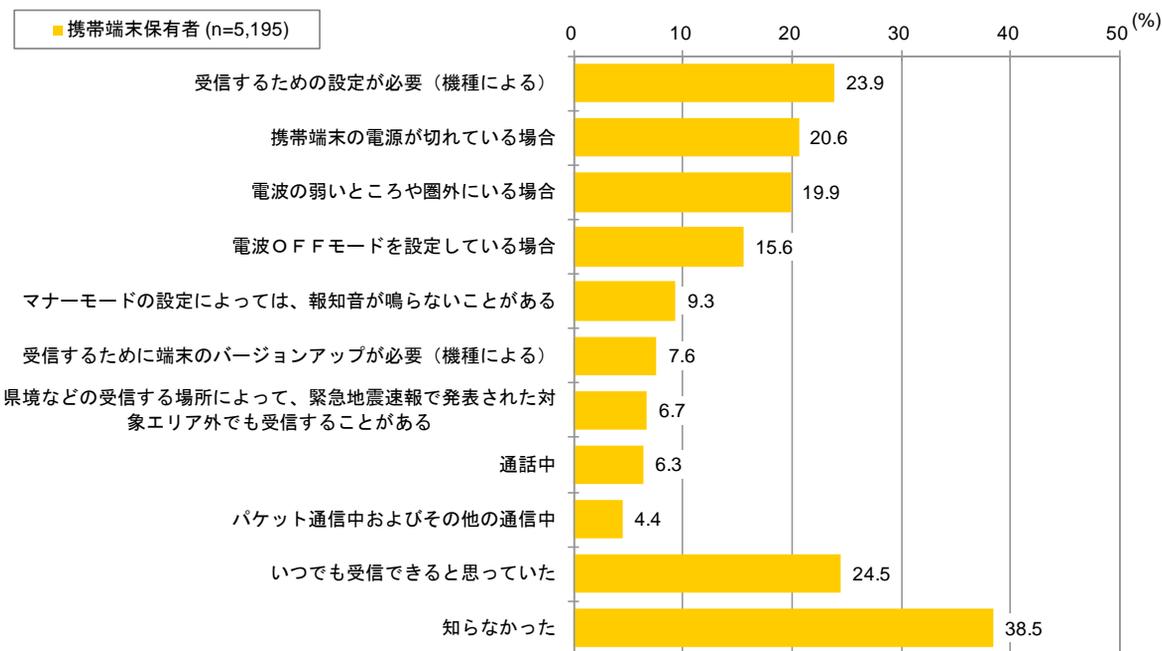
① 設問(Q13)

携帯端末の一斉同報機能を用いたメールサービスは、受信可能な携帯端末を利用しているも、緊急地震速報を受信できないなどの、利用上の注意事項があることを知っていますか。ご存知の事例全てを選択して下さい。いつでも受信できると思っていた方は「10. いつでも受信できると思っていた」を、このことを全く知らなかった方は「11. 知らなかった」を選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	受信するための設定が必要（機種による）	1243	23.9%
2	受信するために端末のバージョンアップが必要（機種による）	393	7.6%
3	通話中	329	6.3%
4	パケット通信中およびその他の通信中	230	4.4%
5	電波の弱いところや圏外にいる場合	1033	19.9%
6	携帯端末の電源が切れている場合	1070	20.6%
7	電波OFFモードを設定している場合	810	15.6%
8	県境などの受信する場所によって、緊急地震速報で発表された対象エリア外でも受信することがある	347	6.7%
9	マナーモードの設定によっては、報知音が鳴らないことがある	484	9.3%
10	いつでも受信できると思っていた	1274	24.5%
11	知らなかった	1998	38.5%
	不明	0	
	非該当	295	
	全体	5195	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



4. 緊急地震速報を見聞きした時の行動について

(1) 見聞きした時にとるべき行動の決定状況

① 設問(Q14)

あなたは、日頃から緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動をあらかじめ決めていますか。あてはまるものを一つだけお選びください。

《とるべき行動をあらかじめ決めている(例)》

- ・机の下などにもぐる
- ・家具や棚(たな)などを押さえる
- ・近くの安全な場所に移動する
- ・ドアなどを開けて逃げ道を確保する
- ・家具や棚(たな)などから離れる
- ・周りの人に地震が来ることを知らせる
- ・安全な場所なら揺れに備えて身構える
- ・外に出る 等

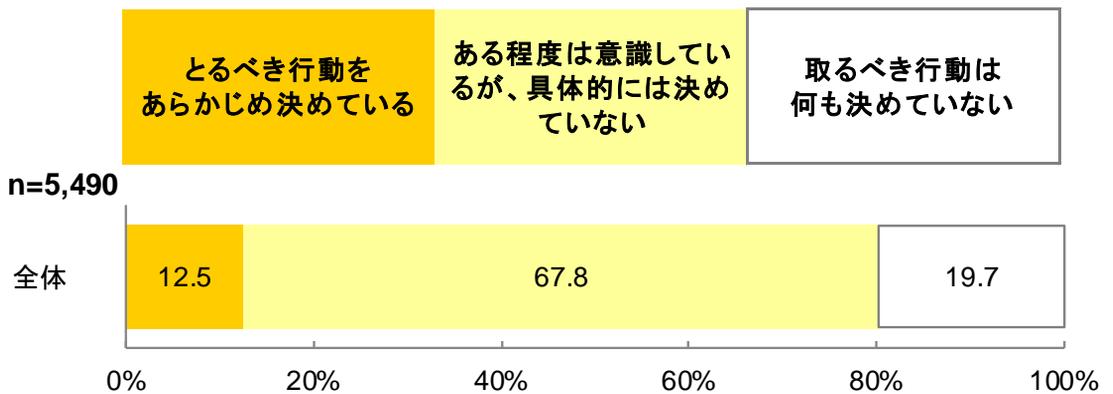
《ある程度は意識しているが、具体的には決めていない(例)》

- ・周囲の状況認識をと思う
- ・安全な場所を探すと思う

② 回答数

No.	n	%
1 とるべき行動をあらかじめ決めている	685	12.5%
2 ある程度は意識しているが、具体的には決めていない	3724	67.8%
3 取るべき行動は何も決めていない	1081	19.7%
不明	0	
全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(2) あらかじめ決めている取るべき行動の内容【(1)で「決めている」回答者】

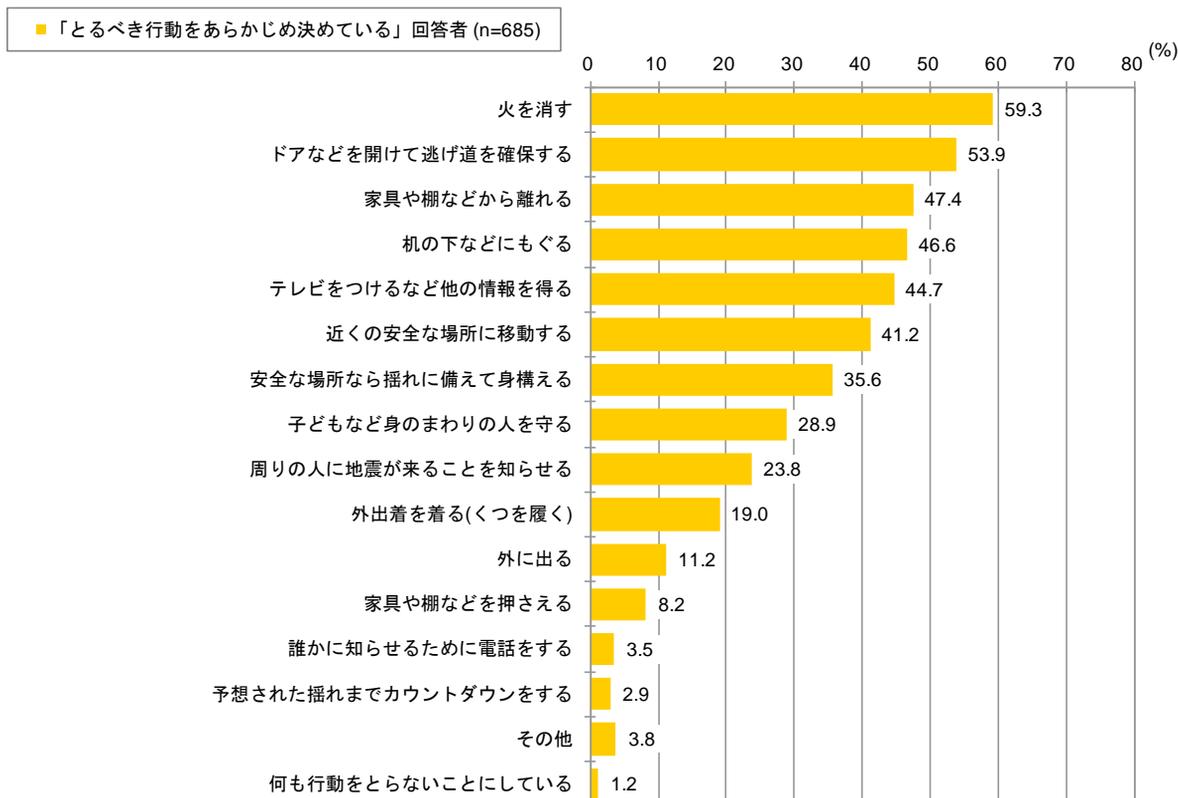
① 設問(Q15)

緊急地震速報を見聞きしたときに、とるべき行動をあらかじめ決めているとお答えの方にお伺いします。具体的にどのような行動をとることになっているか、以下からあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	机の下などにもぐる	319	46.6%
2	家具や棚などから離れる	325	47.4%
3	家具や棚などを押さえる	56	8.2%
4	周りの人に地震が来ることを知らせる	163	23.8%
5	子どもなど身のまわりの人を守る	198	28.9%
6	近くの安全な場所に移動する	282	41.2%
7	安全な場所なら揺れに備えて身構える	244	35.6%
8	ドアなどを開けて逃げ道を確保する	369	53.9%
9	外に出る	77	11.2%
10	外出着を着る(くつを履く)	130	19.0%
11	テレビをつけるなど他の情報を得る	306	44.7%
12	火を消す	406	59.3%
13	予想された揺れまでカウントダウンをする	20	2.9%
14	誰かに知らせるために電話をする	24	3.5%
15	その他	26	3.8%
16	何も行動をとらないことにしている	8	1.2%
	不明	0	
	非該当	4805	
	全体	685	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(2) あらかじめ決めている取るべき行動の内容【(1)で「決めている」回答者】

④「その他」の主な内容 (n=26)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	必要なものの確保をする(防災グッズ、薬、メガネ等)	7
2	ペットの世話をする行動をとる	6
3	トイレに入る	3
4	玄関に向かう	3
5	安全な場所・避難場所を考える	2
	その他	6

(3) 見聞きした時に想定される行動【(1)で「具体的に決めていない」回答者】

① 設問(Q16)

緊急地震速報を見聞きしたときにとるべき行動について、ある程度は意識しているが、具体的には何も決めていないとお答えの方にお伺いします。

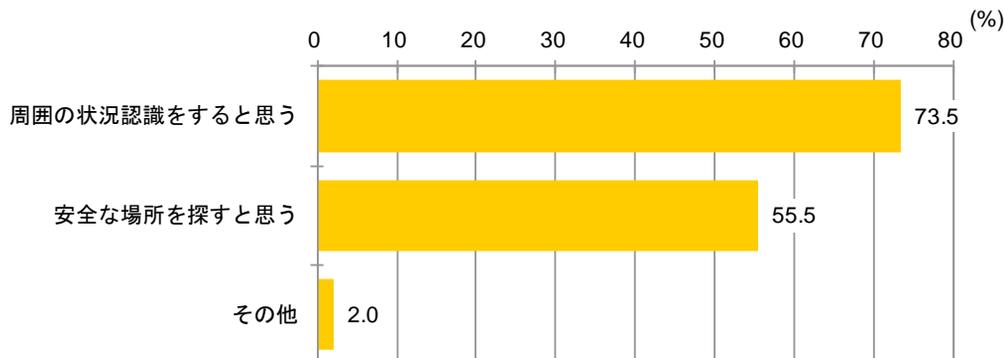
以下からあてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.	n	%
1 周囲の状況認識をしようと思う	2736	73.5%
2 安全な場所を探しようと思う	2068	55.5%
3 その他	74	2.0%
不明	0	
非該当	1766	
全体	3724	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)

■ 「ある程度意識はしているが、具体的に決めていない」
回答者 (n=3,724)



④「その他」の主な内容 (n=72)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.	n
1 家族の所在の確認をする	13
2 火の始末をする	12
3 ドアを開けるなど逃げ道を確認する	9
4 その時の状況によるのでわからない・決めていない	7
5 様子を見る	4
5 ペットの安全確保をする	4
5 周りの人に声をかける	4
8 冷静になる	3
8 次の行動や持ち出すものを考える	3
10 屋外に出る	2
10 非常用品を確保する	2
10 緊急地震速報をあまり信用していないので行動を決めていない	2
その他	7

(4) とるべき行動をあらかじめ決めていない理由【(1)で「決めていない」回答者】

① 設問(Q17)

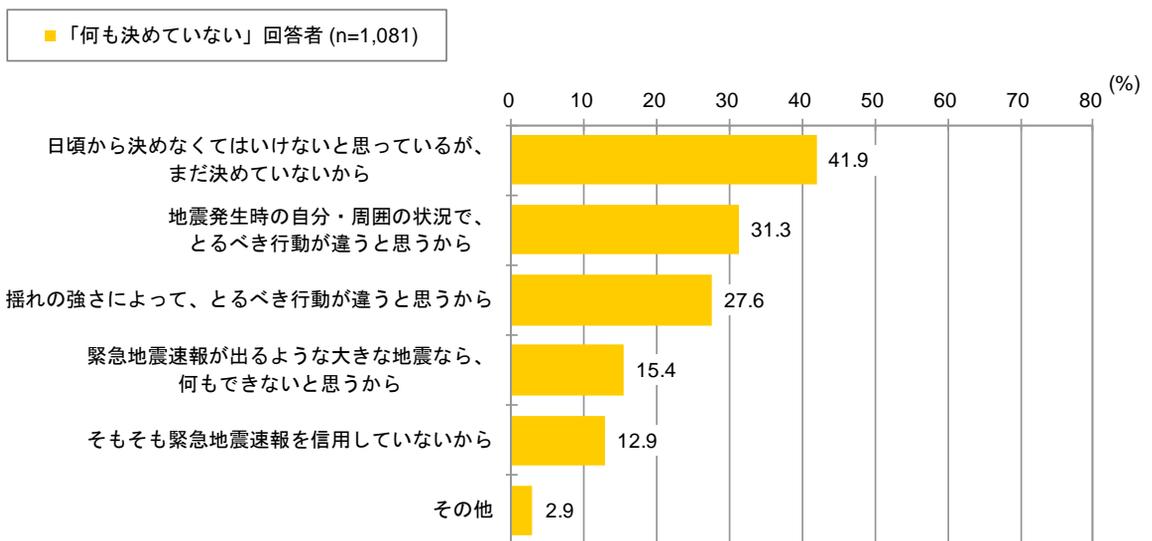
問14で「何も決めていない」とお答えの方にお伺いします。

とるべき行動をあらかじめ決めていない理由について、あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	揺れの強さによって、とるべき行動が違うと思うから	298	27.6%
2	地震発生時の自分・周囲の状況で、とるべき行動が違うと思うから	338	31.3%
3	緊急地震速報が出るような大きな地震なら、何もできないと思うから	167	15.4%
4	日頃から決めなくてはいけないと思っているが、まだ決めていないから	453	41.9%
5	そもそも緊急地震速報を信用していないから	139	12.9%
6	その他	31	2.9%
	不明	0	
	非該当	4409	
	全体	1081	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



④「その他」の主な内容 (n=26)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	なるようになる・その時にならないとわからない	10
2	地震が少ない地域にいるから	4
3	考えたことがない	5
4	諦めている	2
	その他	4

(5) 緊急地震速報を見聞きした経験

① 設問(Q18)

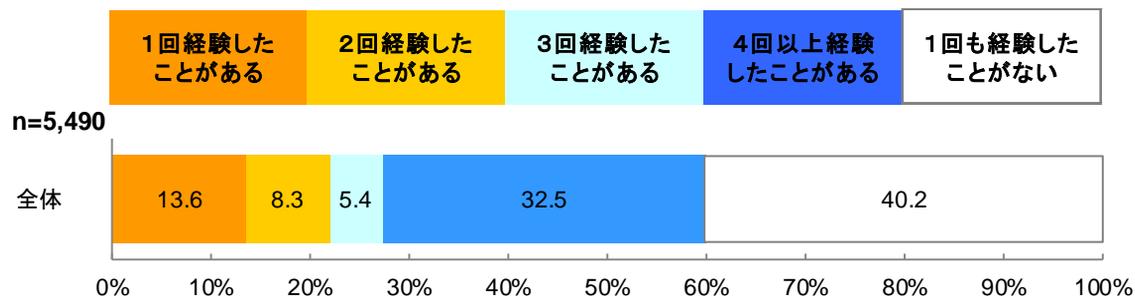
あなたは緊急地震速報を見聞きした経験がありますか。あてはまるものを一つ選んでください。

※緊急地震速報でお知らせした強い揺れの地域にご自分のいる地域が入っていない場合を含み、訓練の場合は除きます。

② 回答数

No.		n	%
1	1回経験したことがある	744	13.6%
2	2回経験したことがある	458	8.3%
3	3回経験したことがある	298	5.4%
4	4回以上経験したことがある	1782	32.5%
5	1回も経験したことがない	2208	40.2%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(6) 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報について

① 設問(Q19)

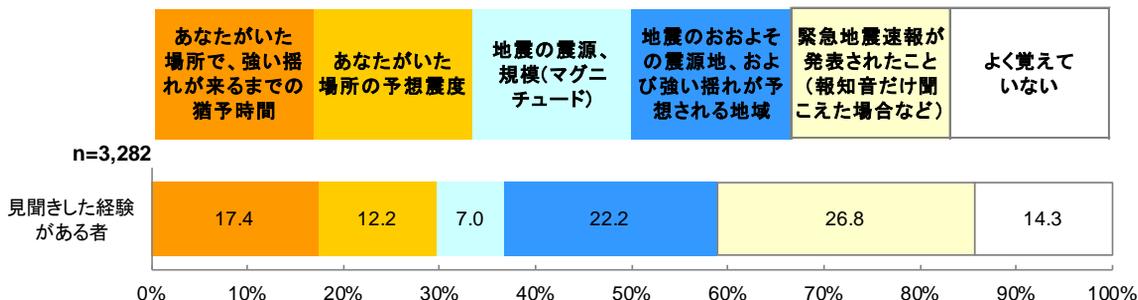
問18で緊急地震速報を見聞きした経験がある方にお伺いします。

見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時に得た情報**についてお答えください。あなたは、その緊急地震速報によってどのような情報を得ましたか。得た情報が複数ある場合は、**その後の行動で最も役に立った情報を一つだけ**お答えください。

② 回答数

No.		n	%
1	あなたがいた場所で、強い揺れが来るまでの猶予時間	572	17.4%
2	あなたがいた場所の予想震度	402	12.2%
3	地震の震源、規模(マグニチュード)	230	7.0%
4	地震のおおよその震源地、および強い揺れが予想される地域	727	22.2%
5	緊急地震速報が発表されたこと(報知音だけ聞こえた場合など)	881	26.8%
6	よく覚えていない	470	14.3%
	不明	0	
	非該当	2208	
	全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(7) 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報の入手手段(方法)について

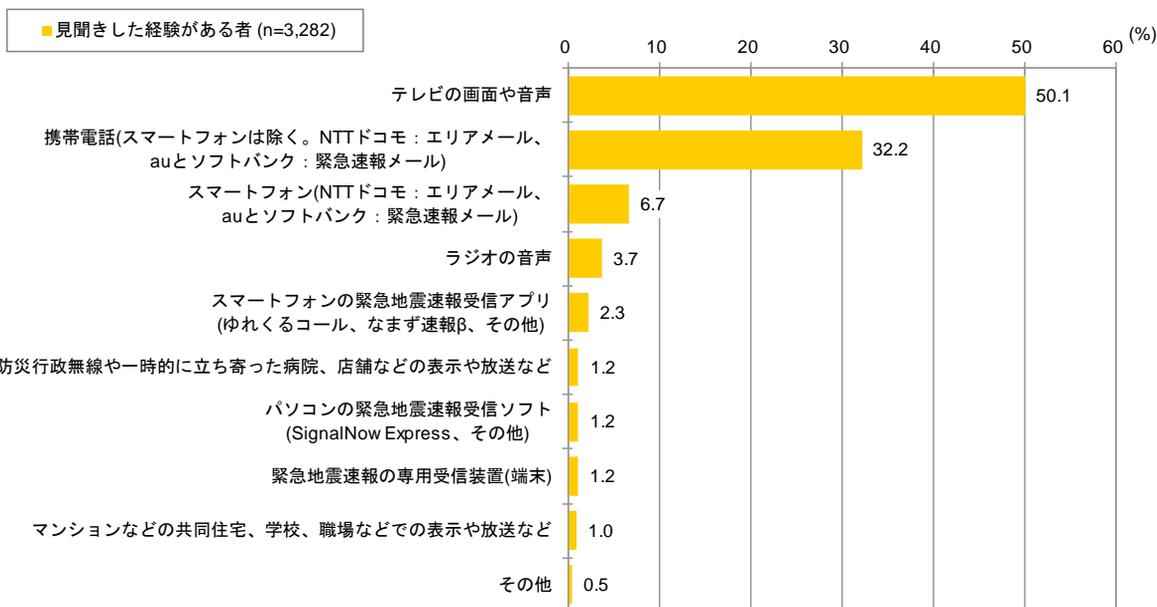
① 設問(Q20)

先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えの方にお伺いします。見聞きした経験が複数ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**についてお答えください。
 あなたが緊急地震速報を見聞きした手段(方法)についてお答えください。得た手段(方法)が複数ある場合は、その後の行動で最も役に立った情報を得た手段(方法)を一つだけお答えください。

② 回答数

No.		n	%
1	テレビの画面や音声	1645	50.1%
2	ラジオの音声	122	3.7%
3	携帯電話(スマートフォンは除く。NTTドコモ：エリアメール、auとソフトバンク：緊急速報メール)	1058	32.2%
4	スマートフォン(NTTドコモ：エリアメール、auとソフトバンク：緊急速報メール)	219	6.7%
5	スマートフォンの緊急地震速報受信アプリ(ゆれくるコール、なまず速報β、その他)	74	2.3%
6	パソコンの緊急地震速報受信ソフト(SignalNow Express、その他)	39	1.2%
7	緊急地震速報の専用受信装置(端末)	38	1.2%
8	マンションなどの共同住宅、学校、職場などでの表示や放送など	32	1.0%
9	防災行政無線や一時的に立ち寄った病院、店舗などの表示や放送など	40	1.2%
10	その他	15	0.5%
	不明	0	
	非該当	2208	
	全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(7) 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報の入手手段(方法)について

④「その他」の主な内容 (n=10)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	他人の携帯電話	6
2	PCサイト・PCメール	2
3	勤務先での社内放送	1
3	町内放送	1

(8) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【①いつ】

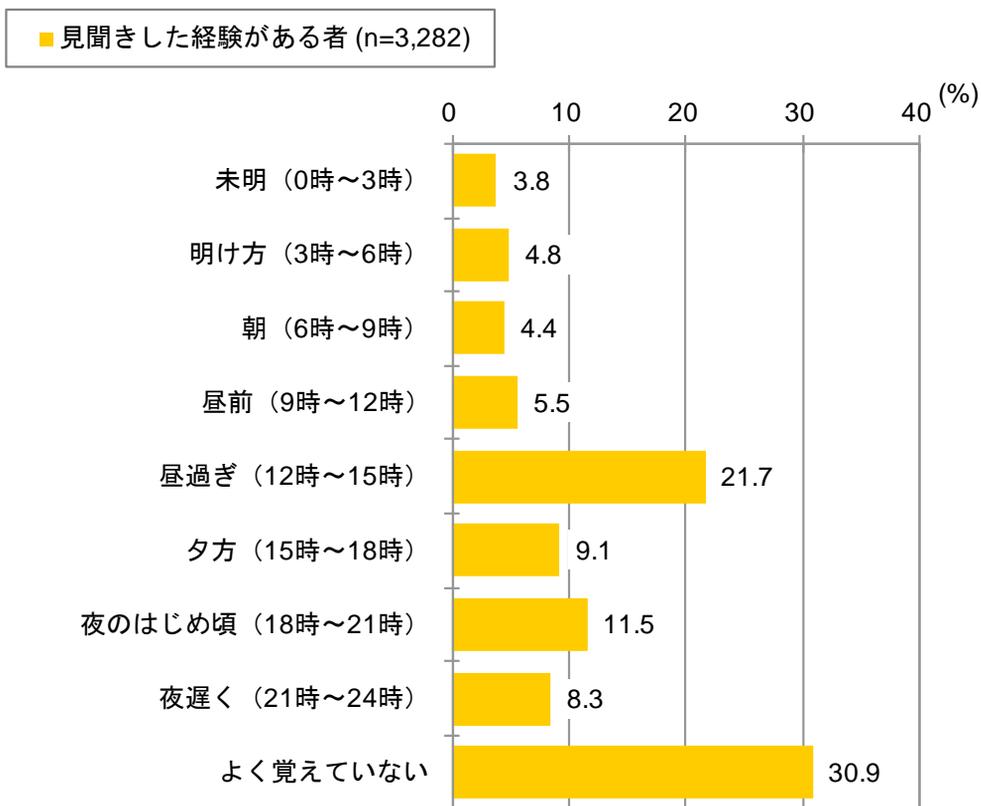
① 設問(Q21-①)

先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験がある方とお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**の状況についてお答えください。緊急地震速報を見聞きしたとき、それは①いつで、あなたは②どこで③何をしていましたか。また、④その時に緊急地震速報を見聞きしてどのような行動をとったのかお答えください。

② 回答数

No.		n	%
1	未明 (0時～3時)	124	3.8%
2	明け方 (3時～6時)	157	4.8%
3	朝 (6時～9時)	144	4.4%
4	昼前 (9時～12時)	181	5.5%
5	昼過ぎ (12時～15時)	711	21.7%
6	夕方 (15時～18時)	299	9.1%
7	夜のはじめ頃 (18時～21時)	379	11.5%
8	夜遅く (21時～24時)	274	8.3%
9	よく覚えていない	1013	30.9%
	不明	0	
	非該当	2208	
	全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(9) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【②どこで】

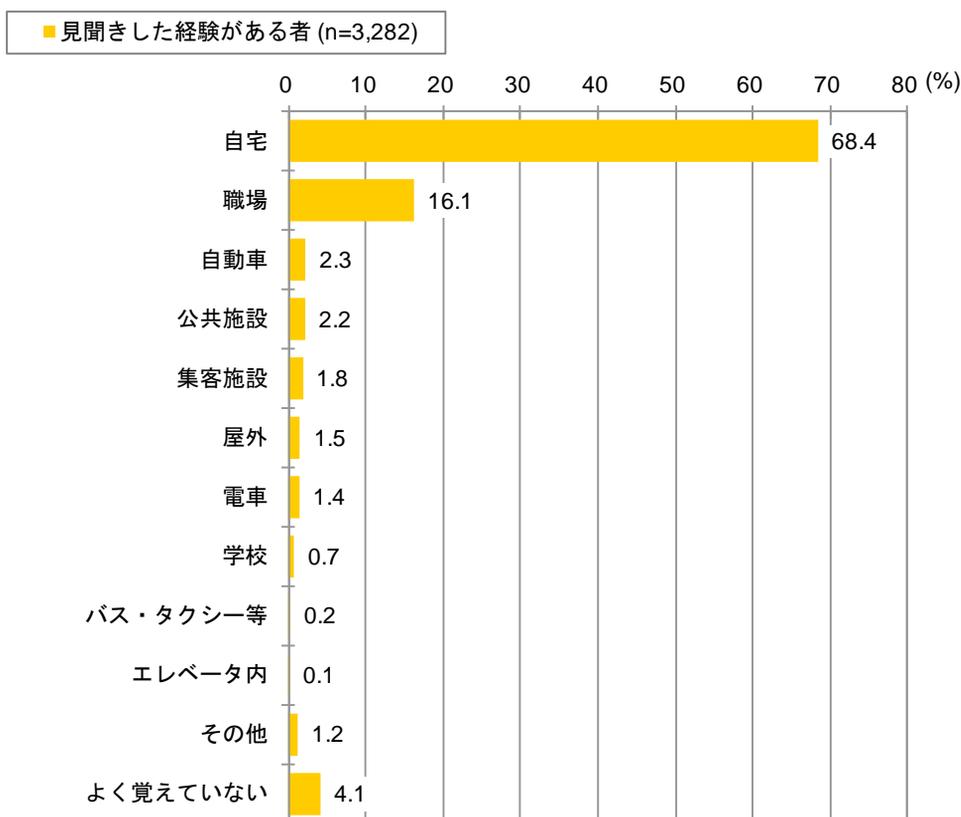
① 設問(Q21-②)

先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験がある方とお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時の状況**についてお答えください。緊急地震速報を見聞きしたとき、それは①いつで、あなたは②どこで③何をしていましたか。また、④その時に緊急地震速報を見聞きしてどのような行動をとったのかお答えください。

② 回答数

No.		n	%
1	自宅	2244	68.4%
2	学校	24	0.7%
3	職場	530	16.1%
4	公共施設	71	2.2%
5	集客施設	59	1.8%
6	自動車	74	2.3%
7	バス・タクシー等	7	0.2%
8	電車	46	1.4%
9	エレベータ内	3	0.1%
10	屋外	49	1.5%
11	その他	40	1.2%
12	よく覚えていない	135	4.1%
	不明	0	
	非該当	2208	
	全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(9) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【②どこで】

④「その他」の主な内容 (n=38)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	実家、知人宅など個人の家の中で	10
2	宿泊施設で	6
3	商業施設内で	4
3	飲食店で	4
3	会社内(客先)で	4
6	スーパーで	2
6	車の中で	2
6	避難所で	2
	その他	4

(10) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【③何をしていた時】

① 設問(Q21-③)

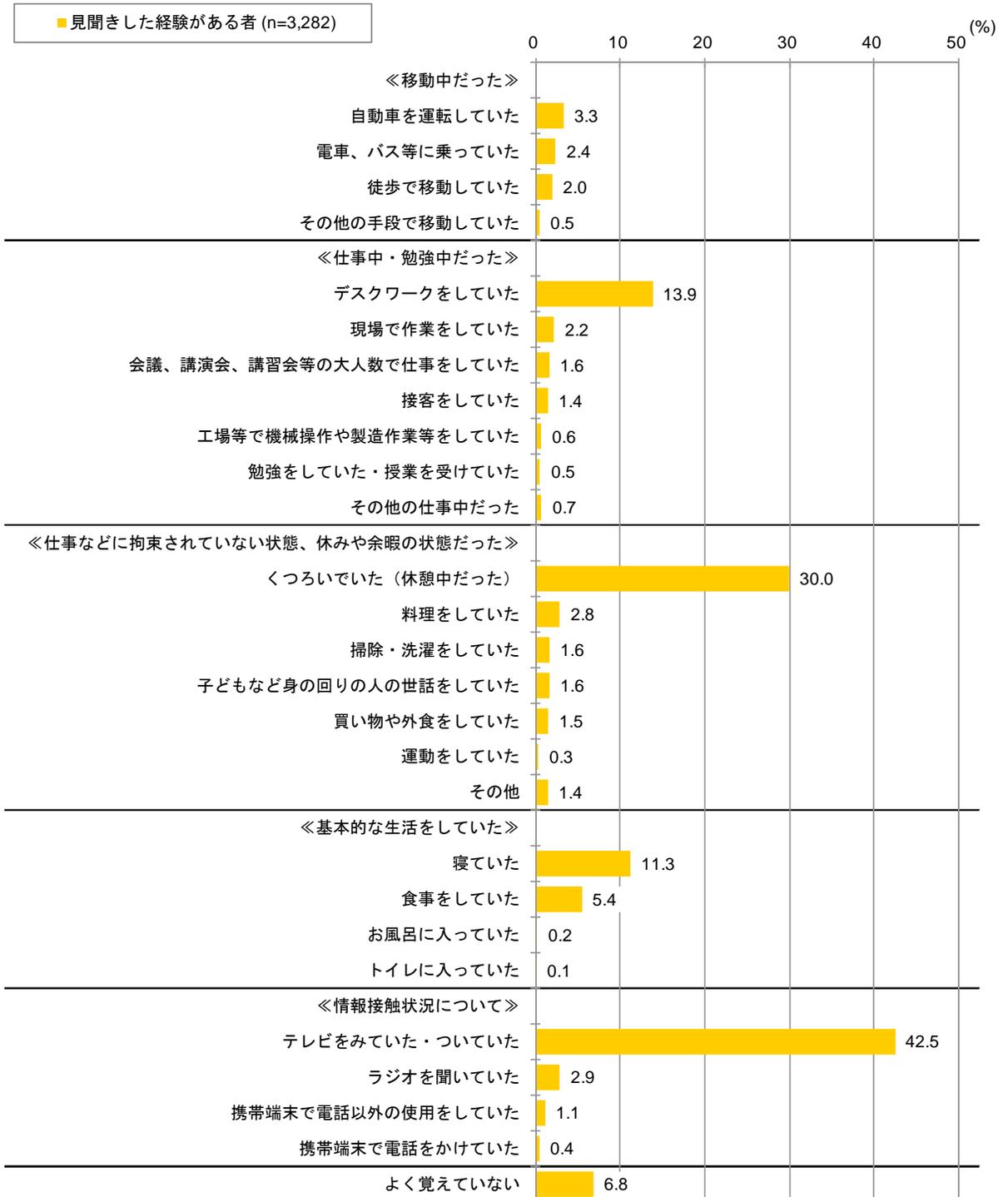
先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験がある方とお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**の状況についてお答えください。緊急地震速報を見聞きしたとき、それは①いつで、あなたは②どこで③何をしていましたか。また、④その時に緊急地震速報を見聞きしてどのような行動をとったのかお答えください。

② 回答数

No.	n	%
1 電車、バス等に乗っていた	78	2.4%
2 自動車を運転していた	107	3.3%
3 徒歩で移動していた	64	2.0%
4 その他の手段で移動していた	15	0.5%
5 デスクワークをしていた	455	13.9%
6 会議、講演会、講習会等の大人数で仕事をしていた	52	1.6%
7 接客をしていた	46	1.4%
8 工場等で機械操作や製造作業等をしていた	21	0.6%
9 現場で作業をしていた	71	2.2%
10 勉強をしていた・授業を受けていた	18	0.5%
11 その他の仕事でだった	23	0.7%
12 運動をしていた	10	0.3%
13 買い物や外食をしていた	49	1.5%
14 料理をしていた	93	2.8%
15 掃除・洗濯をしていた	53	1.6%
16 子どもなど身の回りの人の世話をしていた	53	1.6%
17 くつろいでいた（休憩中だった）	986	30.0%
18 寝ていた	370	11.3%
19 食事をしていた	178	5.4%
20 お風呂に入っていた	6	0.2%
21 トイレに入っていた	2	0.1%
22 その他	46	1.4%
23 テレビをみていた・ついていた	1396	42.5%
24 ラジオを聞いていた	94	2.9%
25 携帯端末で電話をかけていた	13	0.4%
26 携帯端末で電話以外の使用をしていた	36	1.1%
27 よく覚えていない	223	6.8%
不明	0	
非該当	2208	
全体	3282	100.0%

(10) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【③何をしていた時】

③ WEB一般 (%グラフ)



(10) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【③何をしていた時】

④《移動中だった》「その他」の主な内容 (n=7)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	自転車に乗っていた	4
2	エレベーターに乗っていた	1
2	エスカレーターに乗っていた	1
2	自動車に同乗していた	1

《工作中・勉強中だった》「その他」の主な内容 (n=19)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	外回り中	3
1	介護中、診療中	3
1	勉強中	3
4	保育中	2
4	台所・調理場で作業中	2
	その他	6

《仕事などに拘束されていない状態、休みや余暇の状態だった》

「その他」の主な内容 (n=45)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	PC操作中	8
2	趣味の活動をしていた	6
2	観光中(旅行先、娯楽施設内にいた)	6
4	テレビをみていた	5
4	家事をしていた	5
6	病院にいた	3
6	自分の庭・畑にいた	3
6	外出していた	3
9	寝る準備をしていた	2
9	出かける準備をしていた	2
	その他	3

(11) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【④どのような行動をとった】

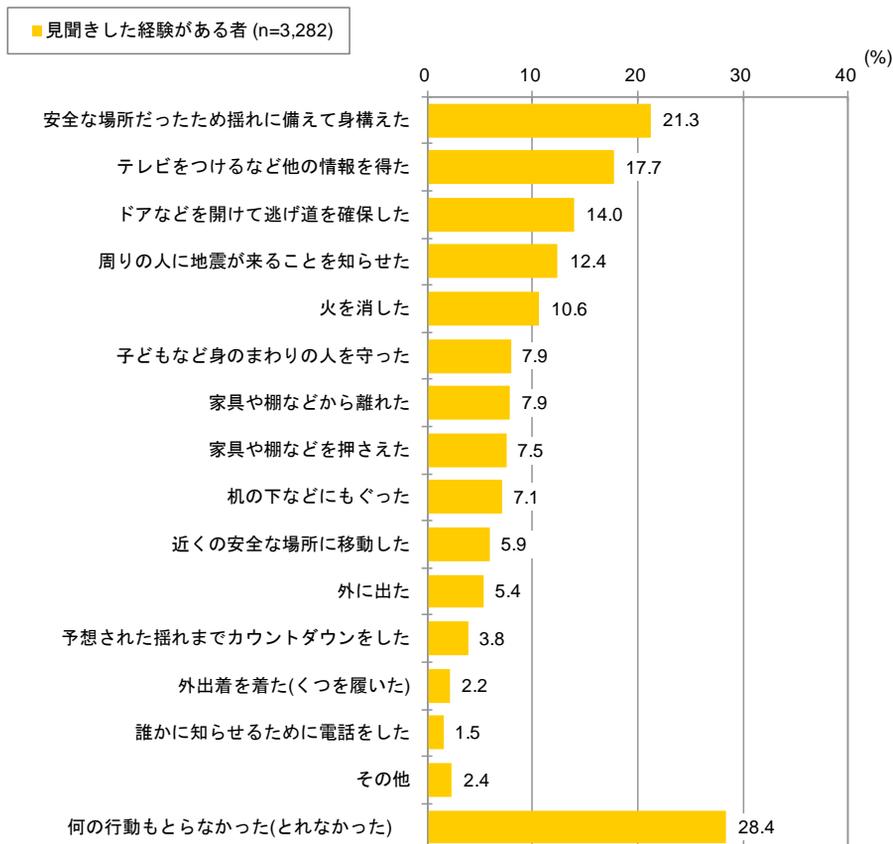
① 設問(Q21-④)

先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験がある方とお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時の状況**についてお答えください。緊急地震速報を見聞きしたとき、それは①いつで、あなたは②どこで③何をしていましたか。また、④その時に緊急地震速報を見聞きしてどのような行動をとったのかお答えください。

② 回答数

No.	n	%
1机の下などにもぐった	233	7.1%
2家具や棚などから離れた	259	7.9%
3家具や棚などを押さえた	246	7.5%
4周りの人に地震が来ることを知らせた	408	12.4%
5子どもなど身のまわりの人を守った	260	7.9%
6近くの安全な場所に移動した	194	5.9%
7安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	698	21.3%
8ドアなどを開けて逃げ道を確保した	459	14.0%
9外に出た	176	5.4%
10外出着を着た(くつを履いた)	72	2.2%
11テレビをつけるなど他の情報を得た	581	17.7%
12火を消した	349	10.6%
13予想された揺れまでカウントダウンをした	126	3.8%
14誰かに知らせるために電話をした	50	1.5%
15その他	78	2.4%
16何の行動もとらなかった(とれなかった)	933	28.4%
不明	0	
非該当	2208	
全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(11) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【④どのような行動をとった】

④「その他」の主な内容 (n=64)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	ペットの安全を確保した	11
2	身構えた・様子を見た	9
3	車を止めた	8
3	貴重品、防災用品等持ち出す物の確保をした	8
5	ヘルメット・布団などを被った・身の安全の確保をした	6
6	家具等をおさえる等倒れそうなものに対して対策をとった	5
7	身支度をした	3
7	地震情報を確認した	3
9	電化製品などのコンセントを抜いた・停止させた	2
9	テレビをみた	2
	その他	10

(12) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【⑤行動を起こした順番】

① 設問(Q21-⑤)

下記はあなたが前問で選択した、緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時の行動を再度表示しています。

この時の行動について、行動を起こした順番をお答えください。

※表示されている項目分、行動した順番をお答えください。

(例)4つ項目が表示されていた場合、1～4番の回答になります。

② 回答数(1番目にとった行動別 2番目にとった行動ランキング)

【1位】安全な場所だったため揺れに備えて身構えた(SA)

※1番目に上記の行動をとった人数:431s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	326	75.6
2	テレビをつけるなど他の情報を得た	40	9.3
3	周りの人に地震が来ることを知らせた	13	3.0
4	予想された揺れまでカウントダウンをした	13	3.0
5	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	12	2.8
6	家具や棚などを押さえた	7	1.6
7	火を消した	6	1.4
8	外に出た	5	1.2
9	子どもなど身のまわりの人を守った	3	0.7
10	机の下などにもぐった	2	0.5
11	近くの安全な場所に移動した	2	0.5
12	家具や棚などから離れた	1	0.2
13	誰かに知らせるために電話をした	1	0.2
14	外出着を着た(くつを履いた)	0	0.0
15	その他	0	0.0
-	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	-	-
	全体	431	100.0

【2位】テレビをつけるなど他の情報を得た(SA)

※1番目に上記の行動をとった人数:304s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	180	59.2
2	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	25	8.2
3	火を消した	17	5.6
4	周りの人に地震が来ることを知らせた	13	4.3
5	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	11	3.6
6	家具や棚などから離れた	10	3.3
7	家具や棚などを押さえた	9	3.0
8	机の下などにもぐった	7	2.3
9	近くの安全な場所に移動した	7	2.3
10	予想された揺れまでカウントダウンをした	7	2.3
11	誰かに知らせるために電話をした	7	2.3
12	子どもなど身のまわりの人を守った	4	1.3
13	外出着を着た(くつを履いた)	3	1.0
14	外に出た	2	0.7
15	その他	2	0.7
-	テレビをつけるなど他の情報を得た	-	-
	全体	304	100.0

【3位】周りの人に地震が来ることを知らせた(SA)

※1番目に上記の行動をとった人数:298s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	93	31.2
2	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	44	14.8
3	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	34	11.4
4	テレビをつけるなど他の情報を得た	31	10.4
5	火を消した	21	7.0
6	家具や棚などから離れた	19	6.4
7	子どもなど身のまわりの人を守った	17	5.7
8	近くの安全な場所に移動した	12	4.0
9	家具や棚などを押さえた	9	3.0
10	予想された揺れまでカウントダウンをした	6	2.0
11	外出着を着た(くつを履いた)	5	1.7
12	机の下などにもぐった	3	1.0
13	外に出た	3	1.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	1	0.3
-	周りの人に地震が来ることを知らせた	-	-
	全体	298	100.0

【4位】火を消した(SA)

※1番目に上記の行動をとった人数:230s

No.	カテゴリー名	n	%
1	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	51	22.2
2	1つしか行動できなかった	49	21.3
3	テレビをつけるなど他の情報を得た	30	13.0
4	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	24	10.4
5	家具や棚などから離れた	21	9.1
6	家具や棚などを押さえた	18	7.8
7	周りの人に地震が来ることを知らせた	10	4.3
8	子どもなど身のまわりの人を守った	8	3.5
9	机の下などにもぐった	7	3.0
10	近くの安全な場所に移動した	6	2.6
11	外出着を着た(くつを履いた)	3	1.3
12	予想された揺れまでカウントダウンをした	2	0.9
13	外に出た	0	0.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	1	0.4
-	火を消した	-	-
	全体	230	100.0

(12) 緊急地震速報を見聞きした時の状況【⑤行動を起こした順番】

【5位】ドアなどを開けて逃げ道を確保した(SA)
※1番目に上記の行動をとった人数:197s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	83	42.1
2	テレビをつけるなど他の情報を得た	25	12.7
3	火を消した	17	8.6
4	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	16	8.1
5	家具や棚などを押さえた	10	5.1
6	外に出た	9	4.6
7	机の下などにもぐった	6	3.0
8	家具や棚などから離れた	6	3.0
9	周りの人に地震が来ることを知らせた	6	3.0
10	子どもなど身のまわりの人を守った	6	3.0
11	近くの安全な場所に移動した	6	3.0
12	外出着を着た(くつを履いた)	5	2.5
13	予想された揺れまでカウントダウンをした	2	1.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	0	0.0
-	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	-	-
	全体	197	100.0

【6位】子どもなど身のまわりの人を守った(SA)
※1番目に上記の行動をとった人数:184s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	63	34.2
2	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	23	12.5
3	テレビをつけるなど他の情報を得た	15	8.2
4	家具や棚などから離れた	14	7.6
5	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	13	7.1
6	火を消した	12	6.5
7	机の下などにもぐった	11	6.0
8	周りの人に地震が来ることを知らせた	11	6.0
9	近くの安全な場所に移動した	11	6.0
10	家具や棚などを押さえた	6	3.3
11	外に出た	2	1.1
12	誰かに知らせるために電話をした	2	1.1
13	外出着を着た(くつを履いた)	1	0.5
14	予想された揺れまでカウントダウンをした	0	0.0
15	その他	0	0.0
-	子どもなど身のまわりの人を守った	-	-
	全体	184	100.0

【7位】机の下などにもぐった(SA)
※1番目に上記の行動をとった人数:142s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	114	80.3
2	外に出た	6	4.2
3	家具や棚などを押さえた	4	2.8
4	テレビをつけるなど他の情報を得た	4	2.8
5	家具や棚などから離れた	3	2.1
6	周りの人に地震が来ることを知らせた	2	1.4
7	子どもなど身のまわりの人を守った	2	1.4
8	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	2	1.4
9	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	2	1.4
10	火を消した	2	1.4
11	外出着を着た(くつを履いた)	1	0.7
12	近くの安全な場所に移動した	0	0.0
13	予想された揺れまでカウントダウンをした	0	0.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	0	0.0
-	机の下などにもぐった	-	-
	全体	142	100.0

【8位】家具や棚などを押さえた(SA)
※1番目に上記の行動をとった人数:129s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	85	65.9
2	テレビをつけるなど他の情報を得た	8	6.2
3	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	7	5.4
4	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	5	3.9
5	火を消した	5	3.9
6	近くの安全な場所に移動した	4	3.1
7	家具や棚などから離れた	3	2.3
8	周りの人に地震が来ることを知らせた	3	2.3
9	子どもなど身のまわりの人を守った	3	2.3
10	外に出た	3	2.3
11	机の下などにもぐった	2	1.6
12	外出着を着た(くつを履いた)	0	0.0
13	予想された揺れまでカウントダウンをした	0	0.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	1	0.8
-	家具や棚などを押さえた	-	-
	全体	129	100.0

【9位】家具や棚などから離れた(SA)
※1番目に上記の行動をとった人数:117s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	50	42.7
2	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	15	12.8
3	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	11	9.4
4	周りの人に地震が来ることを知らせた	9	7.7
5	近くの安全な場所に移動した	8	6.8
6	机の下などにもぐった	6	5.1
7	テレビをつけるなど他の情報を得た	6	5.1
8	子どもなど身のまわりの人を守った	4	3.4
9	家具や棚などを押さえた	2	1.7
10	外に出た	2	1.7
11	火を消した	2	1.7
12	予想された揺れまでカウントダウンをした	1	0.9
13	外出着を着た(くつを履いた)	0	0.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	1	0.9
-	家具や棚などから離れた	-	-
	全体	117	100.0

【10位】外に出た(SA)
※1番目に上記の行動をとった人数:88s

No.	カテゴリー名	n	%
1	1つしか行動できなかった	80	90.9
2	近くの安全な場所に移動した	4	4.5
3	家具や棚などから離れた	1	1.1
4	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	1	1.1
5	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	1	1.1
6	外出着を着た(くつを履いた)	1	1.1
7	机の下などにもぐった	0	0.0
8	家具や棚などを押さえた	0	0.0
9	周りの人に地震が来ることを知らせた	0	0.0
10	子どもなど身のまわりの人を守った	0	0.0
11	テレビをつけるなど他の情報を得た	0	0.0
12	火を消した	0	0.0
13	予想された揺れまでカウントダウンをした	0	0.0
14	誰かに知らせるために電話をした	0	0.0
15	その他	0	0.0
-	外に出た	0	0.0
	全体	88	100.0

(13) 緊急地震速報を見聞きして行動をとった(とれた)理由

① 設問(Q22)

先ほど、④のような行動をとったかという設問で、「1」～「15」を選択した方にお伺いします。

緊急地震速報を見聞きして行動をとった(とれた)理由についてあてはまるものを全て選んでください。また、その中から最もあてはまるものを主な理由として一つ選んでください。

※「1. 行動をとった(とれた)理由」であてはまるものを全て選んでください。

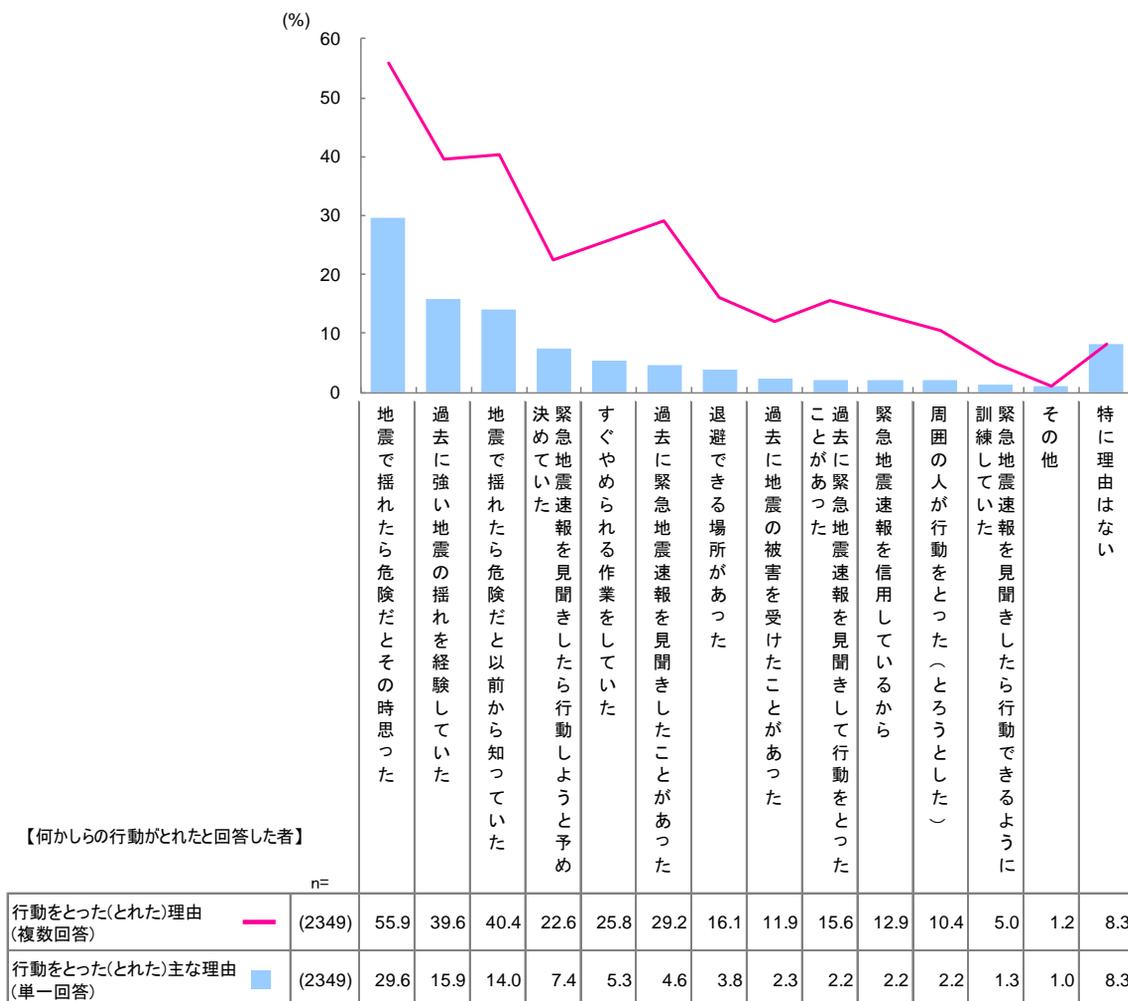
※「2. 行動をとった(とれた)主な理由」では、※1で選んだ項目の中から一つだけ選んでください。

② 回答数

番号	行動をとった(とれた)理由 (いくつでも)	行動をとった(とれた)主な理由 (ひとつだけ)
	n=2,349 上段：回答数 下段：%	
1	地震で揺れたら危険だとその時思った 1314 (55.9%)	696 (29.6%)
2	地震で揺れたら危険だと以前から知っていた 950 (40.4%)	329 (14.0%)
3	退避できる場所があった 378 (16.1%)	90 (3.8%)
4	すぐやめられる作業をしていた 605 (25.8%)	124 (5.3%)
5	周囲の人が行動をとった(とろうとした) 245 (10.4%)	51 (2.2%)
6	緊急地震速報を見聞きしたら行動しようと予め決めていた 530 (22.6%)	173 (7.4%)
7	緊急地震速報を見聞きしたら行動できるように訓練していた 117 (5.0%)	30 (1.3%)
8	過去に緊急地震速報を見聞きしたことがあった 685 (29.2%)	107 (4.6%)
9	過去に緊急地震速報を見聞きして行動をとったことがあった 366 (15.6%)	52 (2.2%)
10	過去に強い地震の揺れを経験していた 931 (39.6%)	374 (15.9%)
11	過去に地震の被害を受けたことがあった 280 (11.9%)	54 (2.3%)
12	緊急地震速報を信用しているから 304 (12.9%)	52 (2.2%)
13	その他 28 (1.2%)	23 (1.0%)
14	特に理由はない 194 (8.3%)	194 (8.3%)

(13) 緊急地震速報を見聞きして行動をとった(とれた)理由

③ WEB一般(%グラフ)



④「その他」の主な内容 (n=19)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため nの合計値は母数よりも多くなることもある

No.	内容	n
1	今までの体験(訓練含む)があったから	6
2	情報収集をしたいと考えたため	3
2	周りの指示に従ったから	3
4	日頃から危機感を持っていた	2
	その他	5

(14) 緊急地震速報を見聞きして行動をとらなかった(とれなかった)理由

① 設問(Q23)

問21-④で「何の行動もとらなかった(とれなかった)」とお答えの方にお伺いします。緊急地震速報を見聞きして行動をとらなかった(とれなかった)理由についてあてはまるものを全て選んでください。また、その中から最もあてはまるものを主な理由として一つ選んでください。

※「1. 行動をとらなかった(とれなかった)理由」についてあてはまるものを全て選んでください。

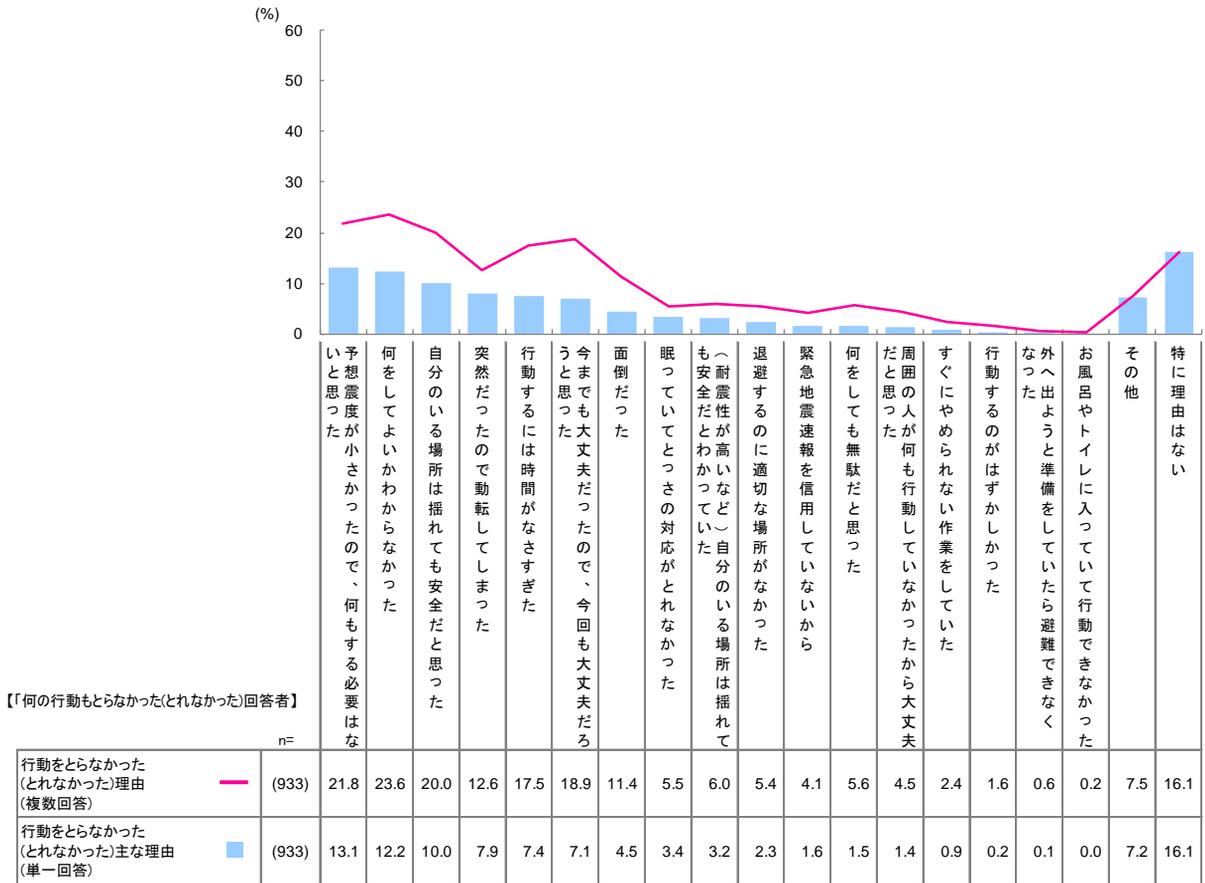
※「2. 行動をとらなかった(とれなかった)主な理由」では、※1で選んだ項目の中から一つだけ選んでください。

② 回答数

番号	n=933 上段：回答数 下段：%	行動をとらなかった (とれなかった)理由 (いくつでも)	行動をとらなかった (とれなかった)主な理由 (ひとつだけ)
1		118 (12.6%)	74 (7.9%)
2		163 (17.5%)	69 (7.4%)
3		50 (5.4%)	21 (2.3%)
4		22 (2.4%)	8 (0.9%)
5		6 (0.6%)	1 (0.1%)
6		2 (0.2%)	0 (0.0%)
7		51 (5.5%)	32 (3.4%)
8		106 (11.4%)	42 (4.5%)
9		220 (23.6%)	114 (12.2%)
10		203 (21.8%)	122 (13.1%)
11		176 (18.9%)	66 (7.1%)
12		187 (20.0%)	93 (10.0%)
13		56 (6.0%)	30 (3.2%)
14		52 (5.6%)	14 (1.5%)
15		42 (4.5%)	13 (1.4%)
16		15 (1.6%)	2 (0.2%)
17		38 (4.1%)	15 (1.6%)
18		70 (7.5%)	67 (7.2%)
19		150 (16.1%)	150 (16.1%)

(14) 緊急地震速報を見聞きして行動をとらなかった(とれなかった)理由

③ WEB一般(%グラフ)



④「その他」の主な内容 (n=67)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.	内容	n
1	震源地から離れていたため	40
2	電車、バス等公共機関の中だったため	6
2	運転中だったため	6
4	誤報だったため	4
4	同時に揺れが来たため(揺れの方が早かったため)	4
6	緊急地震速報に気付かなかった	2
	その他	5

(15) 緊急地震速報を見聞きした際に思ったこと

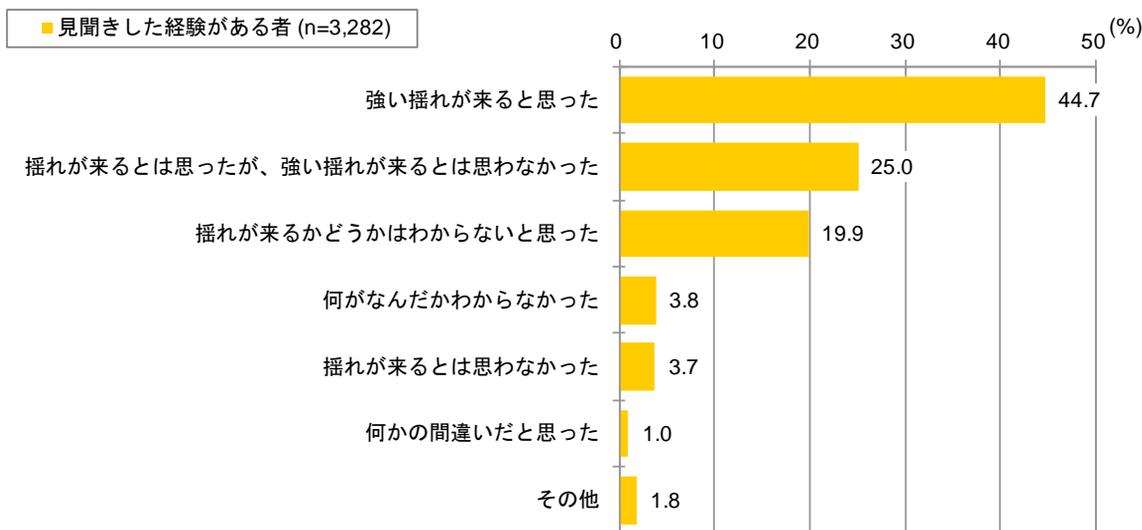
① 設問(Q24)

先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時の状況**についてお答えください。緊急地震速報を見聞きした際、あなたはどのように思いましたか。あてはまるものを一つだけお答えください。

② 回答数

No.	n	%
1 強い揺れが来ると思った	1467	44.7%
2 揺れが来るとは思ったが、強い揺れが来るとは思わなかった	822	25.0%
3 揺れが来るかどうかはわからないと思った	653	19.9%
4 揺れが来るとは思わなかった	123	3.7%
5 何かの間違いだと思った	32	1.0%
6 何がなんだかわからなかった	125	3.8%
7 その他	60	1.8%
不明	0	
非該当	2208	
全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



④「その他」の主な内容 (n=56)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.	n
1 自分のいる地域か否か確認をしようと思った	19
2 身構えた、強い揺れを覚悟した	11
3 誤報だった	7
4 地震と速報が同時だった	6
5 これが地震速報かと認識した	5
6 何も思わなかった	3
その他	5

(16) 緊急地震速報を見聞きした際に地震の揺れで身の危険を感じたかどうか

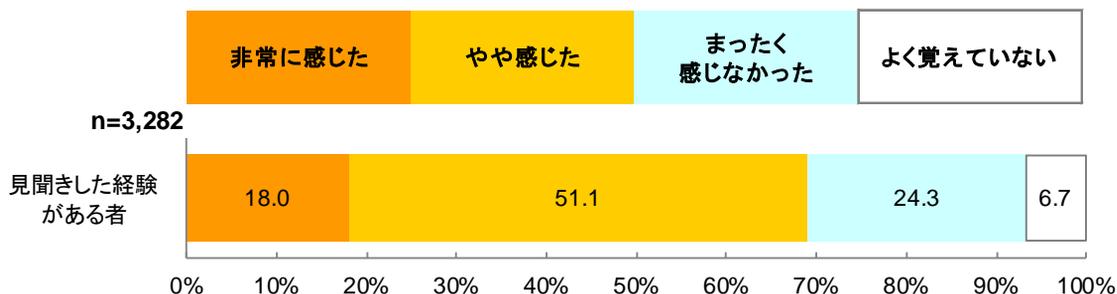
① 設問(Q25)

先ほど、緊急地震速報を見聞きした経験があるとお答えした方にお伺いします。見聞きした経験が複数回ある方は、**緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時**の状況についてお答えください。その地震では、あなたは地震の揺れによって身の危険を感じましたか。あてはまるものを一つだけお答えください。

② 回答数

No.		n	%
1	非常に感じた	590	18.0%
2	やや感じた	1676	51.1%
3	まったく感じなかった	797	24.3%
4	よく覚えていない	219	6.7%
	不明	0	
	非該当	2208	
	全体	3282	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(17) 緊急地震速報で被害を軽減できた事例

① 設問(Q26)

緊急地震速報で被害を軽減できた事例を知っていたら教えてください(日時、場所、状況について、覚えている範囲でできるだけ具体的にお書き下さい)。なお、ご提供いただいた情報は、気象庁の今後の周知広報活動で利用させていただくことがあることをご了承ください。

② 主な回答のまとめ (n=604 ※特になし、非該当を除く)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため nの合計値は母数よりも多くなることもある

主な話題	n	具体例
身の安全の確保、安全な場所への避難ができた	198	<ul style="list-style-type: none"> ・机の下に入って天井が落ちたが無事だった。(千葉県 60代 男性) ・東日本大震災の際、東京にいた娘は、速報をテレビで聞いて、5歳と2歳の子を抱えて、玄関まで逃げ、靴を履かせて揺れを見て障害物のない外に出たそうです。孫たちはけがもなく、娘は速報で子供を守れて助かったと申しております。(愛知県 60代 女性) ・仕事中、東日本大震災で緊急地震速報の放送を聞いた。訳が分からないまま走って安全そうな場所に行ったら直後に強い揺れが起きた。速報前にいた場所は老朽した煙突が倒れていたため被害を受けていたと思う。(東京都 30代 男性)
身構えることができた、心構えができた	179	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災のとき、緊急地震速報をラジオで聞いた。このあたりは被害はなかったが、速報のおかげで心の準備ができ、すべきことをしっかり確認できた。70代の一人暮らしのため速報は大変嬉しい。(山梨県 70代 女性) ・自宅マンションのエレベータ待ち中に地震速報を受信音を聞き、乗車を見合わせた。(中略)エレベータ乗車中に地震にあい、非常階で下ろされ恐ろしい思いをしたことがあったので、心理的な負担の軽減につながった。(東京都 40代 男性)
火の始末ができた	82	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災後に余震が続いており、たびたび緊急地震速報を目にして折、夕方、料理をしているときに、急いで火を消せたことが良かった。かなり強い揺れだったので、そのまま料理を続けていたら、火事の心配があった。(神奈川県 30代 女性)
ものが壊れるのを防げた(花瓶、家具家財、パソコン等)	72	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、大きなゆれで仏壇の花瓶が倒れて仏壇が水浸しになったことがあったので、緊急地震速報が鳴ったらすぐに花瓶を持って、倒れるのを防ぐことができた。(福島県 40代 女性)
逃げ道の確保ができた	43	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の扉がオートロックになっているため、逃げられるようにドアを開け、避難通路を確保できた。(千葉県 30代 女性)
身の回りの人の安否確認ができた	41	<ul style="list-style-type: none"> ・母が階段の掃除をしていた祖母に知らせたらしい。速報がなければ階段から落ちていたかもしれない。(京都府 20代 女性)
夜間、起きることができた	20	<ul style="list-style-type: none"> ・寝ているときに携帯電話から警報がなり、目覚めた。(中略)懐中電灯を握ること、子供を確保できたので、役立ちました。その後、停電になったので、助かりました。(岩手県 30代 女性)
車などの乗り物を安全な場所に停車させることができた	16	<ul style="list-style-type: none"> ・2011/3/11会社の駐車場に車を停めた時に緊急地震速報がなったので、すぐに車から降りて、安全と思われる、会社の1次避難場所に移動することができた。(千葉県 30代 男性)
大事なものを手元におく、防災用品を手元に引き寄せる、水の準備などができた	11	<ul style="list-style-type: none"> ・速報のおかげでガスコンロの火を消したり、手放せない処方されている薬を自分の手元にまとめる事ができたりした。(秋田県 30代 女性)
ペットの安全を確保することができた	9	<ul style="list-style-type: none"> ・3.11の日、初めて聞いた携帯の音に驚き、料理中だったのでガスを消し、ペットを抱いて外へ逃げ、倒れてくる家具から身を守ることが出来ました。(埼玉県 50代 女性)
その他	26	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で休んでいたら、携帯電話の地震速報が鳴ったので、あわててテレビをつけて詳しい状況を確認した。(茨城県 60代 女性)

5. 地震への備え等について

(1) 緊急地震速報の訓練の必要性

① 設問(Q27)

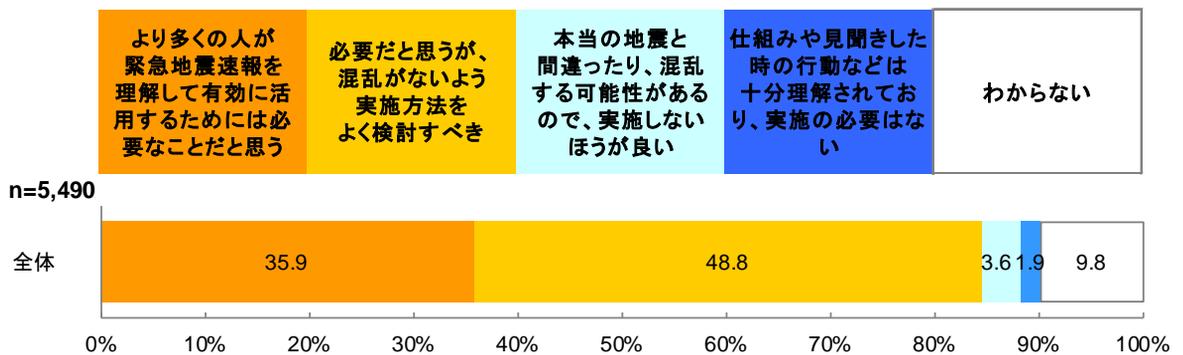
緊急地震速報の仕組みをもっと多くの人が理解し、見聞きした時には速やかに適切な行動をとってもらうためには、架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練が有効という意見があります。

このような訓練は、既に一部の自治体・学校・会社等でこれを防災訓練に取り入れる等により実施されていますが、このことについて、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。あてはまるもの一つだけお答えください。

② 回答数

No.		n	%
1	より多くの人が緊急地震速報を理解して有効に活用するためには必要なことだと思う	1969	35.9%
2	必要だと思うが、混乱がないよう実施方法をよく検討すべき	2677	48.8%
3	本当の地震と間違ったり、混乱する可能性があるので、実施しないほうが良い	200	3.6%
4	仕組みや見聞きした時の行動などは十分理解されており、実施の必要はない	104	1.9%
5	わからない	540	9.8%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(2) 訓練への参加経験・参加理由

① 設問(Q28)

あなたは、このような訓練(架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練)に参加したことがありますか。

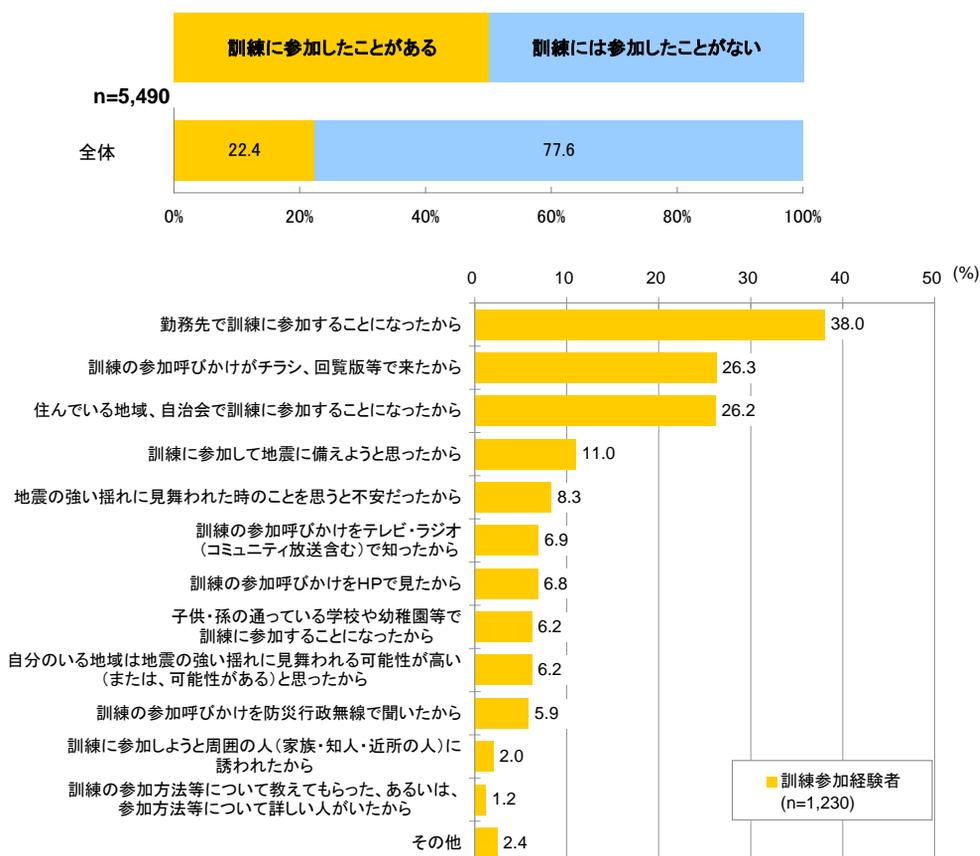
参加したことがある場合は、参加したきっかけについて、あてはまるものを全て選んでください。参加したことがない場合は、「14.緊急地震速報の訓練には参加したことがない」を選んでください。

(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	訓練の参加呼びかけがチラシ、回覧版等で来たから	323	5.9%
2	訓練の参加呼びかけをHPで見たから	84	1.5%
3	訓練の参加呼びかけを防災行政無線で聞いたから	72	1.3%
4	訓練の参加呼びかけをテレビ・ラジオ(コミュニティ放送含む)で知ったから	85	1.5%
5	訓練に参加して地震に備えようと思ったから	135	2.5%
6	勤務先で訓練に参加することになったから	468	8.5%
7	住んでいる地域、自治会で訓練に参加することになったから	322	5.9%
8	子供・孫の通っている学校や幼稚園等で訓練に参加することになったから	76	1.4%
9	訓練に参加しようと周囲の人(家族・知人・近所の人)に誘われたから	25	0.5%
10	訓練の参加方法等について教えてもらった、あるいは、参加方法等について詳しい人がいたから	15	0.3%
11	地震の強い揺れに見舞われた時のことを思うと不安だったから	102	1.9%
12	自分のいる地域は地震の強い揺れに見舞われる可能性が高い(または、可能性がある)と思ったから	76	1.4%
13	その他	30	0.5%
14	緊急地震速報の訓練には参加したことがない	4260	77.6%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(2) 訓練への参加経験・参加理由

④「その他」の主な内容 (n=27)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするためnの合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	職場で訓練があった	8
2	地域、病院で訓練があった	6
3	学校で訓練があった	4
4	メールで訓練の連絡がきた	2
4	両親の話を聞いて	2
	その他	5

(3) 訓練に参加していない理由

① 設問(Q29)

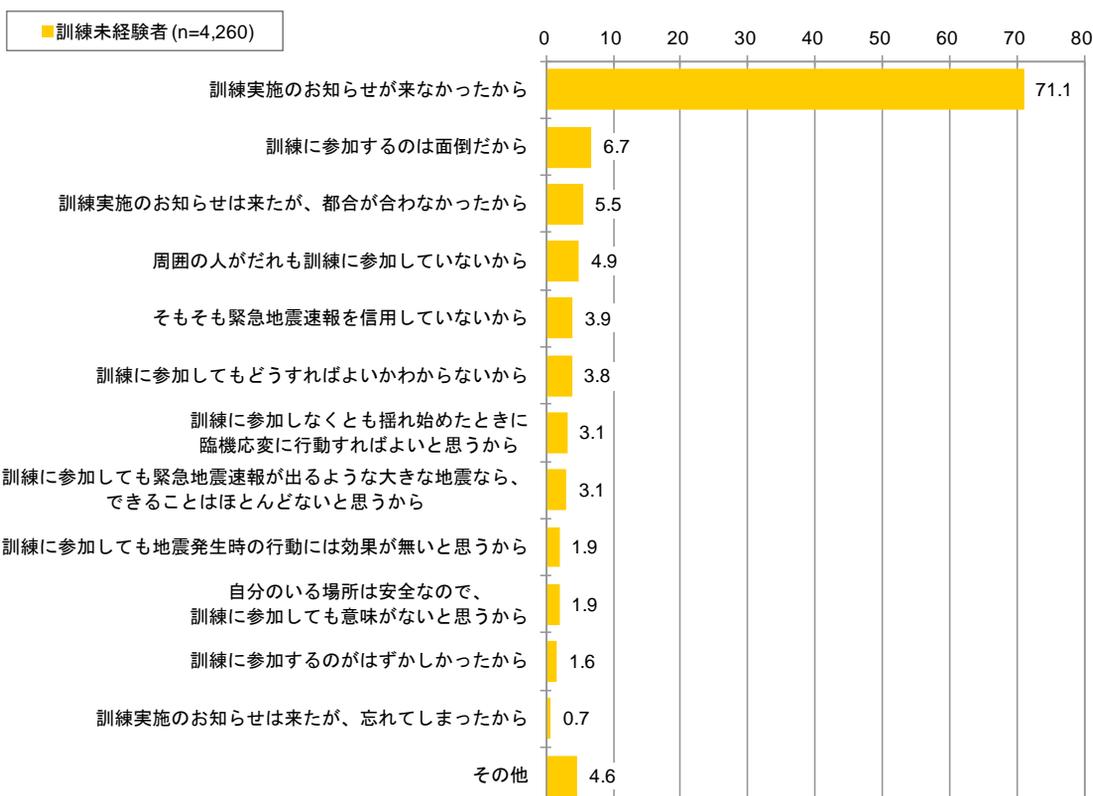
問28で訓練にこれまで参加していない方にお伺いします。

あなたが、このような訓練(架空の緊急地震速報を時間や場所を決めて発表するような訓練)に参加していない理由についてお答えください。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	訓練実施のお知らせが来なかったから	3027	71.1%
2	訓練実施のお知らせは来たが、都合が合わなかったから	234	5.5%
3	訓練実施のお知らせは来たが、忘れてしまったから	31	0.7%
4	訓練に参加しても地震発生時の行動には効果が無いと思うから	83	1.9%
5	訓練に参加しなくとも揺れ始めたときに臨機応変に行動すればよいと思うから	134	3.1%
6	訓練に参加しても緊急地震速報が出るような大きな地震なら、できることはほとんどないと思うから	131	3.1%
7	訓練に参加するのは面倒だから	287	6.7%
8	訓練に参加してもどうすればよいかわからないから	163	3.8%
9	自分のいる場所は安全なので、訓練に参加しても意味がないと思うから	83	1.9%
10	周囲の人がだれも訓練に参加していないから	208	4.9%
11	訓練に参加するのがはずかしかったから	68	1.6%
12	そもそも緊急地震速報を信用していないから	168	3.9%
13	その他	197	4.6%
	不明	0	
	非該当	1230	
	全体	4260	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(3) 訓練に参加していない理由

④「その他」の主な内容 (n=185)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため n の合計値は母数よりも多くなることもある

No.		n
1	訓練自体がない、聞いたことがない、連絡が来なかった	106
2	日程が合わない	23
3	高齢、体が不自由、病気だから	17
4	訓練には意味を感じない	16
5	介護・育児等でその場を離れられない	8
6	ほかで訓練をしている、家族のほかの人が参加しているから	6
7	地震の少ない地域だから	5
8	事前連絡は来たが参加の仕方がわからなかった	3
	その他	2

(4) 地震への備えの対処状況

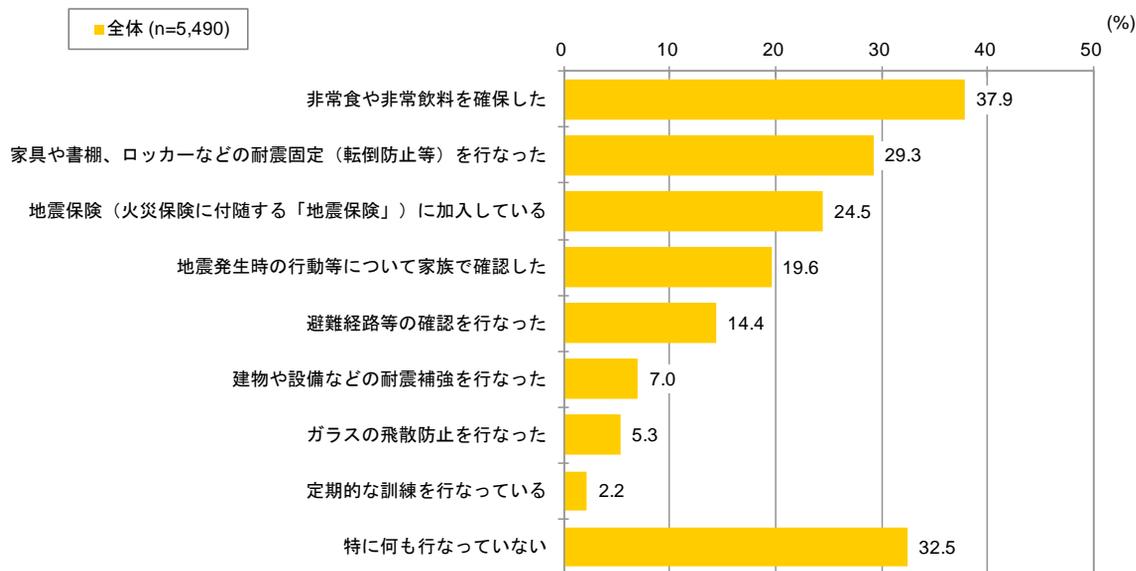
① 設問(Q33)

あなたの地震への備えについて、あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	建物や設備などの耐震補強を行なった	384	7.0%
2	家具や書棚、ロッカーなどの耐震固定（転倒防止等）を行なった	1606	29.3%
3	ガラスの飛散防止を行なった	291	5.3%
4	避難経路等の確認を行なった	792	14.4%
5	地震発生時の行動等について家族で確認した	1075	19.6%
6	定期的な訓練を行なっている	119	2.2%
7	非常食や非常飲料を確保した	2081	37.9%
8	地震保険（火災保険に付随する「地震保険」）に加入している	1345	24.5%
9	特に何も行っていない	1784	32.5%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(5) 地震情報の入手状況

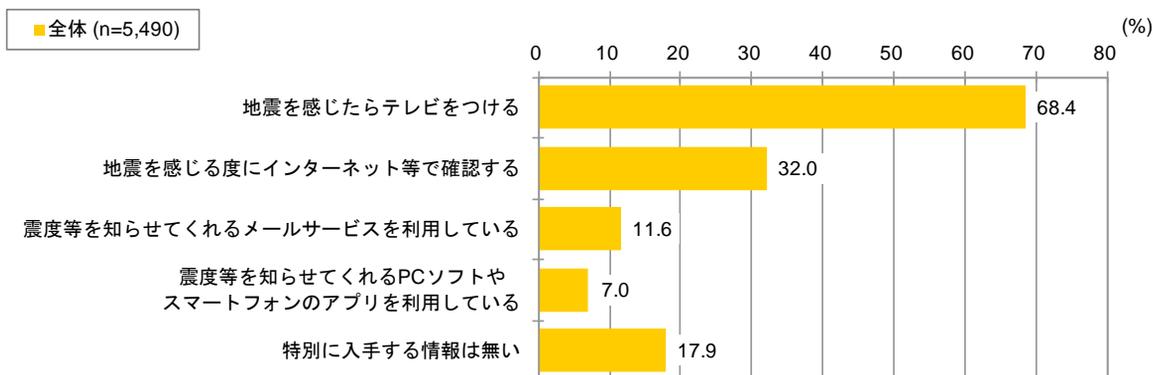
① 設問(Q34)

日ごろから地震に関する情報は入手していますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	地震を感じる度にインターネット等で確認する	1758	32.0%
2	地震を感じたらテレビをつける	3757	68.4%
3	震度等を知らせてくれるメールサービスを利用している	635	11.6%
4	震度等を知らせてくれるPCソフトやスマートフォンのアプリを利用している	387	7.0%
5	特別に入手する情報は無い	981	17.9%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(6) 地震に関して経験や興味があること

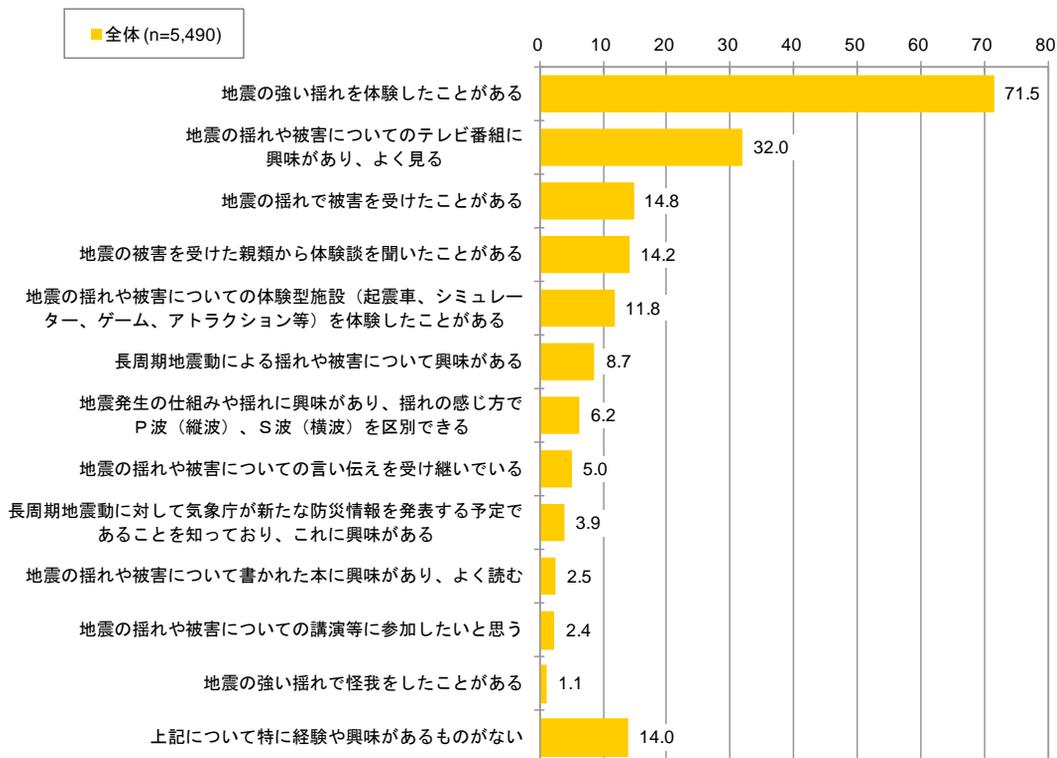
① 設問(Q35)

あなたは以下の経験や興味がありますか。あてはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

② 回答数

No.		n	%
1	地震の強い揺れを体験したことがある	3926	71.5%
2	地震の強い揺れで怪我をしたことがある	60	1.1%
3	地震の揺れで被害を受けたことがある	812	14.8%
4	地震の被害を受けた親類から体験談を聞いたことがある	781	14.2%
5	地震の揺れや被害についての言い伝えを受け継いでいる	274	5.0%
6	地震の揺れや被害についてのテレビ番組に興味があり、よく見る	1756	32.0%
7	地震の揺れや被害についての講演等に参加したいと思う	130	2.4%
8	地震の揺れや被害についての体験型施設（起震車、シミュレーター、ゲーム、アトラクション等）を体験したことがある	649	11.8%
9	地震の揺れや被害について書かれた本に興味があり、よく読む	137	2.5%
10	地震発生の仕組みや揺れに興味があり、揺れの感じ方でP波（縦波）、S波（横波）を区別できる	343	6.2%
11	長周期地震動による揺れや被害について興味がある	477	8.7%
12	長周期地震動に対して気象庁が新たな防災情報を発表する予定であることを知っており、これに興味がある	212	3.9%
13	上記について特に経験や興味があるものがない	768	14.0%
	不明	0	
	全体	5490	100.0%

③ WEB一般(%グラフ)



(7) 緊急地震速報に対する意見・要望

① 設問(Q36)

緊急地震速報のサービスは、継続的に改善をしていく必要があると考えられます。緊急地震速報の放送内容や携帯電話への配信、警報音、周知・広報に関する事など、どのようなことでも結構ですので、緊急地震速報に対するあなたのご意見・ご要望があればお聞かせ下さい。(ご自由にお書きください)

② 主な回答のまとめ (n=2,196 ※特になし、非該当を除く)

※特になし・非該当を除く

※複数項目に該当する回答内容だった場合、件数はそれぞれカウントするため nの合計値は母数よりも多くなることもある

		主な話題	n	具体例
配信内容について		精度を上げてほしい、誤報が多い	542	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な広報と正確な配信が必要だと思う。違った場合にも訂正を繰り返して貰いたい。(神奈川県 60代 女性) ・正確さが更に必要かと思っている。警報が出たのに揺れなかったという事例が2011年の震災後にあつたため、緊急地震速報を信用しない人もいる。(静岡県 50代 男性) ・必要とは思いますが、必要以上に警告されると必要性が疑問視されると思うので、その辺が難しいと思います。(千葉県 50代 男性)
		緊急地震速報の速度を上げてほしい、もっと猶予時間がほしい	151	<ul style="list-style-type: none"> ・地震が起きた後に速報が届きました。(三重県 20代 女性) ・多少の誤差は仕方がない。机の下に潜り込むくらいの時間の余裕が欲しい。(福岡県 50代 男性) ・強い地震の時は地震発生前に必ず緊急地震速報が出るようにしてほしい。(茨城県 20代 男性)
		大きい地震が来る地域のみ配信してほしい	31	<ul style="list-style-type: none"> ・テレビでの地震報道は、現在震度2程度でもそのときの番組を中断して報道しているのだが、これは過剰で白けてしまう。一考を。(山梨県 70代 女性)
		災害警報も併せて教えてほしい	17	<ul style="list-style-type: none"> ・東日本大震災の経験から揺れが大きい場合 海岸沿いの地域にはもっと！津波の襲来に関する情報を大きく伝えるべきと思う。(宮城県 70代 女性)
		現状より小さい地震も伝えてほしい	7	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ震度でも地盤の違いで大きく揺れるところもあるから揺れの大きさを3ぐらいにしてほしい。(宮崎県 40代 男性)
		その他の情報も伝えてほしい(震度、取るべき行動等)	54	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に危ない地域には要避難、警戒等の連絡を入れるべき。(神奈川県 30代 男性) ・慌てず避難できるように、どのようにしたらいいかのアドバイスも添えてほしい。(東京都 40代 女性)
		配信方法について	携帯端末	全ての携帯端末に配信されるように初期設定されているべきだ
	携帯端末への配信方法(その他)		16	<ul style="list-style-type: none"> ・受信音が自動的に最大になったらいいと思う。(和歌山県 60代 女性)
テレビ・ラジオ	テレビ・ラジオからの配信機能の強化をしてほしい		56	<ul style="list-style-type: none"> ・強い揺れが予想される地域は、テレビ画面にもっと大きく表示するようにする。警報音は全て統一する。(三重県 50代 男性) ・テレビ局によって、地震速報に時差がある。(千葉県 40代 男性)
	テレビ・ラジオが自動で付くようにしてほしい		41	<ul style="list-style-type: none"> ・強制的にテレビ・ラジオを付けて配信してくれるのが良いと思う。(愛媛県 60代 女性)
	テレビ・ラジオからの配信方法(その他)	36	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報を受信できる機器を購入したが、ラジオ電波状況が不安定で実際機能するのか不安。地震後のことも含めてAM&FMラジオの電波状況の改善を望む。(静岡県 50代 女性) 	

(7) 緊急地震速報に対する意見・要望(続き)

		主な話題	n	具体例
配信方法について	希望する配信方法	地域(役所)の有線放送、無線放送をしてほしい	135	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線等の整備や、一般家庭電話も含め自動で必ず警報が鳴るシステムを構築する必要があると思う。(愛媛県 40代 女性) ・私は屋外に設置されている防災無線でのサイレンや放送の方が有り難い。(新潟県 50代 男性) ・携帯電話を持っていない人の事も考慮の上、自治体独自で(有線放送等、公の)確実な情報をより早く、正確に伝えるよう希望！的確な避難誘導も有線で必要！(茨城県 60代 女性)
		誰でもどこでも受け取れるシステムづくりが必要である	98	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話を全ての人が持っているわけではないし、テレビやラジオも常に点いているとは限らない。自己満足ではなくきちんと多くの人に伝わるようにしないとイケない。(静岡県 40代 男性) ・街のどこにいても伝わるシステムにした方が良いと思う。(徳島県 30代 男性)
		高齢者、体が不自由な方等への対応が必要である	58	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなどころにスピーカーを設置して誰にでも伝えられるのがいい。耳の聞こえない人にもわかるように光で知らせるのもいいかも。(福岡県 30代 男性) ・聴力障害・視力障害など様々な障がい者に対する措置が気になります。(岐阜県 60代 女性)
		職場、学校、店内スピーカー、公共機関での電光掲示板等で知らせてほしい	46	<ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設などは緊急地震速報の受信装置の設置義務化。(長崎県 20代 男性)
		全家庭に専用受信機を置いてほしい(固定電話機用受信機など)	22	<ul style="list-style-type: none"> ・電源配電盤など、各家庭に必ず有るような物に警報装置を義務づけ、定期的な避難訓練を各自治体で施行する。(京都府 50代 男性)
		PC等でも配信してほしい	15	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコンに標準装備など、最初から入っていないと、普及は難しいと思う。(千葉県 30代 男性)
		テレビ・携帯端末がない人にも伝わる仕組みを考えて欲しい	8	<ul style="list-style-type: none"> ・あまりにも携帯電話やテレビに頼った速報だと、通信インフラが地震で崩壊した時にどうするのか？余震はどうする？(三重県 40代 男性)
		自動車、信号などにも設置すべき	6	<ul style="list-style-type: none"> ・信号機の下など誰もが目にできる場所に警報ランプなど視覚でわかるものを設置するのはどうか。(神奈川県 30代 女性)
		希望する配信方法(その他)	5	<ul style="list-style-type: none"> ・避難最重要地区は特別な速報体制があるべきと思う。(岐阜県 60代 男性)
日頃の備え、広報等		広報活動に力を入れるべき(緊急地震速報とは何かについて、行動のマニュアル化について)	222	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報が携帯・スマートフォンで受信できることを、まだ知らない利用者も多いと思うので、継続的な広報や、模擬送信等を行なっていく必要があると思います。それにより、受信できる・受信できない機種の確認ができるなど、メリットは大きいと思います。(大阪府 30代 男性) ・現状の緊急地震速報でも十分役に立っていると思う。不確定要素や誤差を含むことも理解した上で各個人が利用できるよう、システムの説明は徹底するべきであると思う。(静岡県 20代 女性) ・このようなサービスは通達あるいは公報で知らせているのだろうが、自分の場合、新聞は購読していないし、公報もあまり読まないのので伝わらない。テレビはいつも見ているので大事なものはテレビでも伝えるようにしてほしい。(広島県 70代 男性)
		訓練、日ごろの準備、教育が重要だと思う	165	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で統一の訓練を大々的に実施すると良いと思う。(鳥取県 20代 男性) ・携帯、TV、ラジオで一斉に同じ音、音声で流したらよい。何回か訓練すればみんながすぐに認識でき対処が速やかにできる。(岡山県 50代 女性)
		地域での連携、官民連携が必要だと思う	93	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練をすればいざという時の準備になると思うが、行政にその動きは無い。(沖縄県 20代 男性) ・沖縄など地震のあまりない地域は、意識が低いと思う。そういった地域に対して、何か働きかけが必要だと思う。(沖縄県 20代 男性)

(7) 緊急地震速報に対する意見・要望(続き)

	主な話題	n	具体例
役に立っている	役に立っている	147	<ul style="list-style-type: none"> ・少しでも身構えることができると、被害も少しは減ってくると思うので大切なことだと思う。(兵庫県 30代 女性) ・携帯電話の警報音が鳴ると、すぐにテレビをつけて状況を把握します。警報音は役に立っています。(東京都 60代 女性) ・緊急時には、現在普及しているIT機器を活用して被害を最小限に食い止める事は、大いに意義があると思っている。(北海道 60代 男性)
	誤報でも流してほしい	77	<ul style="list-style-type: none"> ・誤信を恐れずに、速報を出し続けてもらいたい。多くの人に携帯への配信を設定してもらおうよ、また周りで警告音が鳴っても理解してもらえるよ、テレビCM等で積極的に広報してもらいたい。(熊本県 30代 男性) ・信頼にたる速報が必要だが、精度向上は早急に対応できないと思われる為、精度が低くとも情報を発信していくことが大切だと思う。(神奈川県 20代 女性)
音について	携帯、テレビ等からの緊急地震速報の音が怖い	99	<ul style="list-style-type: none"> ・音の改善。あまりに強烈すぎて、心臓に悪い。(北海道 30代 女性) ・警報を知らせる音がよくない。もう少しやわらかいものにしてもらいたい。音がかえってパニックを起こす場合がある。(福島県 50代 女性)
	音が聞きにくい(防災無線等の音が聞き取りにくいので改善して欲しい)	39	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のスピーカーからの声が反響して何を言っているのかわからない。地域の全員がはっきりとわかるような連絡方法を改善して欲しい。(東京都 60代 女性)
	すべての媒体の音を揃えて分りやすくしてほしい	21	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急地震速報の警告音を、テレビも携帯もどれもみな同じ音で知らせてほしい。(神奈川県 40代 女性)
	音について(その他)	6	<ul style="list-style-type: none"> ・警告音を段階別に分けてくれると助かります。(神奈川県 30代 女性)
役に立っていない	乱発しすぎ、慣れてしまった	32	<ul style="list-style-type: none"> ・中途半端な情報は出さずに、本当に注目しなければならない情報を的確に出していくようにしないと、その情報に慣れ、緊張感をなくし、避難などをしなくなるので、よく考えてやってほしい。(宮城県 30代 女性)
	不要である	23	<ul style="list-style-type: none"> ・コストに見合う効果があるのか疑問を感じる。(高知県 40代 男性)
その他	その他	44	<ul style="list-style-type: none"> ・速報が出て数秒～数十秒で揺れが来るのであるからあつという間で、どう対処すべきかは個人・個人の知識においても行動に責任を持つべきと自分自身にも言い聞かせています。(北海道 60代 男性)

緊急地震速報等の利活用状況調査

結果(分析編)

平成24年11月

気 象 庁

目次

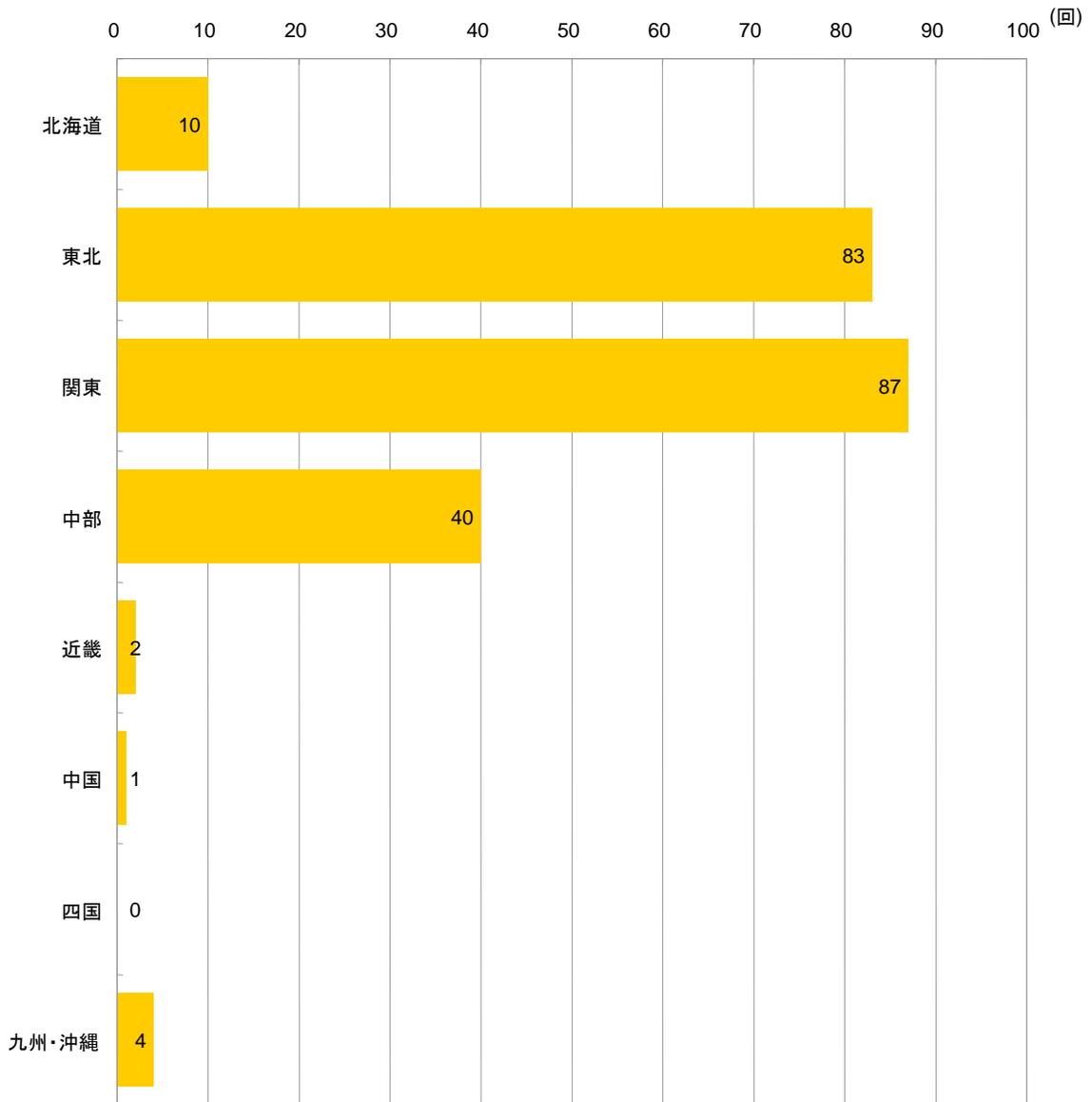
I. 緊急地震速報の発表回数	
1. 地域別 緊急地震速報回数	2
II. 調査結果のまとめ	
1. 速報の理解度と住民意識	3
(1) 地域・年代別 緊急地震速報に関する認知状況(認知項目数)	3
(2) 地域・年代別 緊急地震速報に関する認知状況(項目別詳細)	4
(3) 地域・年代別 緊急地震速報を見聞きした際に地震の強い揺れがくると思ったかどうか	5
(4) 地域・年代別 予測震度の誤差の許容範囲(「許容できない」の割合)	6
(5) 地域・年代別 緊急地震速報の発表基準についての意見	7
(6) 地域・年代別 緊急地震速報に対する評価	8
(7) 緊急地震速報が役に立っていると思う理由／役に立っていないと思う理由	8
2. 速報の入手状況	9
(1) 年代別／時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報の入手手段(方法)について	9
(2) 年代別／地域別 今後、緊急地震速報を見聞きたい方法	10
(3) 年代別／地域別 緊急地震速報の入手手段としての認知状況(携帯端末)	11
(4) 年代別／地域別 専用報知音の認知状況	11
(5) 年代別／地域別 所有している携帯電話等の設定状況	12
(6) 年代別／地域別 所有している携帯電話等を設定していない理由	13
3. 速報を見聞きした際の行動	14
(1) 地域別 見聞きした時にとるべき行動の決定状況	14
(2) 地域別 あらかじめ決めておくとるべき行動の内容	14
(3) 地域別 緊急地震速報を見聞きした時の行動率	15
(4) 緊急地震速報を見聞きした時にとるべき行動の決定有無別 見聞きした時の行動率	15
(5) 地域別 緊急地震速報を見聞きした時に起こした行動	16
(6) 1番目にとった行動別 2番目にとった行動	17
(7) 行動をとった理由／とらなかった理由	18
(8) 地域別 地震への備えの対処状況	19
4. 速報を活用できた状況	20
(1) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした場所	20
(2) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時の状況	21
(3) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報の入手手段(方法)について	22
(4) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に入手した情報について	23
(5) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時にとった行動について	24
(6) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に1番目に行起こした行動	25
(7) 時間帯別 1番目に「屋内で危険を回避しようとした」人が2番目にとった行動	25
5. その他	26
(1) 地域別傾向	26
【参考①】行動分析に関するグラフ	27
【参考②】各要素の依存関係	29

I. 緊急地震速報の発表回数

1.地域別 緊急地震速報回数

・平成19年10月1日～平成24年11月5日の期間における緊急地震速報の発表回数を地域別にみると、最も多いのは関東(87回)、次いで東北(83回)、中部(40回)という順になっている。

①グラフ(回)



II. 調査結果のまとめ

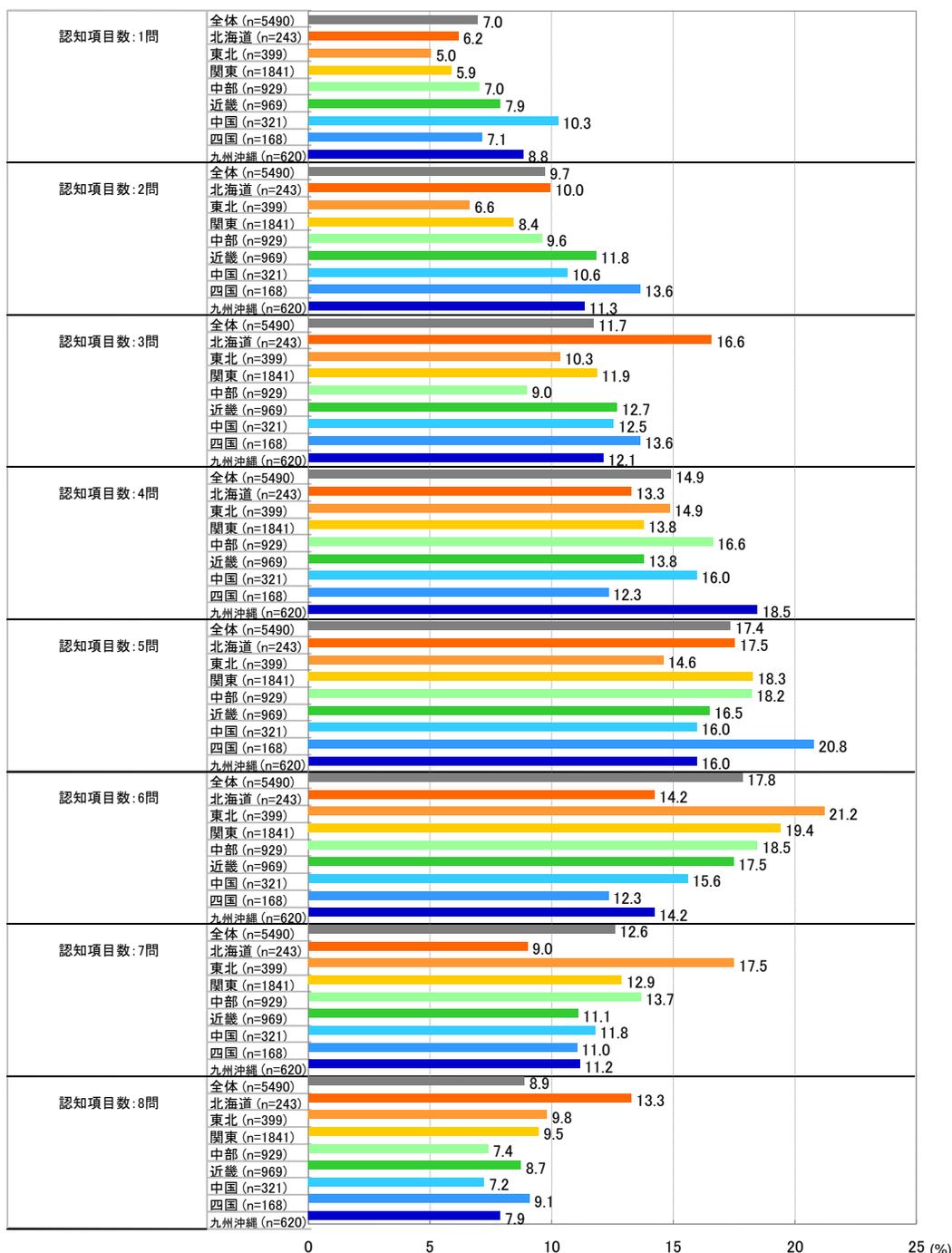
「緊急地震速報等の利活用状況調査」報告書に基づいて、現在の利活用状況および今後に向けての課題や改善点などの傾向を把握するため、調査結果を分析した。

1. 速報の理解度と住民意識

(1) 地域・年代別 緊急地震速報に関する認知状況(認知項目数)

- ・緊急地震速報の特徴などをほぼ理解している人(4問以上知っていると回答した人の合計)は、全体の約7割。
- ・地域別の平均認知項目数は、東北が最も多く5.10問、次いで関東(4.87問)、中部(4.76問)、北海道(4.71問)、近畿(4.60問)、四国(4.53問)、九州・沖縄(4.48問)、中国(4.47問)の順となっている。特に緊急地震速報の経験回数が多い地域(東北・関東)では、認知率が高くなる傾向がみられる。

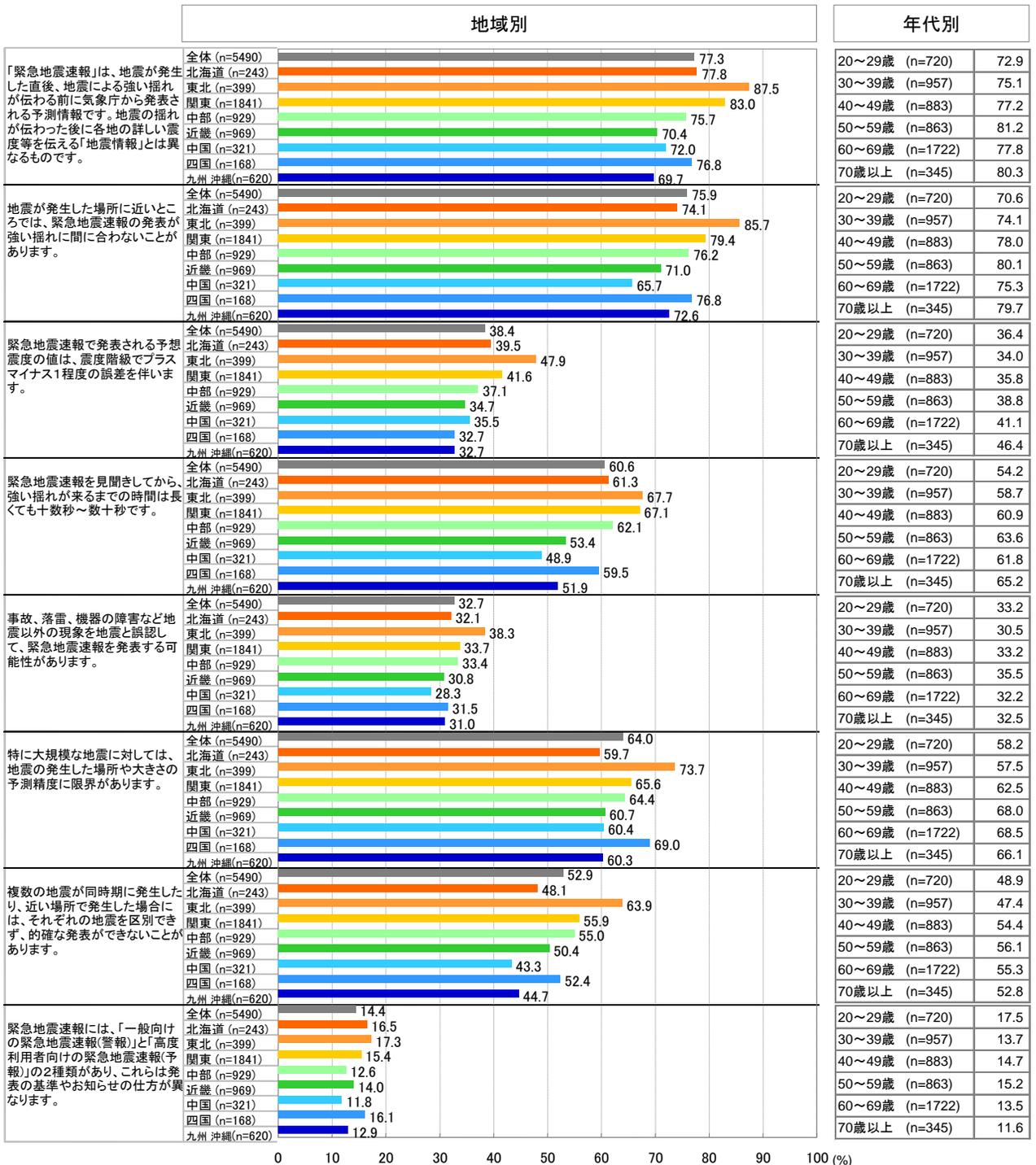
①グラフ(%)



(2)地域・年代別 緊急地震速報に関する認知状況(項目別詳細)

- ・最も認知率が低いのは「緊急地震速報には警報と予報の2種類があり、発表の基準や知らせ方が異なる」であり、全体の8割以上の人が認知していない。
- ・地域別にみると、東北と関東ではすべての項目で全体平均以上の認知率となっており、他の地域よりも高い傾向がみられる。
- ・年代別による大差はみられない。

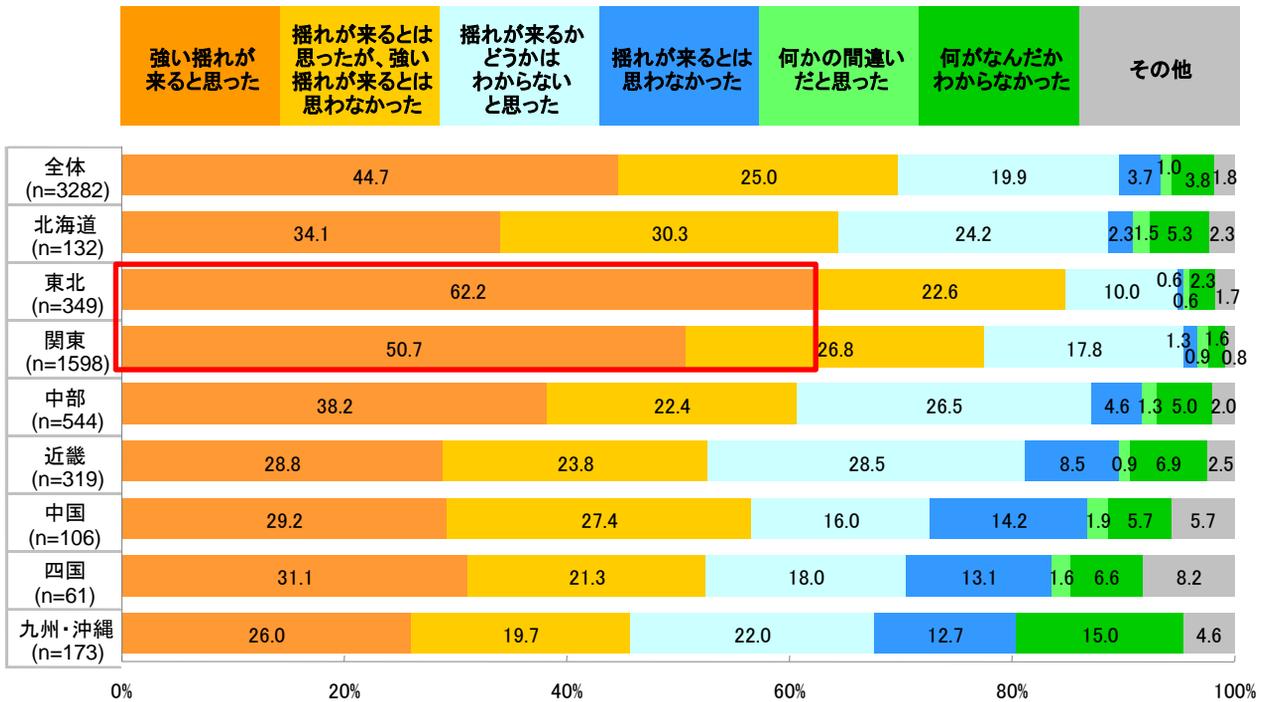
①グラフ・数表(%)



(3) 地域・年代別 緊急地震速報を見聞きした際に地震の強い揺れがくると思ったかどうか

- ・速報を見聞きしたとき、全体の約半数の人が速報を聞いて危機感を感じている。「強い揺れが来ると思った」(44.7%)、「揺れが来るとは思ったが、強い揺れが来るとは思わなかった」(25.0%。)
- ・地域別にみると、特に緊急地震速報の経験回数が多い地域(東北・関東)では、「強い揺れが来ると思った」人の割合が高くなる傾向がみられる。
- ・年代別では大差はみられない。

① グラフ・数表(%)



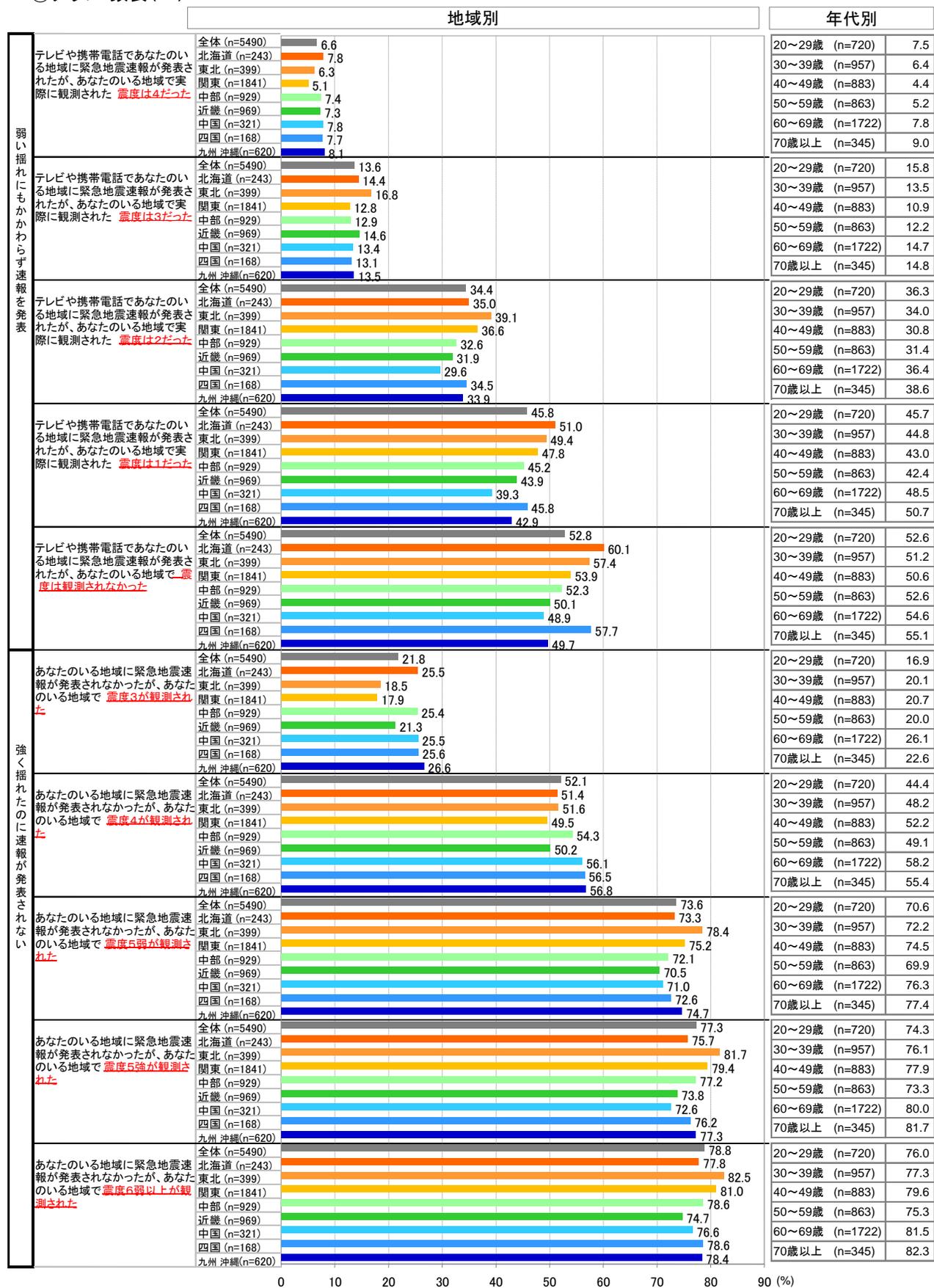
② 数表: 年代別(%)

	強い揺れが来ると思った	揺れが来るとは思ったが、強い揺れが来るとは思わなかった	揺れが来るかどうかはわからないと思った	揺れが来るとは思わなかった	何かの間違いだと思った	何がなんだかわからなかった	その他
全体 (n=3282)	44.7	25.0	19.9	3.7	1.0	3.8	1.8
20~29歳 (n=481)	38.7	27.7	20.4	3.7	2.3	6.0	1.2
30~39歳 (n=640)	41.3	25.8	20.2	5.0	1.1	4.4	2.3
40~49歳 (n=553)	46.7	22.8	21.0	3.4	1.3	3.6	1.3
50~59歳 (n=513)	46.8	23.6	20.5	3.1	0.6	2.7	2.7
60~69歳 (n=918)	47.7	24.8	19.1	3.4	0.3	3.1	1.6
70歳以上 (n=177)	45.8	27.7	16.9	4.0	0.6	3.4	1.7

(4) 地域・年代別 予測震度の誤差の許容範囲(「許容できない」の割合)

・弱い揺れにもかかわらず速報を発表する場合に比べ、強く揺れたのに速報が発表されていない場合に対する許容度は低い。

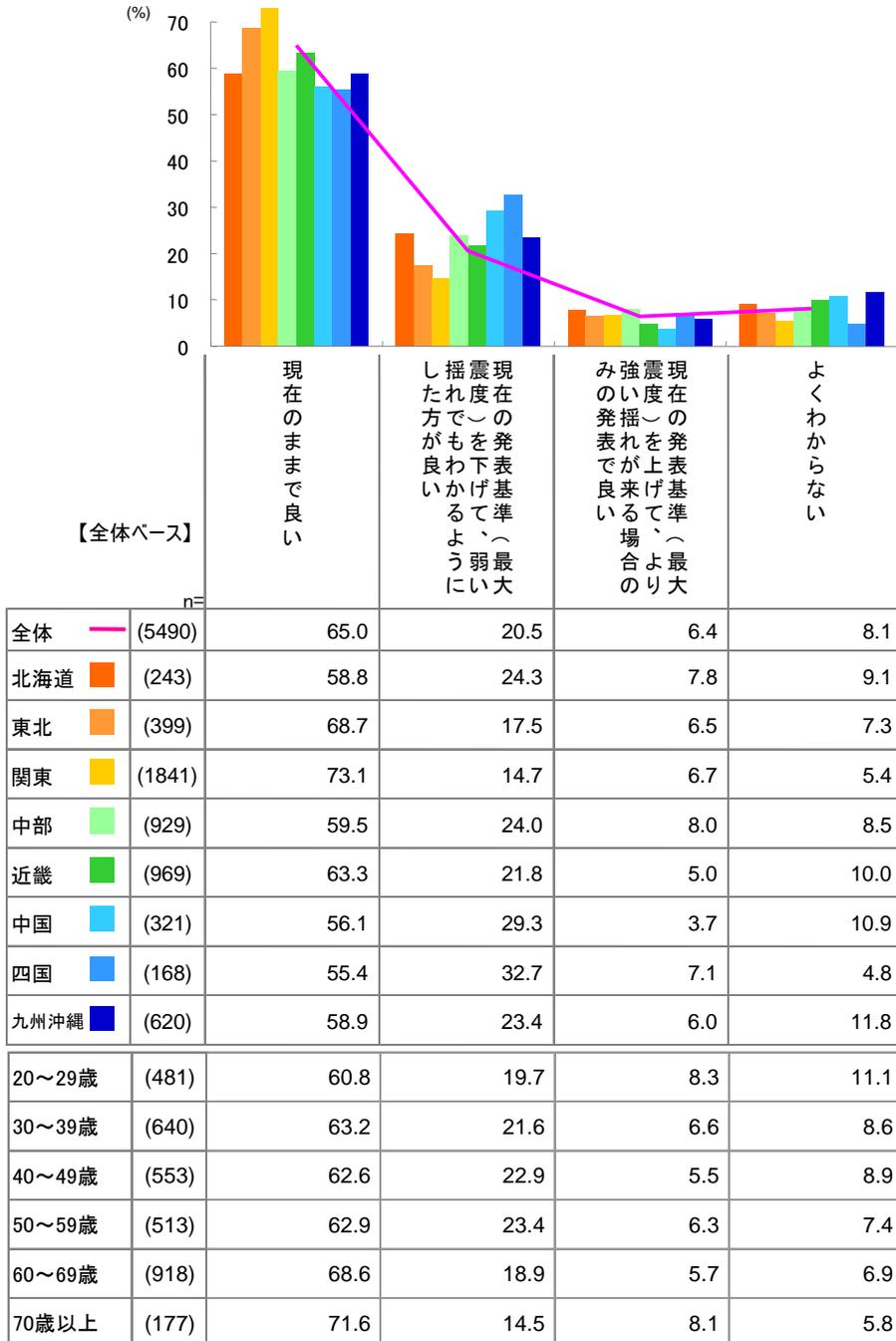
① グラフ・数表(%)



(5)地域・年代別 緊急地震速報の発表基準についての意見

- ・緊急地震速報の発表基準についての意見をみると、全体では「現在のままで良い」が半数以上となっている。
- ・地域別にみると、特に緊急地震速報の経験回数が多い地域（東北・関東）では、「現在のままで良い」の割合が他の地域よりも高い傾向がある。
- ・年代別では大差はみられない。

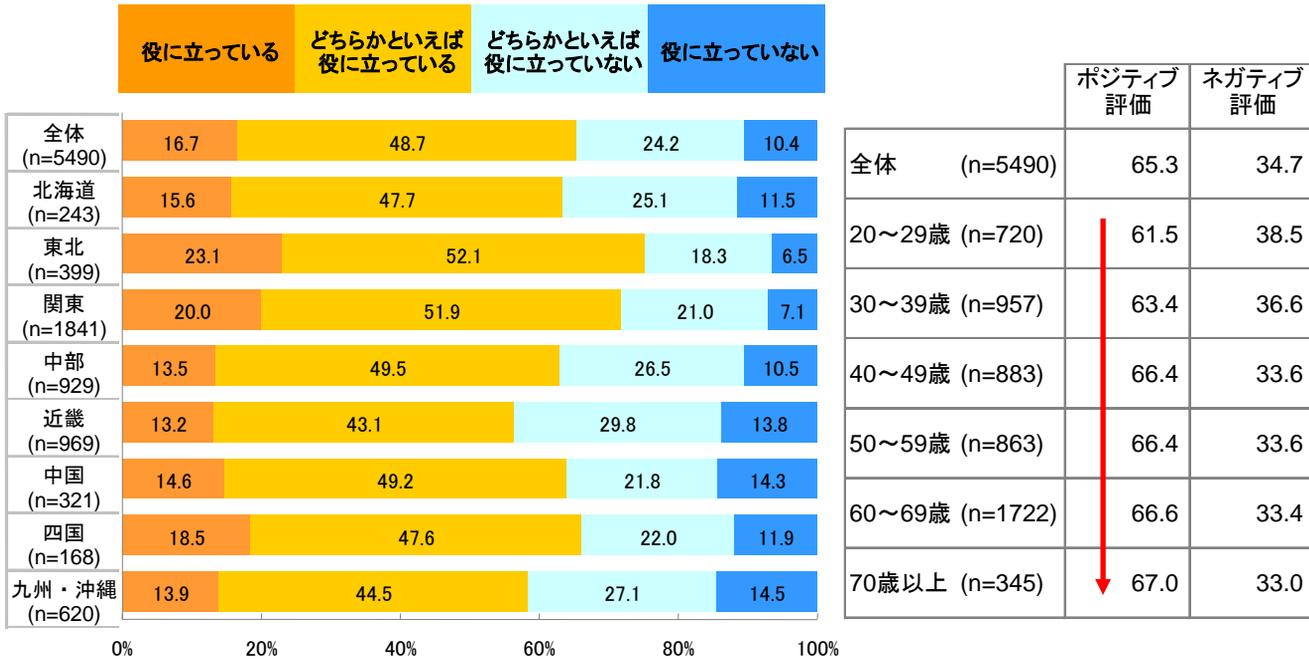
①グラフ(%)



(6) 地域・年代別 緊急地震速報に対する評価

- ・緊急地震速報に対する評価をみると、ポジティブ評価(「役に立っている」「どちらかといえば役に立っている」の回答者合計)の割合は全体の65.3%。
- ・地域別にみると、緊急地震速報の経験回数が多い地域(東北・関東)では、ポジティブ評価が高くなる傾向がみられる。
- ・年代別にみると、ポジティブ評価の割合は、高齢層になるほどやや高くなる傾向がみられる。

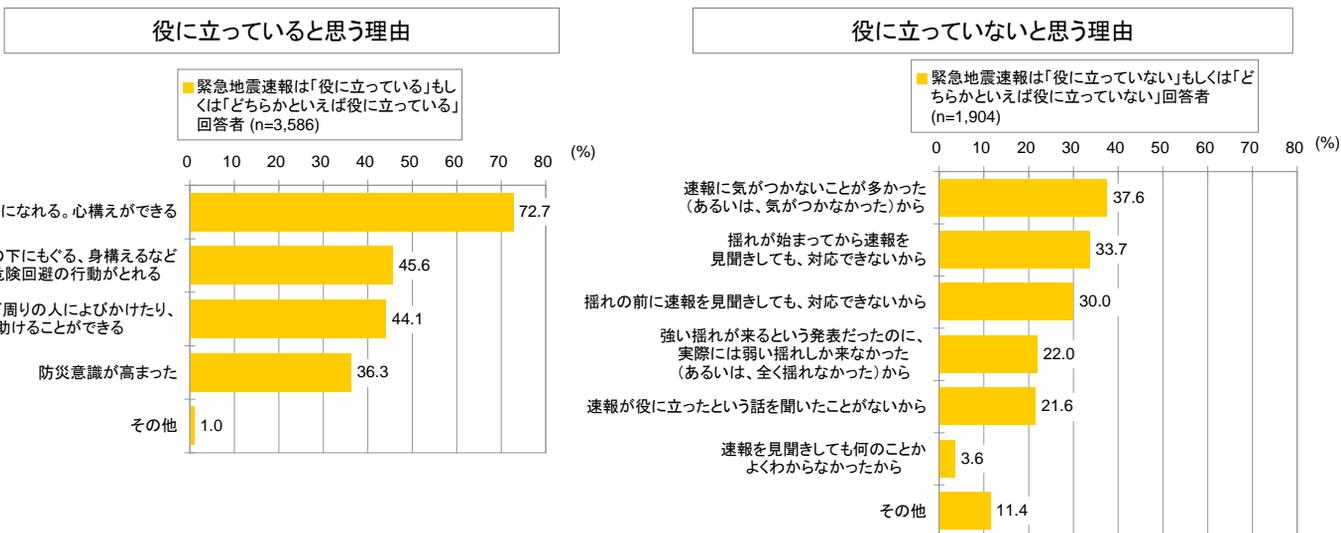
① グラフ・数表 (%)



(7) 緊急地震速報が役に立っていると思う理由／役に立っていないと思う理由

- ・役に立っていると思う理由としては、「冷静になれる、心構えができる」が72.7%で最も多い。
- ・役に立っていないと思う理由としては、「速報に気がつかないことが多かった(あるいは、気がつかなかった)から」が37.6%で最も多い。

① グラフ (%)

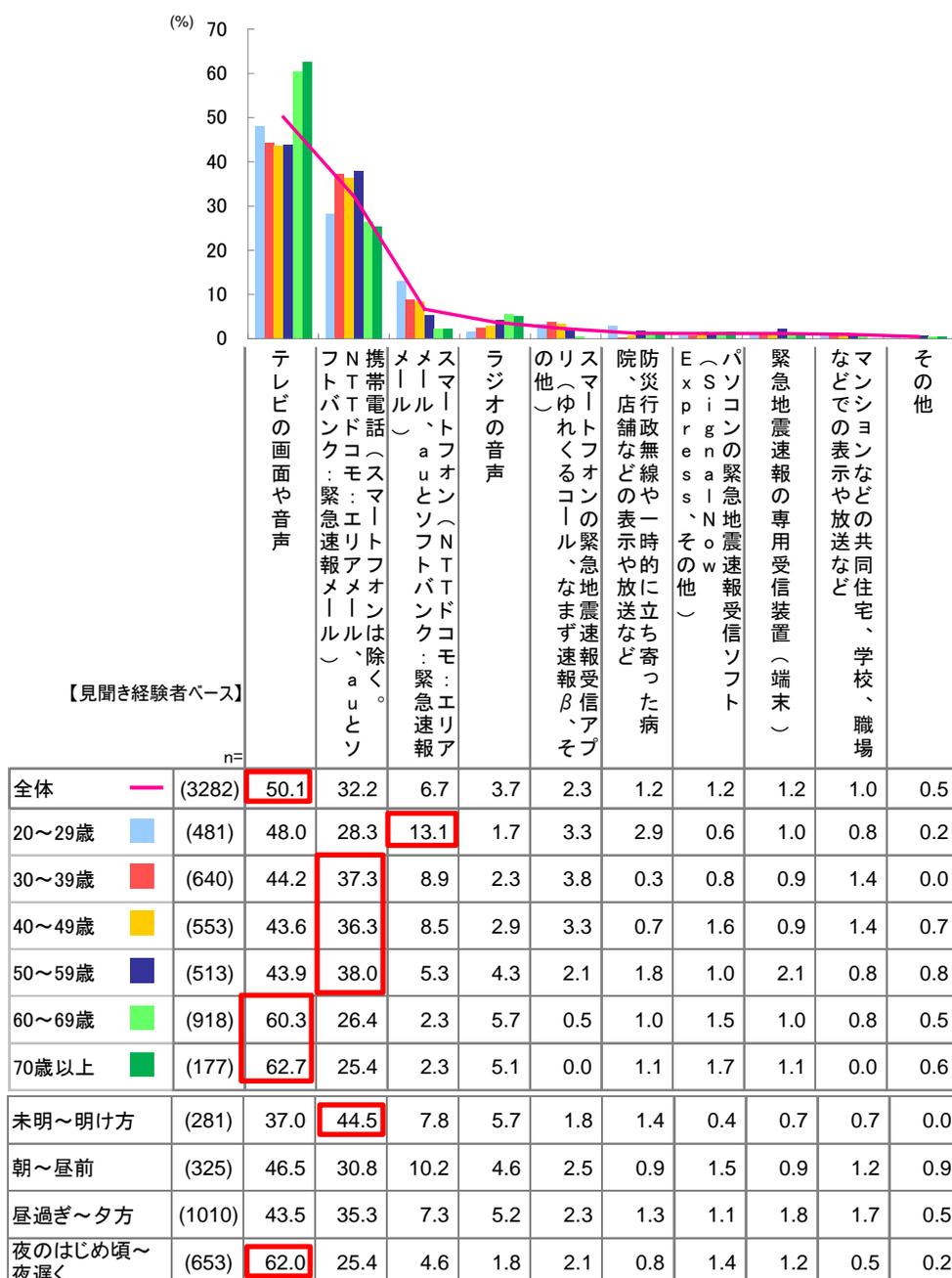


2.速報の入手状況

(1)年代別／時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報の入手手段(方法)について

- ・いずれの年代でも「テレビの画面や音声」で入手したという人の割合が最も高いが、特に60代以上は6割以上と高くなっている。
- ・20代では「スマートフォン」が1割以上、30代～50代では「携帯電話」が3割以上となっており、それぞれ他の年代よりもやや高い傾向がみられる。
- ・時間帯別にみると、未明～明け方の時間帯では「携帯電話」が4割以上、夜のはじめ頃～夜遅くの時間帯では「テレビの画面や音声」が6割以上となっており、それぞれ他の時間帯よりもやや高い傾向がみられる。

①グラフ(%)



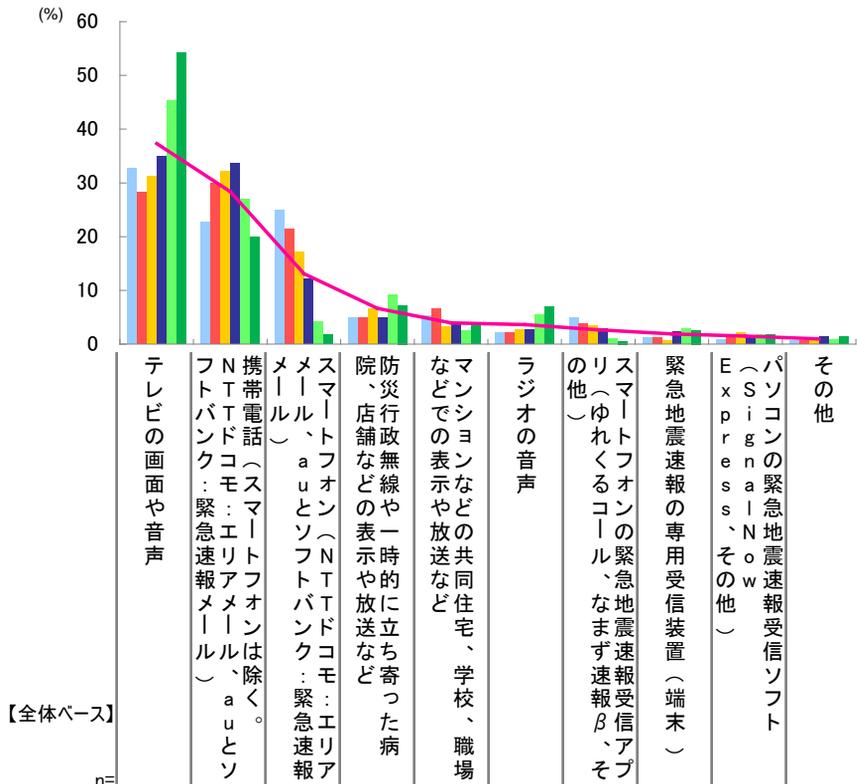
(2)年代別／地域別 今後、緊急地震速報を見聞きしたい方法

・全体でみると、今後、緊急地震速報を見聞きしたい方法としては「テレビの画面や音声」が37.3%で最も高く、次いで「携帯電話」(28.4%)、「スマートフォン」(13.1%)と続いている。

・年代別にみると、20代～30代では「スマートフォン」の割合が他の年代よりも高い傾向がみられる。

・地域別にみると、いずれの地域でも「テレビの画面や音声」がもっとも高く、次いで「携帯電話」が続いている。

①グラフ(%)

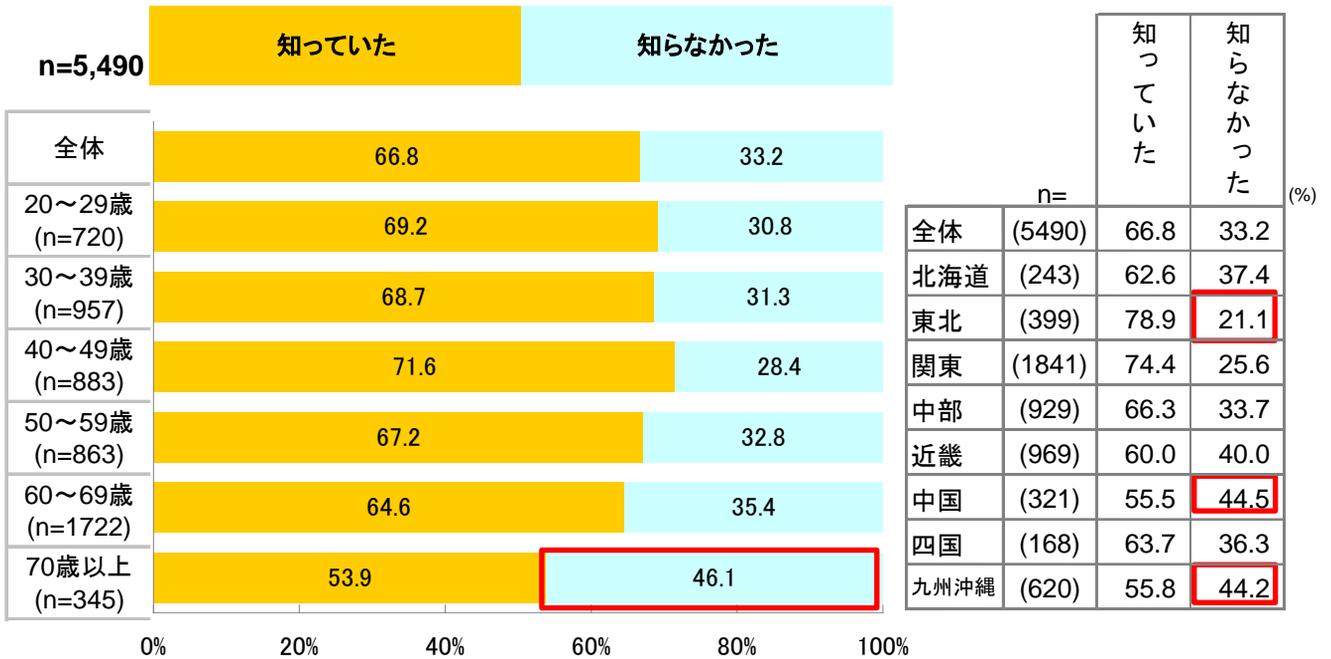


	n	テレビの画面や音声	携帯電話(スマートフォンとソ	スマートフォン(NTTドコモ:エリアメール)	院、店舗などの表示や放送など	防災行政無線や一時的に立ち寄った病	マンションなどの共同住宅、学校、職場	などでの表示や放送など	ラジオの音声	の他)	スマートフォン(ゆれくるコール、なまず速報受信、β、その	緊急地震速報の専用受信装置(端末)	Exprens、その他)	パソコンの緊急地震速報受信ソフト	その他
全体	(5490)	37.3	28.4	13.1	6.6	3.9	3.6	2.7	1.9	1.5	1.0				
20～29歳	(720)	32.8	22.8	24.9	4.9	5.3	2.1	4.9	1.1	0.8	0.6				
30～39歳	(957)	28.2	29.9	21.4	5.0	6.6	2.1	3.8	1.1	1.1	0.7				
40～49歳	(883)	31.1	32.2	17.1	6.6	3.2	2.6	3.5	0.6	2.0	1.1				
50～59歳	(863)	34.9	33.7	12.2	4.9	3.7	2.8	2.9	2.3	1.3	1.4				
60～69歳	(1722)	45.3	26.9	4.2	9.1	2.5	5.4	1.0	3.0	1.7	0.9				
70歳以上	(345)	54.2	20.0	1.7	7.2	3.5	7.0	0.6	2.6	1.7	1.4				
北海道	(243)	45.7	27.2	10.7	3.3	3.3	2.9	1.6	2.9	1.6	0.8				
東北	(399)	35.1	33.6	12.8	4.8	2.0	5.3	3.5	1.0	1.5	0.5				
関東	(1841)	34.6	32.2	15.2	6.1	2.6	3.0	3.6	1.0	1.1	0.8				
中部	(929)	34.3	29.7	11.9	8.5	3.4	4.3	2.5	2.2	2.2	1.0				
近畿	(969)	40.5	23.2	13.7	5.6	6.3	3.3	1.8	2.8	1.7	1.2				
中国	(321)	42.4	22.4	11.5	7.2	5.9	2.8	3.4	2.2	1.2	0.9				
四国	(168)	38.1	30.4	6.0	8.9	3.0	5.4	1.2	4.2	1.2	1.8				
九州・沖縄	(620)	40.3	22.7	11.5	8.9	5.8	4.2	1.6	2.1	1.5	1.5				

(3) 年代別／地域別 緊急地震速報の入手手段としての認知状況(携帯端末)

- ・携帯端末による速報入手認知状況を年代別にみると、70代以上は他の年代よりも認知度が低い傾向がある。
- ・地域別にみると、「知らなかった」の割合は東北では21.1%であるのに対して、中国(44.5%)・九州・沖縄(44.2%)では2倍以上の開きがある。

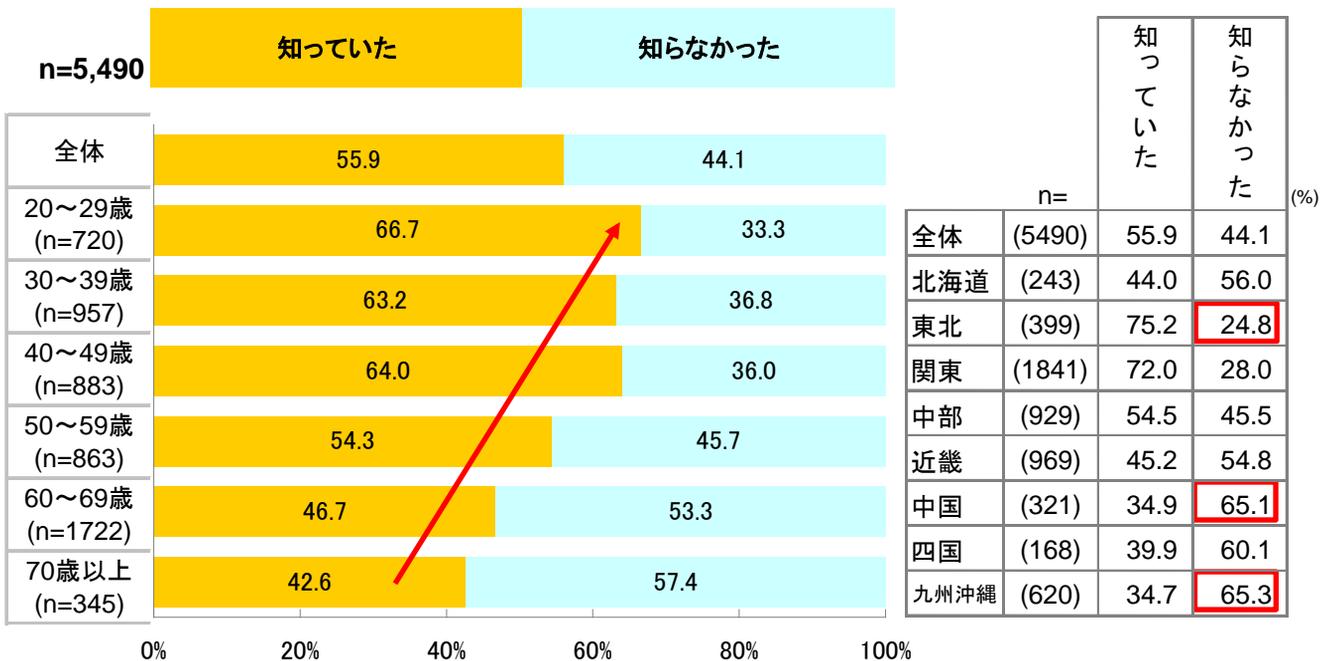
①グラフ・数表(%)



(4) 年代別／地域別 専用報知音の認知状況

- ・専用報知音の認知状況を年代別にみると、若年層において認知度が高い傾向がある。
- ・地域別にみると、携帯の報知音を知らない人の割合は、東北では24.8%であるのに対して、西日本では半数以上の人に認知されていない。特に中国、九州・沖縄では「知らなかった」が65%以上となっており、認知度には地域差がみられる。

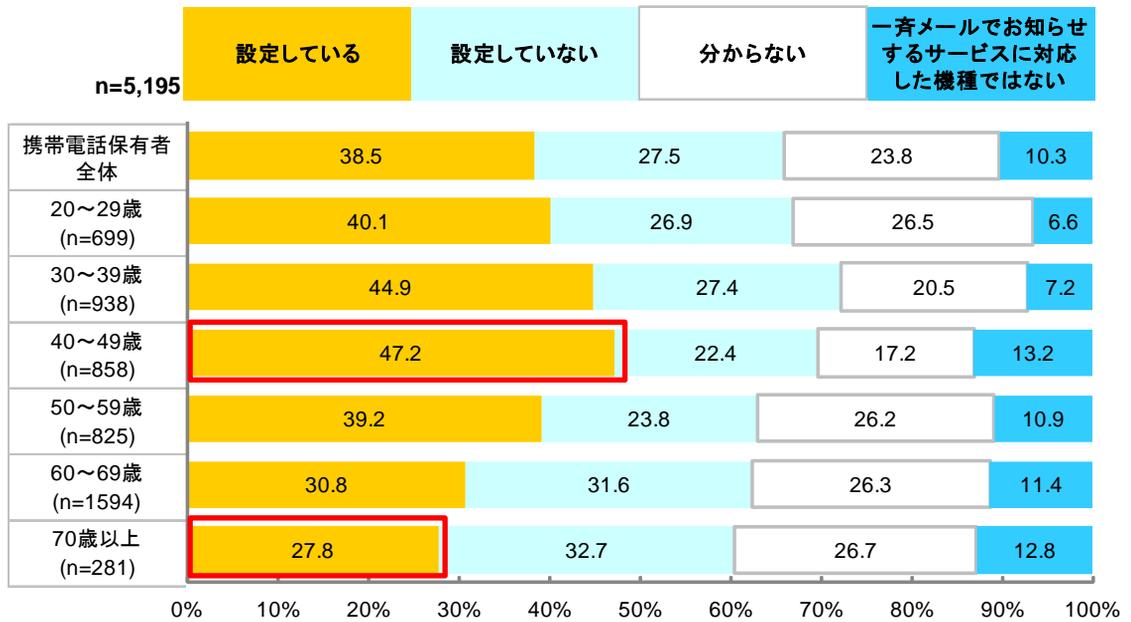
①グラフ・数表(%)



(5)年代別／地域別 所有している携帯電話等の設定状況

- ・何らかの理由で緊急地震速報の入手設定をしていない人は、携帯電話所有者の内約6割。
- ・年代別にみると、40代以下は、携帯電話所有者の内47.2%が設定をしている。
- ・70代以上の携帯電話所有者で設定している人は、27.8%となっており最も低い。
- ・地域別にみると、東北で設定している人は55.1%であるのに対して、九州・沖縄では21.9%、中国では24.3%とそれぞれ2倍の開きがある。

①グラフ(%)



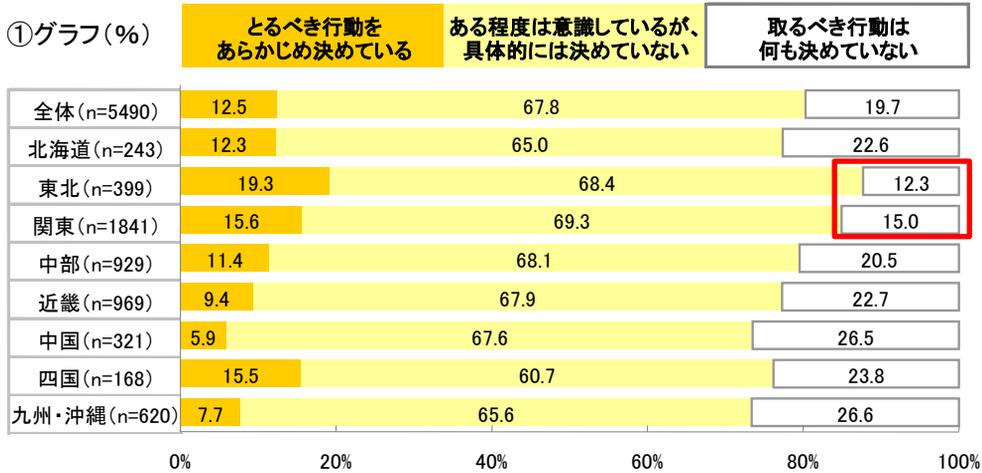
②数表(%)

	n=	設定している	設定していない	分からない	はにら一 な対せ齊 い応すメ したるサ 機種ビお でス知 (%)
全体	(5195)	38.5	27.5	23.8	10.3
北海道	(230)	33.9	28.3	30.0	7.8
東北	(379)	55.1	18.2	14.8	11.9
関東	(1755)	49.6	22.1	17.8	10.4
中部	(876)	39.3	26.0	22.8	11.9
近畿	(911)	27.9	33.9	28.3	9.9
中国	(301)	24.3	31.9	32.9	11.0
四国	(159)	25.8	38.4	27.7	8.2
九州沖縄	(584)	21.9	36.3	33.6	8.2

3.速報を見聞きした際の行動

(1)地域別 見聞きした時にとるべき行動の決定状況

- ・見聞きした時にとるべき行動の決定状況を見ると、約8割の人が何かしら意識をしている。しかし、具体的に決めている人は約1割に留まっている。
- ・地域別にみると、東北・関東では「取るべき行動は何も決めていない」の割合が1割台となっており、他の地域よりも低い傾向がみられる。



(2)地域別 あらかじめ決めているとるべき行動の内容

- ・あらかじめ決めているとるべき行動の内容について複数回答を得たところ、全体では「火を消す」が約6割と最も高い。
- ・地域別に差がみられる項目をみると、「机の下にもぐる」は東北の29.9%が最も低く、九州・沖縄の62.5%が最も高い。
- ・「近くの安全な場所に移動する」と回答した人の割合は、東北の29.9%が最も低く、九州・沖縄の56.3%が最も高くなっている。中国・九州・沖縄は模範的の回答が多く、東北は多様な行動をとっている傾向がみられる。

「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者	「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者	「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者	「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者
北海道 (n=30)	東北 (n=77)	関東 (n=288)	中部 (n=106)
火を消す	63.3	60.4	55.7
ドアなどを開けて逃げ道を確保する	60.0	53.5	53.8
テレビをつけるなど他の情報を得る	53.3	49.4	47.2
近くの安全な場所に移動する	43.3	46.8	50.0
安全な場所なら揺れに備えて身構える	43.3	39.0	46.2
家具や棚などから離れる	40.0	32.5	45.3
机の下などにもぐる	30.0	29.9	46.2
外出着を着る(くつを履く)	30.0	29.9	35.8
周りの人に地震が来ることを知らせる	26.7	29.9	34.9
子どもなど身のまわりの人を守る	23.3	22.6	22.6
外に出る	6.7	14.6	21.7
誰かに知らせるために電話をする	6.7	9.4	15.1
家具や棚などを押さえる	3.3	8.3	4.7
予想された揺れまでカウントダウンをする	3.3	2.1	3.8
その他	3.3	2.1	3.8
何も行動をとらないことにしている	0.0	4.9	0.0

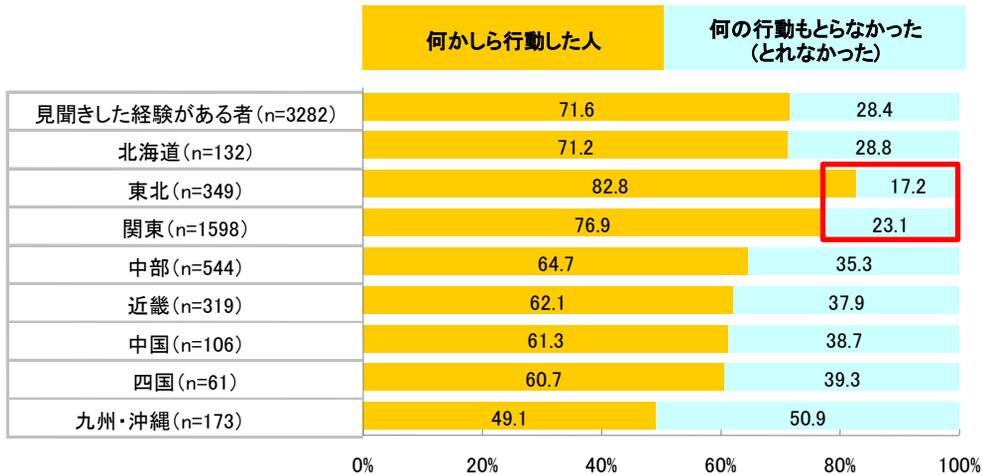
「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者	「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者	「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者	「とるべき行動をあらかじめ決めている」回答者
近畿 (n=91)	中国 (n=19*)	四国 (n=26*)	九州・沖縄 (n=48)
机の下などにもぐる	61.5	61.5	64.6
火を消す	54.9	63.2	62.5
家具や棚などから離れる	53.8	57.9	56.3
ドアなどを開けて逃げ道を確保する	53.8	52.6	54.2
近くの安全な場所に移動する	41.8	47.4	47.9
テレビをつけるなど他の情報を得る	37.4	42.1	45.9
子どもなど身のまわりの人を守る	31.9	31.6	35.4
安全な場所なら揺れに備えて身構える	24.2	26.3	31.3
周りの人に地震が来ることを知らせる	22.0	15.8	29.2
外出着を着る(くつを履く)	19.8	15.8	29.2
外に出る	13.2	10.5	27.1
家具や棚などを押さえる	5.5	5.3	16.7
誰かに知らせるために電話をする	5.5	5.3	10.4
予想された揺れまでカウントダウンをする	3.3	0.0	4.2
その他	5.5	0.0	2.1
何も行動をとらないことにしている	0.0	5.3	2.1

※ n数に*がついている地域は対象者数が30サンプル未満と僅少のため、参考値としてご参照ください。

(3) 地域別 緊急地震速報を見聞きした時の行動率

- ・緊急地震速報を見聞きした時の行動率を地域別にみると、東北・関東では「何の行動もとらなかった（とれなかった）」の割合が約2割となっており、他の地域よりも低い傾向がみられる。
- ・『見聞きした時にとるべき行動の決定状況』『見聞きした時の行動率』は地域による差異があり、特に緊急地震速報の経験回数が多い地域（東北・関東）では、対応率が高くなる傾向がみられる。

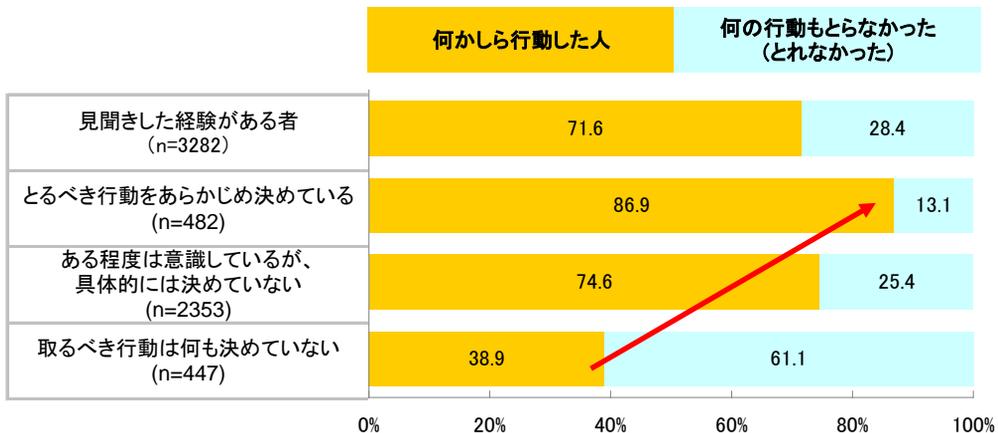
①グラフ(%)



(4) 緊急地震速報を見聞きした時にとるべき行動の決定有無別 見聞きした時の行動率

- ・見聞きした時にとるべき行動を決めていた人ほど、実際に行動をとれている人の割合が多くなる傾向がみられる。

①グラフ(%)



(5) 地域別 緊急地震速報を見聞きした時に起こした行動

- ・緊急地震速報を見聞きした経験者に対して、速報を見聞きした時に起こした行動を確認したところ、全体で最も多いのは「何の行動もとらなかった(とれなかった)」の28.4%。
- ・地域別にみると、特に緊急地震速報の経験回数が多い地域(東北・関東)では、「ドアなどを開けて逃げ道を確保した」「家具や棚などを押さえた」の割合が他の地域よりもやや高い傾向がみられる。

①数表(%)

「見聞きした経験がある」回答者	「見聞きした経験がある」回答者	「見聞きした経験がある」回答者	「見聞きした経験がある」回答者				
北海道(n=132)	東北(n=349)	関東(n=1598)	中部(n=544)				
テレビをつけるなど他の情報を得た	29.5	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	22.9	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	22.2	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	22.2
安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	25.0	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	22.1	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	18.4	テレビをつけるなど他の情報を得た	17.1
周りの人に地震が来ることを知らせた	14.4	テレビをつけるなど他の情報を得た	20.6	テレビをつけるなど他の情報を得た	17.7	周りの人に地震が来ることを知らせた	11.9
ドアなどを開けて逃げ道を確保した	9.8	家具や棚などを押さえた	15.5	周りの人に地震が来ることを知らせた	13.3	家具や棚などから離れた	7.7
火を消した	9.8	火を消した	15.5	火を消した	12.5	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	7.2
家具や棚などから離れた	6.8	周りの人に地震が来ることを知らせた	14.3	家具や棚などを押さえた	9.0	子どもなど身のまわりの人を守った	7.0
子どもなど身のまわりの人を守った	6.8	外に出た	12.6	机の下などにもぐった	9.3	火を消した	6.6
机の下などにもぐった	3.0	近くの安全な場所に移動した	9.5	家具や棚などから離れた	9.1	近くの安全な場所に移動した	6.3
家具や棚などを押さえた	3.0	子どもなど身のまわりの人を守った	8.6	子どもなど身のまわりの人を守った	8.9	机の下などにもぐった	5.9
外に出た	3.0	家具や棚などから離れた	7.4	近くの安全な場所に移動した	6.3	予想された揺れまでカウントダウンをした	4.2
予想された揺れまでカウントダウンをした	3.0	机の下などにもぐった	5.4	外に出た	5.4	外に出た	4.0
外出着を着た(くつを履いた)	2.3	外出着を着た(くつを履いた)	4.9	予想された揺れまでカウントダウンをした	3.9	誰かに知らせるために電話をした	2.0
誰かに知らせるために電話をした	2.3	予想された揺れまでカウントダウンをした	2.3	外出着を着た(くつを履いた)	2.3	家具や棚などを押さえた	1.7
近くの安全な場所に移動した	1.5	誰かに知らせるために電話をした	1.4	誰かに知らせるために電話をした	1.1	外出着を着た(くつを履いた)	1.5
その他	2.3	その他	3.7	その他	1.8	その他	2.6
何の行動もとらなかった(とれなかった)	28.8	何の行動もとらなかった(とれなかった)	17.2	何の行動もとらなかった(とれなかった)	23.1	何の行動もとらなかった(とれなかった)	35.3

「見聞きした経験がある」回答者	「見聞きした経験がある」回答者	「見聞きした経験がある」回答者	「見聞きした経験がある」回答者				
近畿(n=319)	中国(n=106)	四国(n=61)	九州・沖縄(n=173)				
安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	18.8	テレビをつけるなど他の情報を得た	17.9	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	18.0	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	15.0
テレビをつけるなど他の情報を得た	16.6	安全な場所だったため揺れに備えて身構えた	15.1	テレビをつけるなど他の情報を得た	9.8	テレビをつけるなど他の情報を得た	9.2
周りの人に地震が来ることを知らせた	11.0	周りの人に地震が来ることを知らせた	13.2	机の下などにもぐった	8.2	子どもなど身のまわりの人を守った	6.4
火を消した	9.1	子どもなど身のまわりの人を守った	5.7	周りの人に地震が来ることを知らせた	8.2	家具や棚などを押さえた	5.8
家具や棚などから離れた	6.6	火を消した	5.7	家具や棚などから離れた	6.6	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	5.8
子どもなど身のまわりの人を守った	6.3	予想された揺れまでカウントダウンをした	4.7	子どもなど身のまわりの人を守った	6.6	火を消した	5.8
ドアなどを開けて逃げ道を確保した	6.0	机の下などにもぐった	3.8	近くの安全な場所に移動した	4.9	外に出た	4.6
近くの安全な場所に移動した	5.0	家具や棚などから離れた	3.8	予想された揺れまでカウントダウンをした	4.9	家具や棚などから離れた	4.0
机の下などにもぐった	4.7	家具や棚などを押さえた	3.8	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	3.3	周りの人に地震が来ることを知らせた	4.0
予想された揺れまでカウントダウンをした	4.4	誰かに知らせるために電話をした	3.8	火を消した	1.6	予想された揺れまでカウントダウンをした	4.0
外に出た	2.5	近くの安全な場所に移動した	2.8	家具や棚などを押さえた	0.0	誰かに知らせるために電話をした	4.0
家具や棚などを押さえた	2.2	外に出た	2.8	外に出た	0.0	机の下などにもぐった	2.9
外出着を着た(くつを履いた)	1.6	ドアなどを開けて逃げ道を確保した	1.9	外出着を着た(くつを履いた)	0.0	近くの安全な場所に移動した	1.7
誰かに知らせるために電話をした	0.9	外出着を着た(くつを履いた)	0.0	誰かに知らせるために電話をした	0.0	外出着を着た(くつを履いた)	1.2
その他	1.9	その他	1.9	その他	11.5	その他	2.3
何の行動もとらなかった(とれなかった)	37.9	何の行動もとらなかった(とれなかった)	38.7	何の行動もとらなかった(とれなかった)	39.3	何の行動もとらなかった(とれなかった)	50.9

(6)1番目にとった行動別 2番目にとった行動

- ・何かしら行動をとった人に対して行動した順番を確認したところ、半数以上の人々が1つしか行動することができなかつたと回答している。
- ・1番目にとった行動別にみると、1番目に「身の回りの人を守る」行動をとった人では、約3割の人が2番目に「屋内で危険を回避しようとする」行動をとっている。
- ・1番目に「二次災害の抑止」行動をとった人では、約3割の人が2番目に「屋内で危険を回避しようとする」行動をとっている。また、約2割の人が「屋外で危険を回避しようとする」行動をとっている。
- ・1番目に「屋内で危険を回避しようとする」「情報収集」「屋外で危険を回避しようとする」「その他」の行動をとった人では、半数以上の人々が1つしか行動することができなかつたと回答している。

①数表(%)

【何かしら行動をとった人ベース】		避 屋 し 内 よ う 危 険 を 回 避 す る	避 屋 し 外 よ う 危 険 を 回 避 す る	情 報 収 集	身 の 回 り の 人 を 守 る	二 次 災 害 の 抑 止	そ の 他	き な な か し か つ か た 行 動 で
n=								
全体	(2349)	17.6	8.9	7.0	5.3	3.7	2.0	55.6
屋内で危険を回避しようとする	(902)	7.6	6.3	6.7	4.8	1.7	2.0	71.0
身の回りの人を守る	(482)	31.5	12.0	9.5	5.8	6.8	1.9	32.4
情報収集	(304)	19.1	5.3	0.0	5.6	5.6	5.3	59.2
屋外で危険を回避しようとする	(299)	17.7	6.4	8.4	4.0	6.0	0.7	56.9
二次災害の抑止	(230)	33.0	23.5	13.0	7.8	0.0	1.3	21.3
その他	(132)	4.5	3.0	2.3	4.5	2.3	0.0	83.3

※各カテゴリに含まれる詳細項目

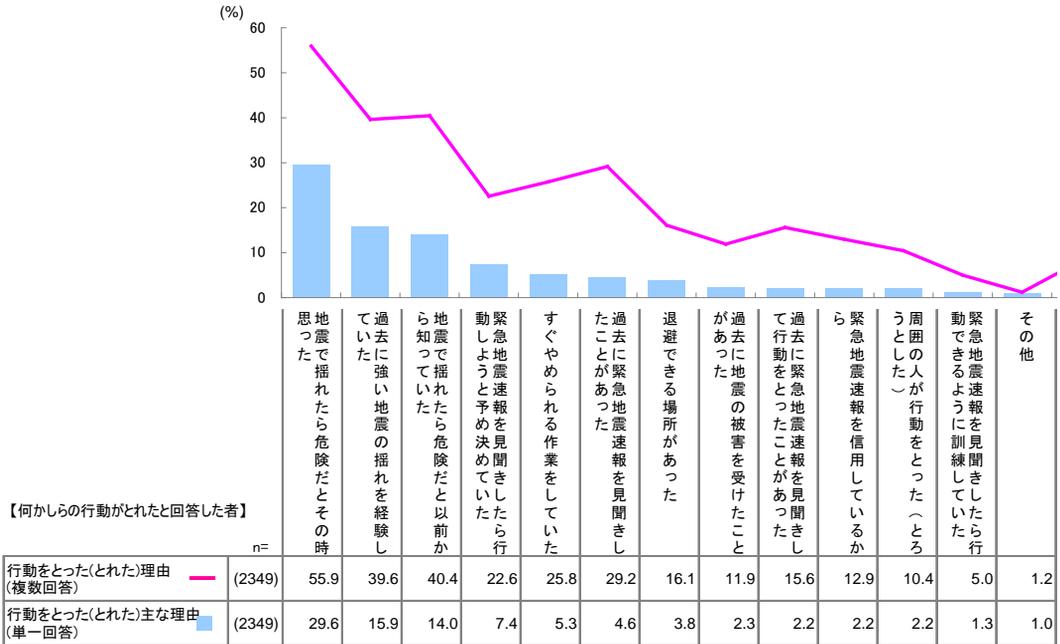
カテゴリ名	詳 細
屋内で危険を回避しようとする	机の下などにもぐった、家具や棚などから離れた、家具や棚などを押さえた、近くの安全な場所へ移動した、安全な場所だったため揺れに備えて身構えた
身の回りの人を守る	周りの人に地震が来ることを知らせた、子どもなど身のまわりの人を守った
屋外で危険を回避しようとする	ドアなどを開けて逃げ道を確保した、外に出た、外出着を着た(くつを履いた)
情報収集	テレビをつけるなど他の情報を得た
二次災害の抑止	火を消した
その他	予想された揺れまでカウントダウンをした、誰かに知らせるために電話をした、その他

(7) 行動をとった理由／とらなかった理由

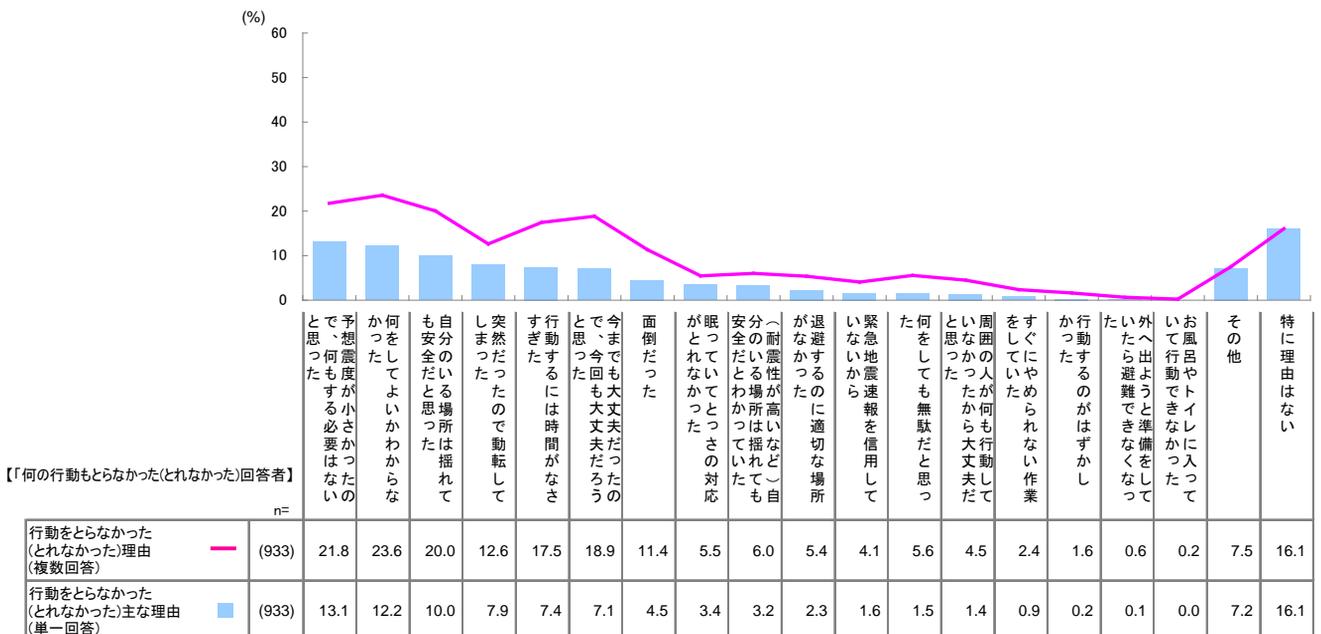
- ・行動をとった主な理由としては、「地震で揺れたら危険だとその時思った」が最も多い。
- ・行動をとらなかった主な理由としては、「予想震度が小さかったので、何もする必要がないと思った」「何をしてもよいかわからなかった」「自分のいる場所は揺れても安全だと思った」がそれぞれ1割以上となっている。

①グラフ(%)

行動をとった理由



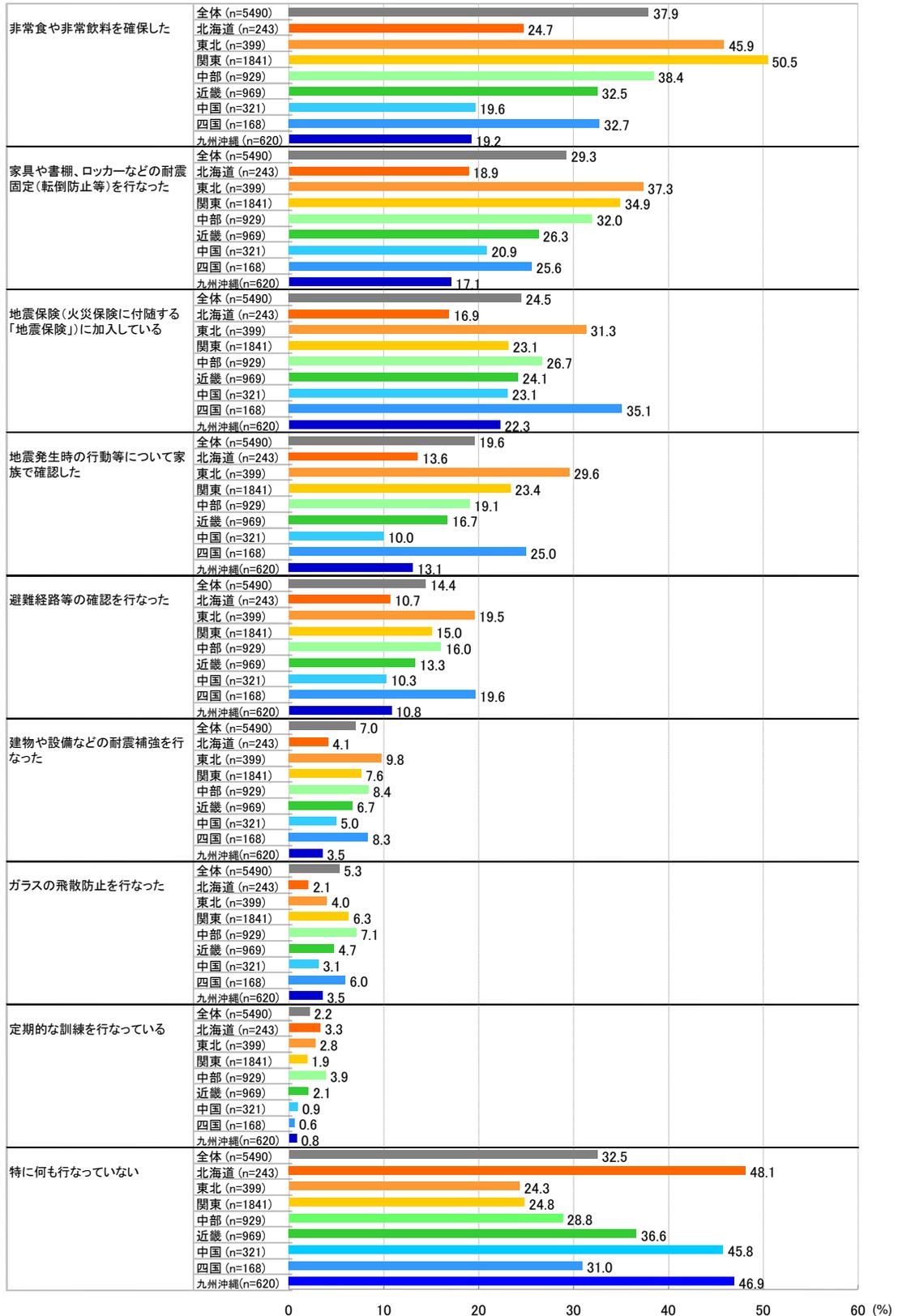
行動をとらなかった理由



(8)地域別 地震への備えの対処状況

- ・地震への備えの対処状況をみると、「非常食や非常飲料を確保した」(37.9%)で最も高い。
- ・地域別にみると、東北では様々な対処をしている割合が高い傾向がみられる。
- ・「地震保険」の加入率では、四国が35.1%で最も高い。(最も加入率が高い県は高知県(45.5%。))
- ・「地震発生時の行動について、家族で確認した」人の割合は、東北で29.6%、四国で25.0%、関東で23.4%。最も低いのは、中国10.0%。

①グラフ(%)



4.速報を活用できた状況

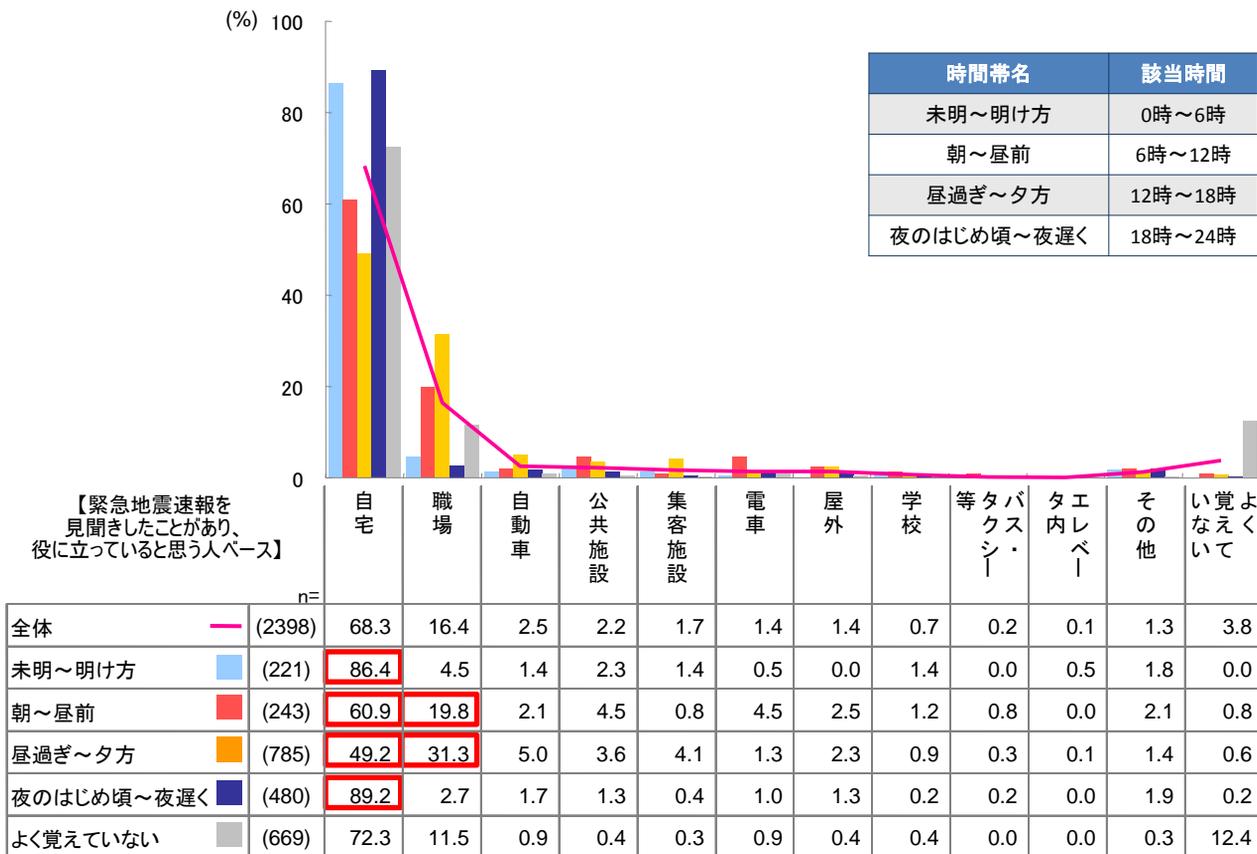
緊急地震速報がどのような状況で活用されているのかを把握するために、以下二つの条件にいずれも該当するサンプルを抽出し、分析した。

- a.緊急地震速報を見聞きした経験がある
- b.緊急地震速報は役に立っている(どちらかといえば役に立っている)と思う

(1)時間帯別 緊急地震速報を見聞きした場所

- ・緊急地震速報が役立ったなど最も印象に残っている時の状況について、時間帯別に見聞きした場所の傾向をみると、いずれの時間帯でも「自宅」が最も高い。
- ・朝～夕方では「自宅」に次いで「職場」の割合も高くなっている。

①グラフ(%)



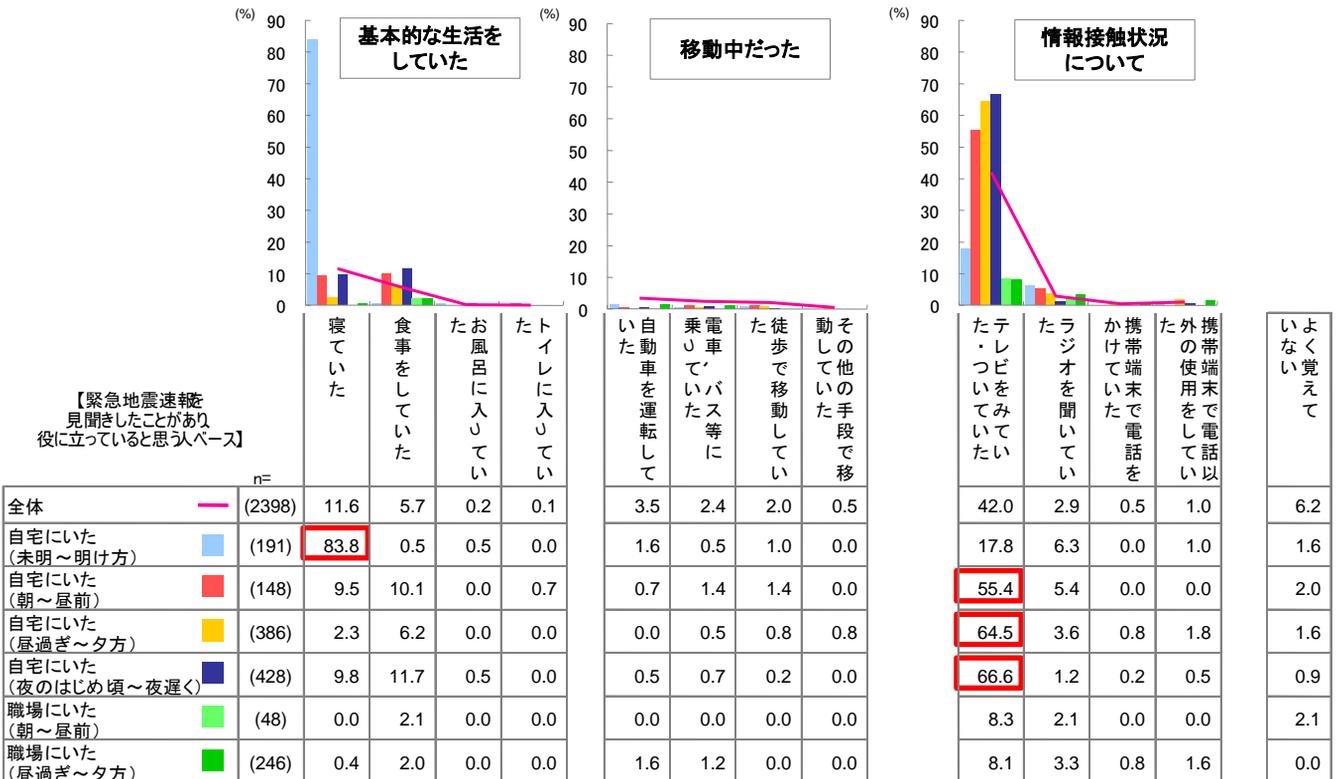
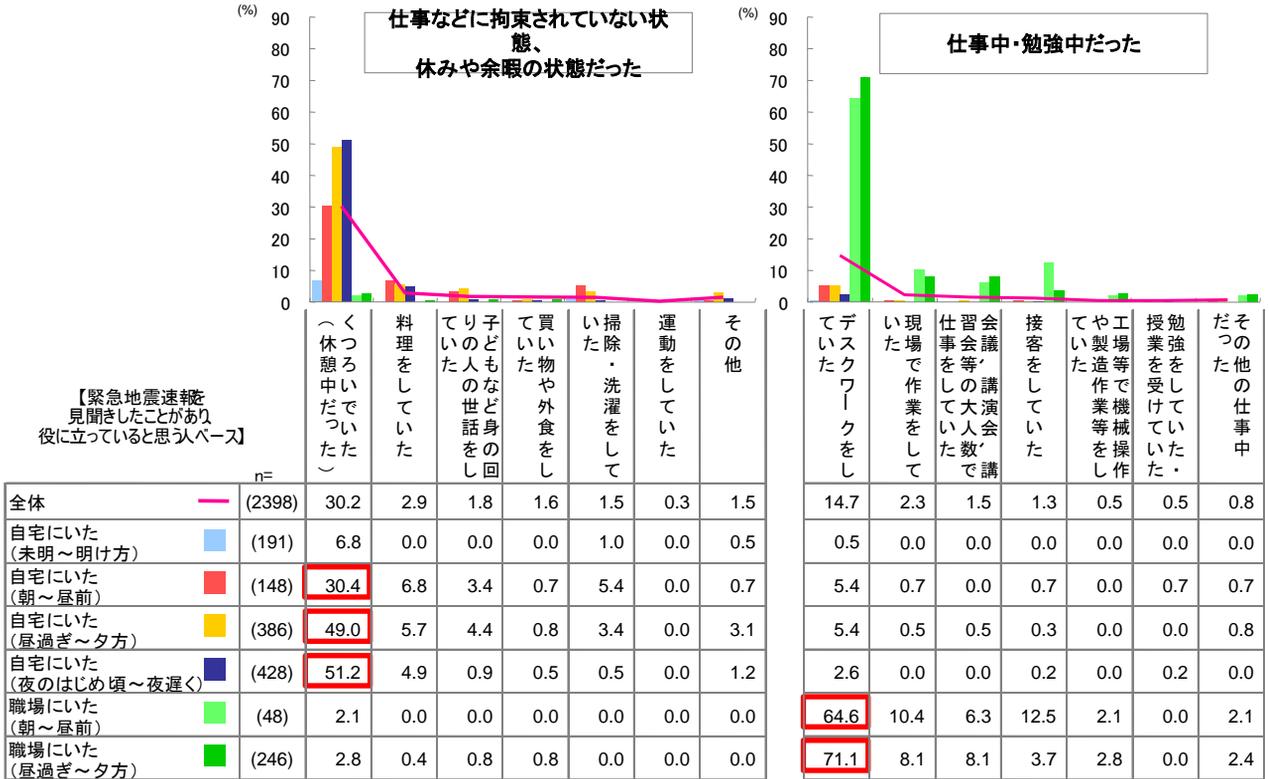
◆それぞれの時間帯の上位8割を構成している以下のグループを【主要6グループ】として、次ページよりこの6グループの主な行動パターンについて詳細に分析する。

- 1.自宅にいた(未明～明け方)
- 2.自宅にいた(朝～昼前)
- 3.自宅にいた(昼過ぎ～夕方)
- 4.自宅にいた(夜のはじめ頃～夜遅く)
- 5.職場にいた(朝～昼前)
- 6.職場にいた(昼過ぎ～夕方)

(2) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時の状況

- ・緊急地震速報を見聞きした時の状況をみると、自宅にいた人のうち未明～明け方の時間帯では8割以上が「寝ていた」と回答している。
- ・自宅にいた人のうち朝～夜遅くの時間帯で最も多いのは「くつろいでいた(休憩中だった)」となっている。
- ・職場にいた人のうち朝～夕方の時間帯で最も多いのは「デスクワークをしていた」となっている。
- ・情報接触状況を見ると、自宅にいた人のうち朝～夜遅くの時間帯は、半数以上が「テレビをみていた・ついていた」と回答している。

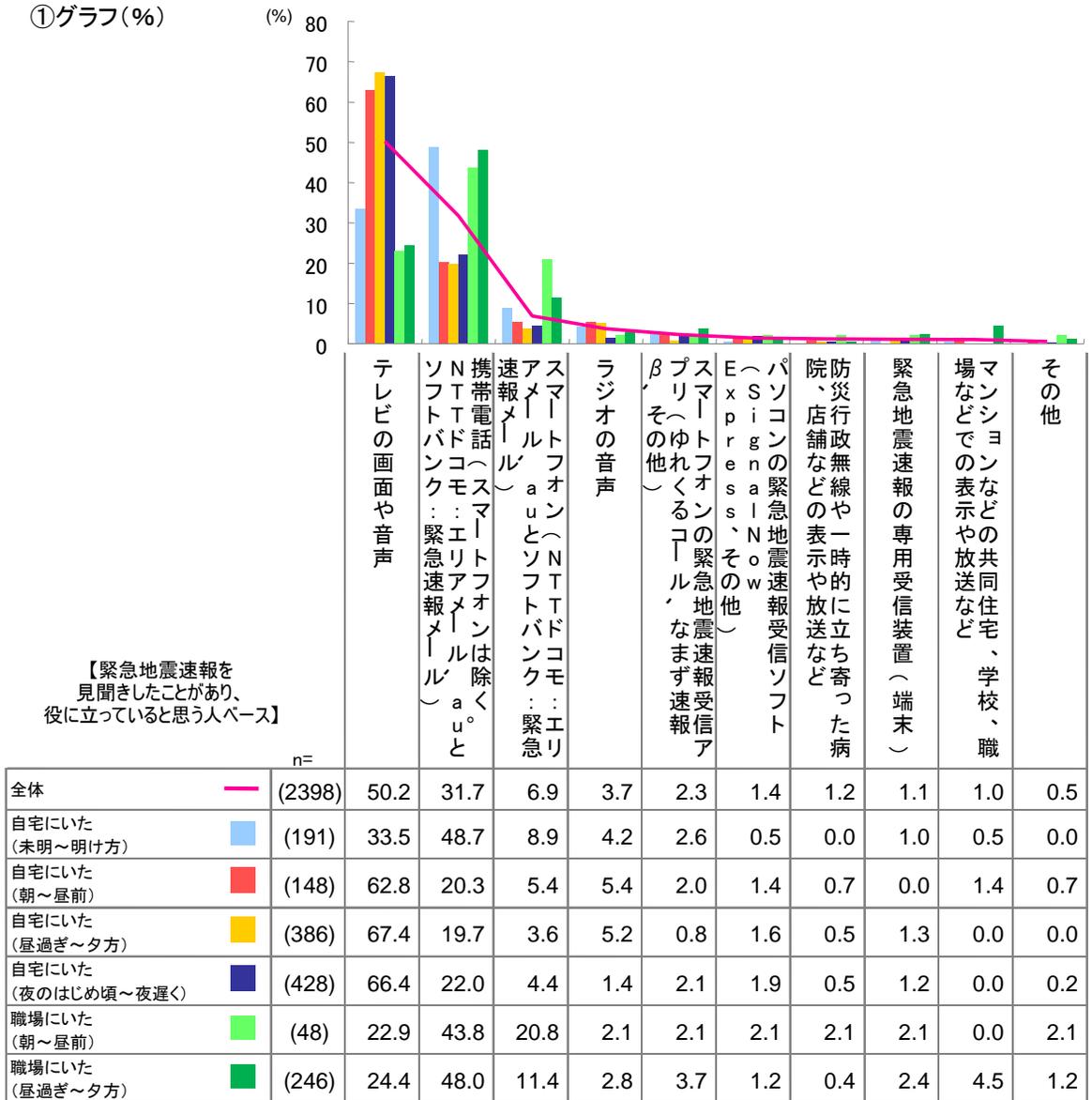
① グラフ (%)



(3) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に得た情報の入手手段(方法)について

- ・入手手段を時間帯・場所別にみると、自宅にいた人のうち未明～明け方の時間帯では約半数が「携帯電話」から入手している。
- ・自宅にいた人のうち朝～夜遅くの時間帯では「テレビの画面や音声」からの入手が6割以上となっている。
- ・職場にいた人のうち朝～夕方の時間帯では約半数が「携帯電話」から入手している。

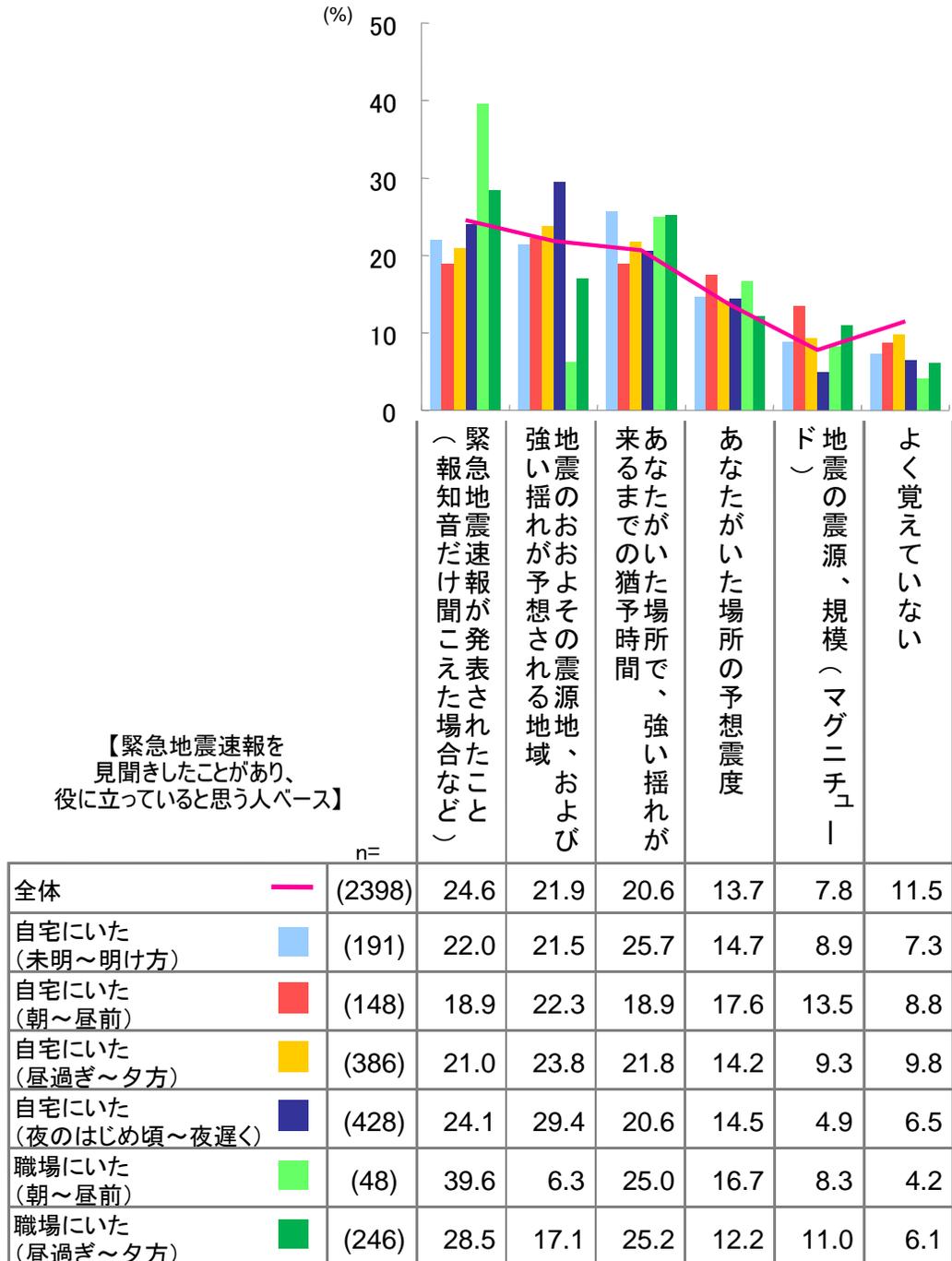
①グラフ(%)



(4) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に入手した情報について

- ・緊急地震速報を見聞きした時に得た情報を時間帯・場所別にみると、自宅にいた人のうち未明～明け方の時間帯では「あなたがいた場所で、強い揺れが来るまでの猶予時間」が約2割半で最も多い。
- ・自宅にいた人のうち朝～夜遅くの時間帯では「地震のおおよその震源地、および強い揺れが予想される地域」がそれぞれ約2割～3割でも最も多い。
- ・職場にいた人のうち朝～夕方の時間帯では「緊急地震速報が発表されたこと」がそれぞれ約3割～4割で最も多い。

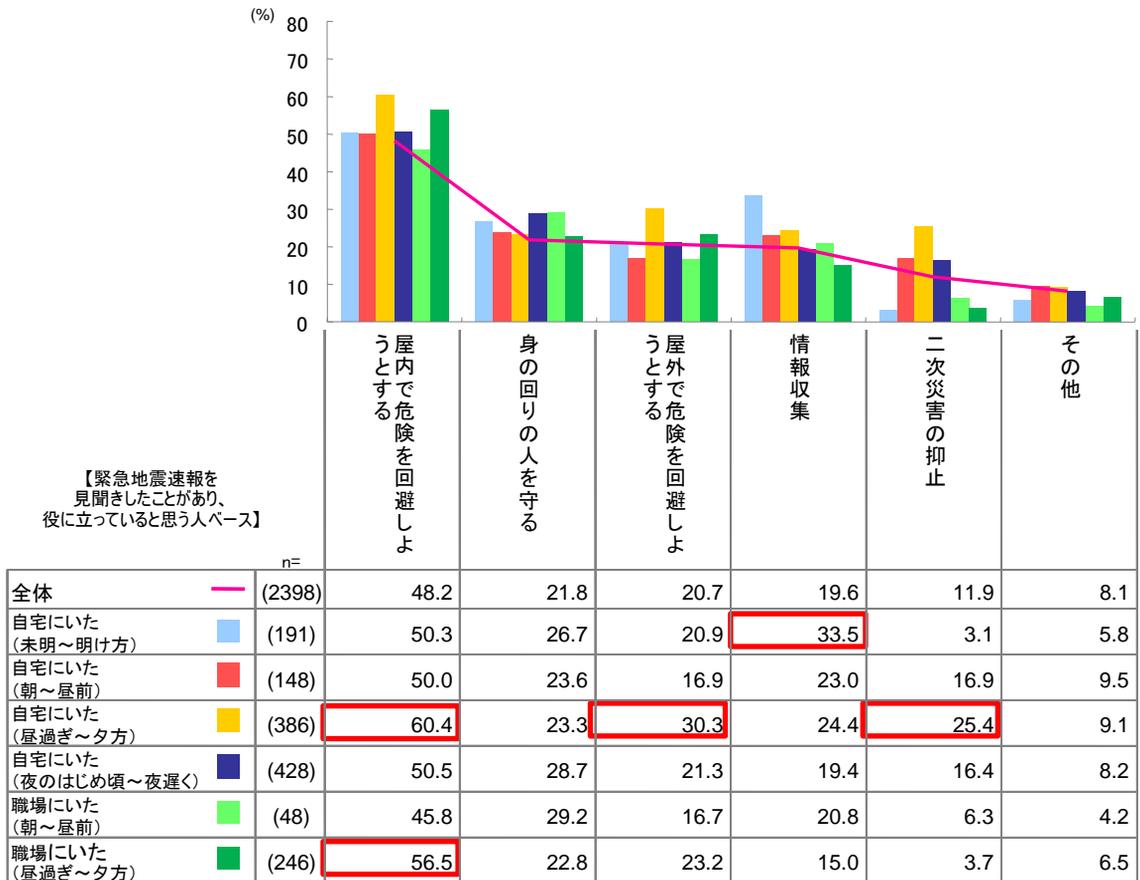
① グラフ(%)



(5) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時にとった行動について

- ・緊急地震速報を見聞きした時にとった行動は、全体では「屋内で危険を回避しようとする」が約半数で最も高い。特に、昼過ぎ～夕方の時間帯に自宅か職場にいた人では高い傾向がみられる。
- ・自宅にいた人のうち未明～明け方の時間帯では「情報収集」が高くなる傾向があり、自宅にいた人のうち昼過ぎ～夕方の時間帯では「屋外で危険を回避しようとする」「二次災害の防止」が他の時間帯よりも高くなる傾向がみられる。

① グラフ(%)



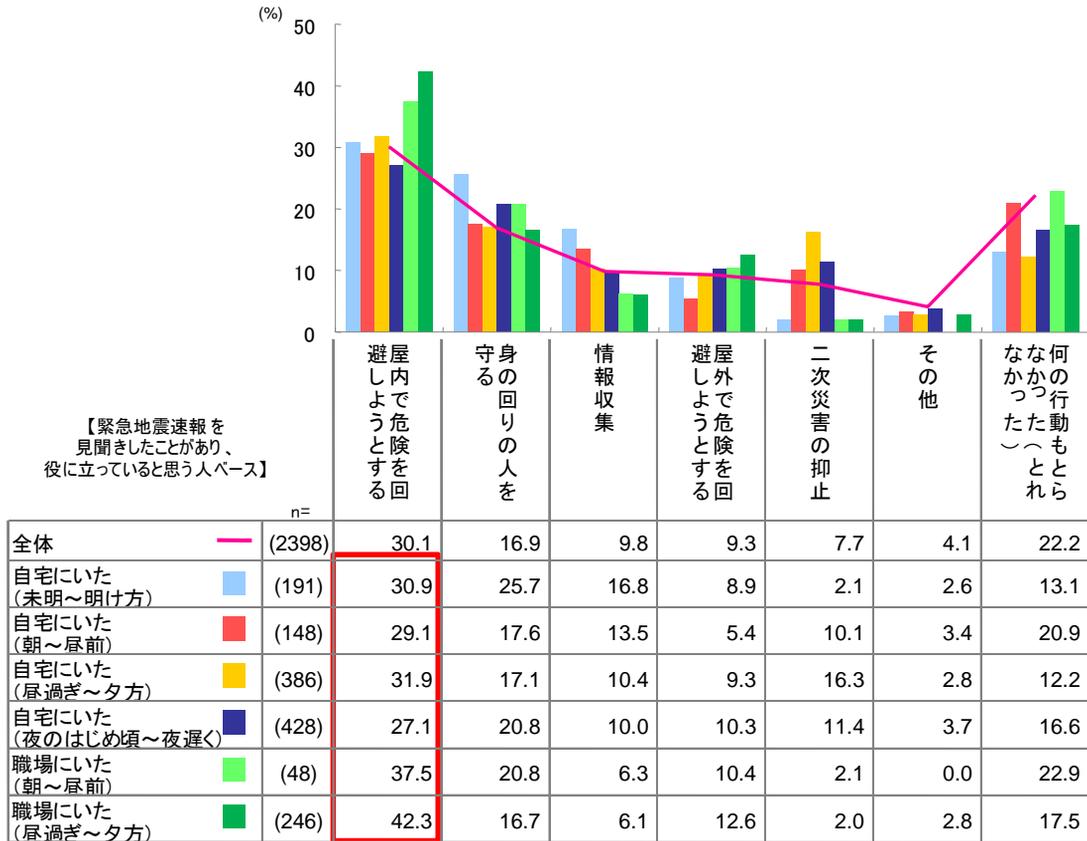
※各カテゴリに含まれる詳細項目

カテゴリ名	詳細
屋内で危険を回避しようとする	机の下などにもぐった、家具や棚などから離れた、家具や棚などを押さえた、近くの安全な場所へ移動した、安全な場所だったため揺れに備えて身構えた
身の回りの人を守る	周りの人に地震が来ることを知らせた、子どもなど身のまわりの人を守った
屋外で危険を回避しようとする	ドアなどを開けて逃げ道を確保した、外に出た、外出着を着た(くつを履いた)
情報収集	テレビをつけるなど他の情報を得た
二次災害の抑止	火を消した
その他	予想された揺れまでカウントダウンをした、誰かに知らせるために電話をした、その他

(6) 時間帯別 緊急地震速報を見聞きした時に1番目に起こした行動

・緊急地震速報を見聞きした時に1番目に起こした行動は、いずれの時間帯でも「屋内で危険を回避しようとする」が最も高い傾向がみられる。特に、職場にいた人では割合が高くなっている。

① グラフ (%)



(7) 時間帯別 1番目に「屋内で危険を回避しようとした」人が2番目にとった行動

・緊急地震速報を見聞きした時の1番目の行動として、いずれの時間帯でも最も割合が高かった「屋内で危険を回避しようとする」について、2番目にとった行動を確認した。いずれの時間帯でも「1つしか行動できなかった」が約6割～7割で最も高くなっている。

① 数表 (%)

【緊急地震速報を見聞きしたことがあり、役に立っていると思う人の内、1番目に「屋内で危険を回避」した人ベース】

	n=	屋内で危険を回避しようとする	身の回りの人を守る	屋外で危険を回避しようとする	情報収集	二次災害の抑止	その他	1つしか行動できなかった
自宅にいた(未明～明け方)	(59)	3.4	3.4	3.4	13.6	1.7	1.7	72.9
自宅にいた(朝～昼前)	(43)	20.9	7.0	2.3	2.3	2.3	2.3	62.8
自宅にいた(昼過ぎ～夕方)	(123)	11.4	1.6	9.8	8.1	3.3	2.4	63.4
自宅にいた(夜のはじめ頃～夜遅く)	(116)	7.8	7.8	2.6	8.6	4.3	1.7	67.2
職場にいた(朝～昼前)	(18*)	11.1	11.1	0.0	11.1	5.6	0.0	61.1
職場にいた(昼過ぎ～夕方)	(104)	7.7	5.8	10.6	5.8	0.0	1.0	69.2

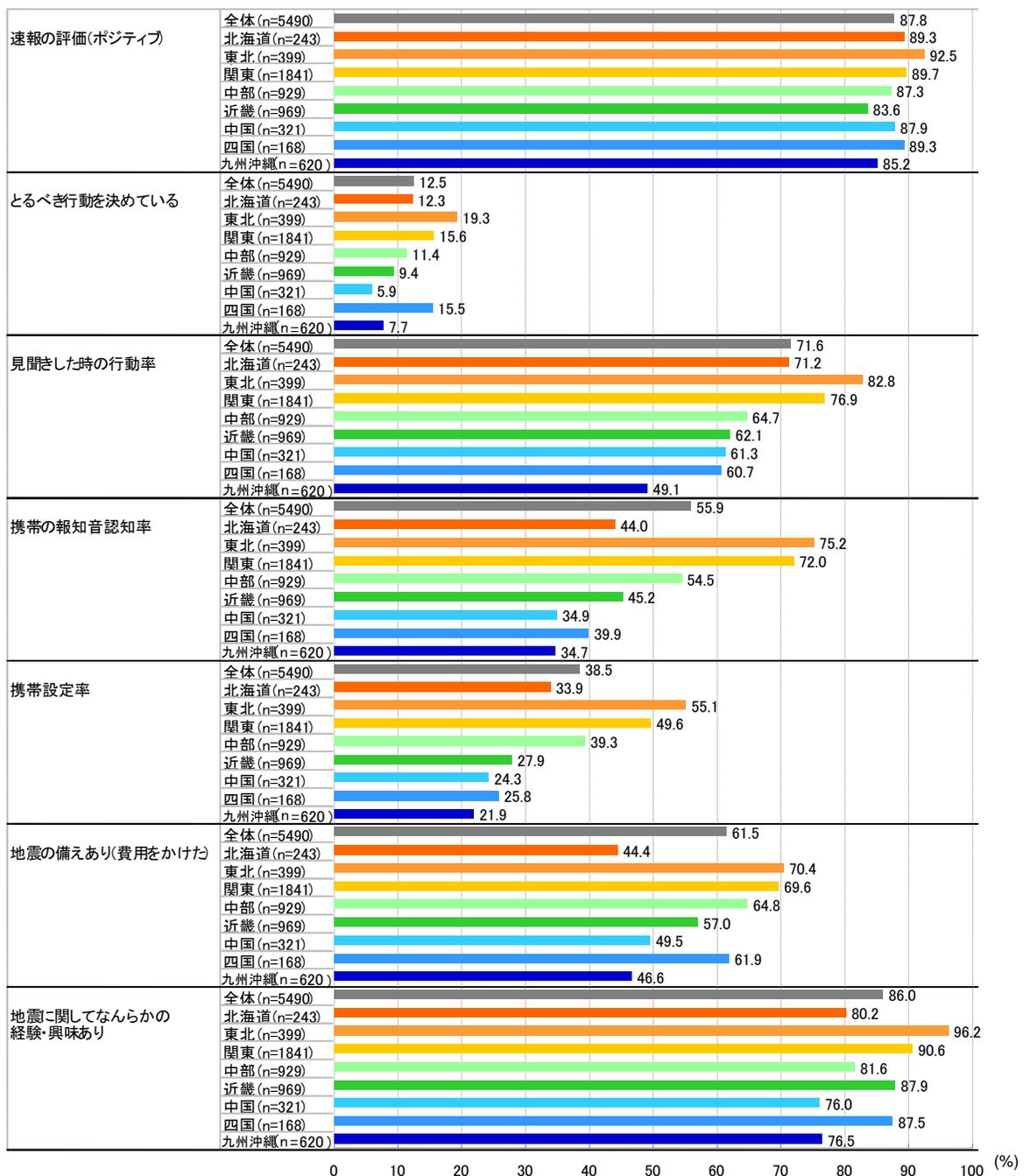
※ n数に*がついている時間帯は対象者数が30サンプル未満と僅少のため、参考値としてご参照ください。

5.その他

(1)地域別傾向

- ・『速報のポジティブ評価』『とるべき行動を決めている割合』『見聞きした時の行動率』『携帯の報知音の認知率』『携帯設定率』『費用をかけて地震対策を行ったか』『地震に対してなんらかの興味・経験がある人の割合』等は地域による差異があり、特に緊急地震速報の経験回数が多い地域（東北・関東）では、地震や緊急地震速報に対する感度が高い傾向がみられる。西日本に比べると東日本の感度が高いため、東日本大震災の経験・影響は地域差の要因のひとつと考えられる。
- ・『平均認知項目数』でも同様の傾向があり、緊急地震速報の経験回数が多い地域ほど平均認知項目数が多くなる傾向がある。（P.3グラフ参照）
- ・『予測震度の誤差の許容範囲』においては、緊急地震速報の経験回数が多い地域ほど許容度が低くなる傾向がみられる。（P.6グラフ参照）

①グラフ(%)

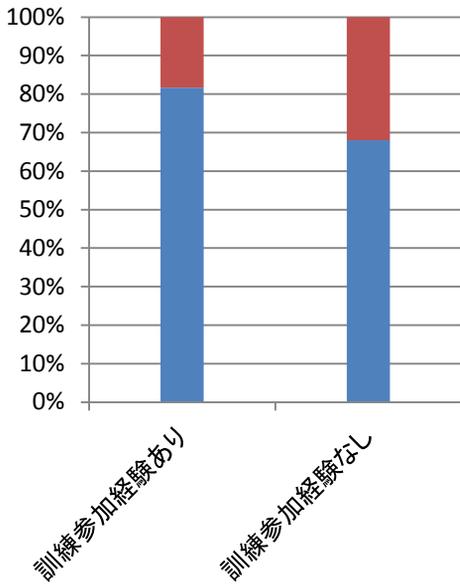


【参考①】行動分析に関するグラフ(1)

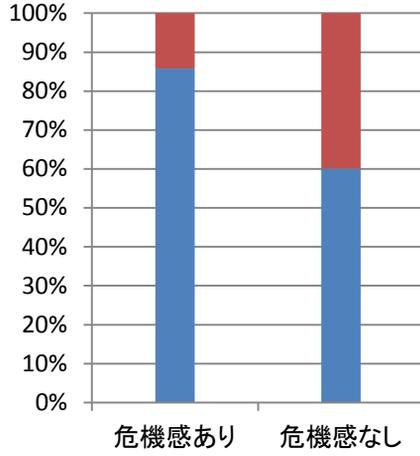
1) 速報を見聞きした際のとった行動

■ 行動なし ■ 行動あり

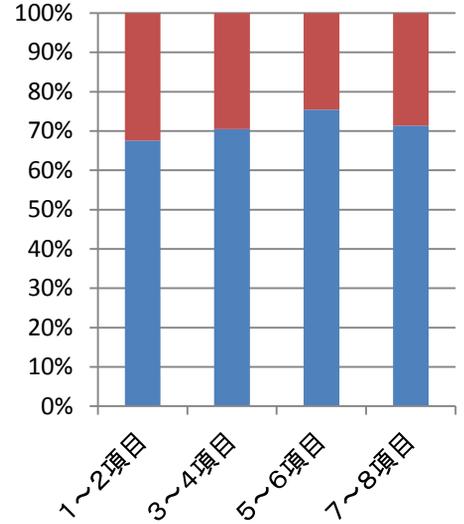
訓練参加経験の有無別



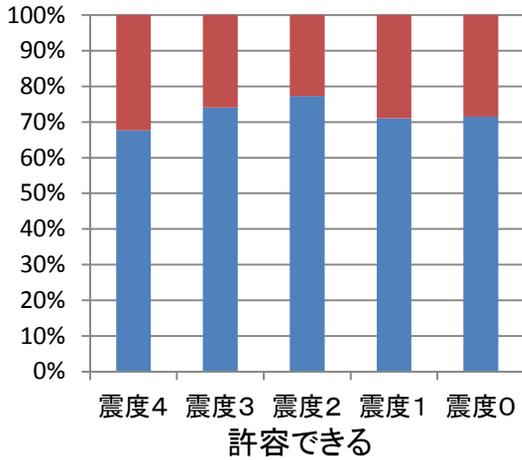
危機感の有無別



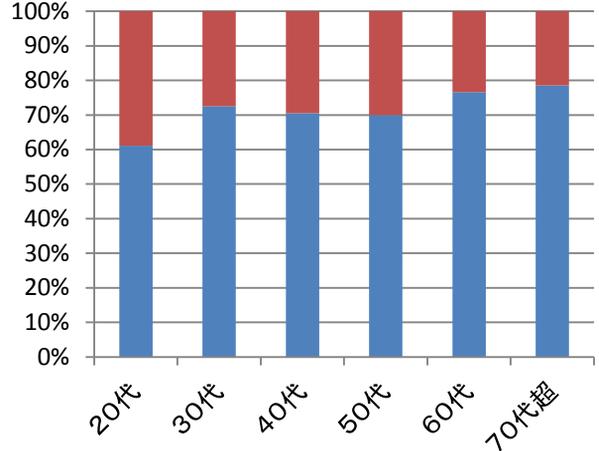
認知項目数別 (理解度)



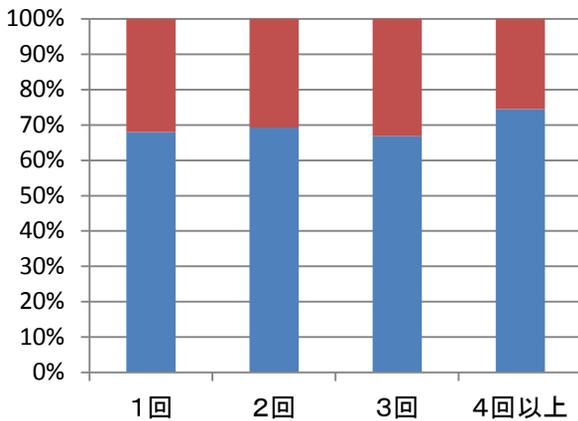
許容度別



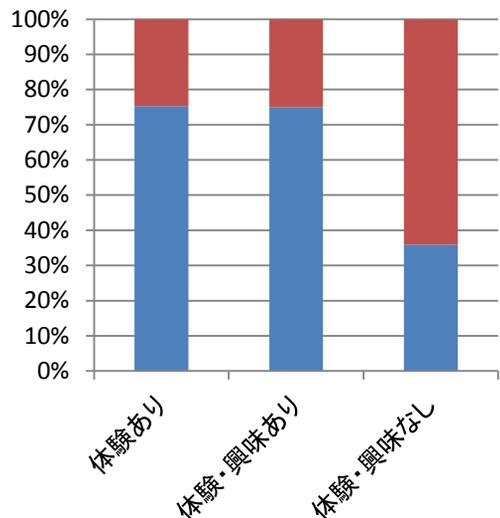
年代別



速報の経験回数別



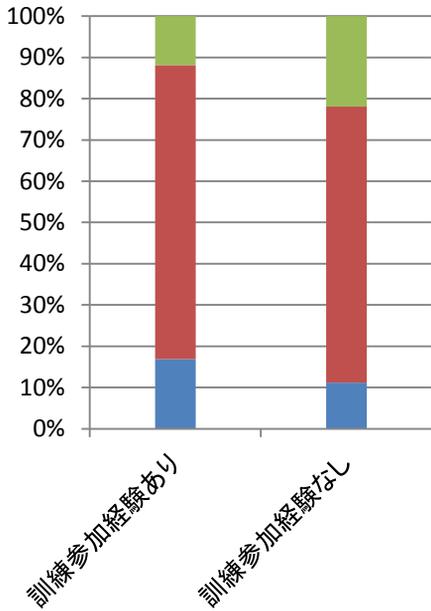
地震体験、興味の有無別



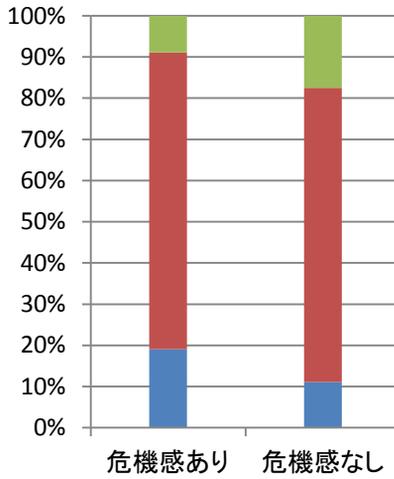
2) あらかじめ行動を決めているか？

■ 決めていない ■ 意識している ■ 決めている

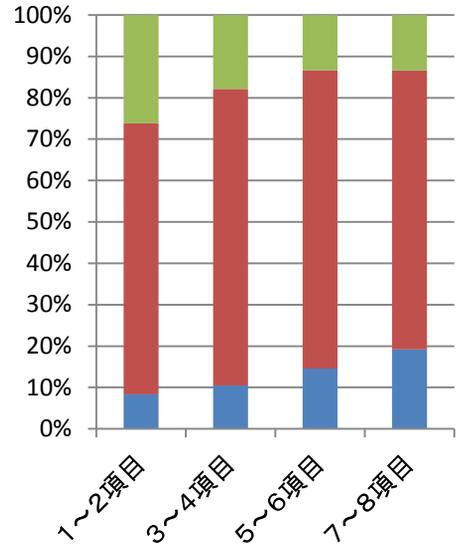
訓練参加経験の有無別



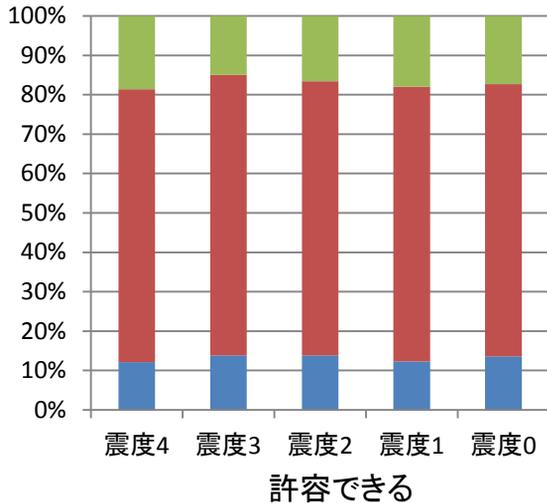
危機感の有無別



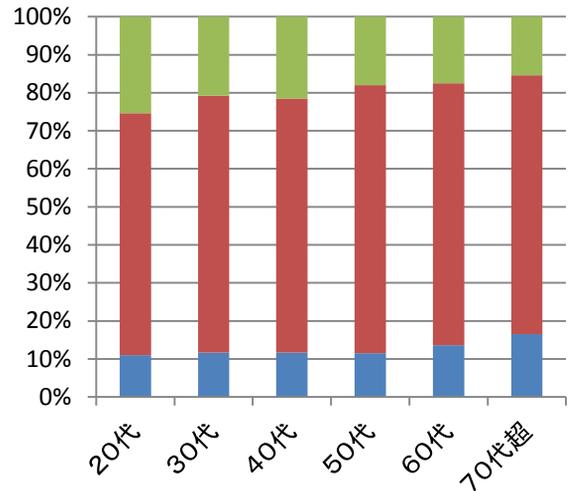
認知項目数別 (理解度)



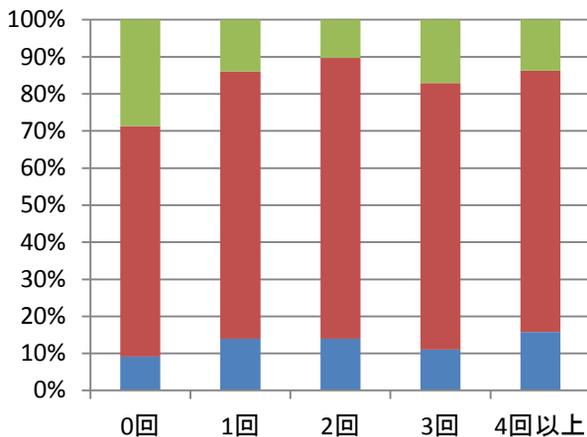
許容度別



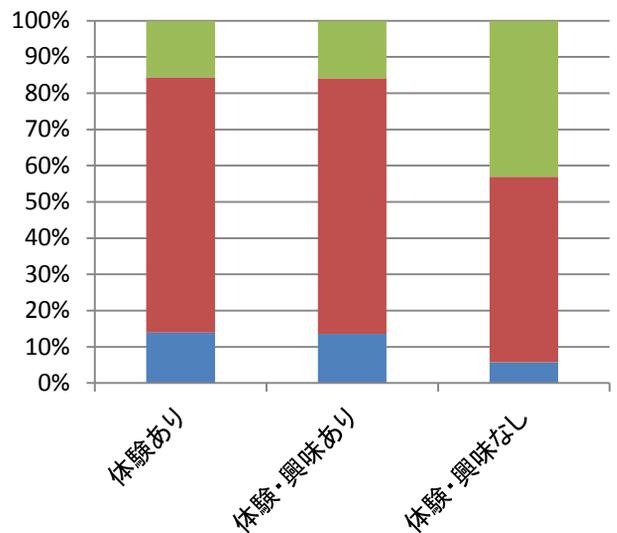
年代別



速報の経験回数別



地震体験、興味の有無別

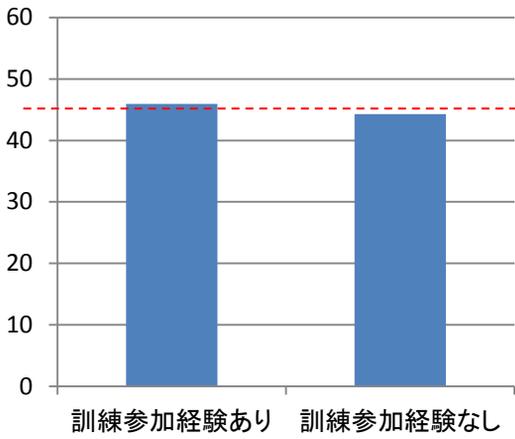


【参考②】各要素の依存関係(1)

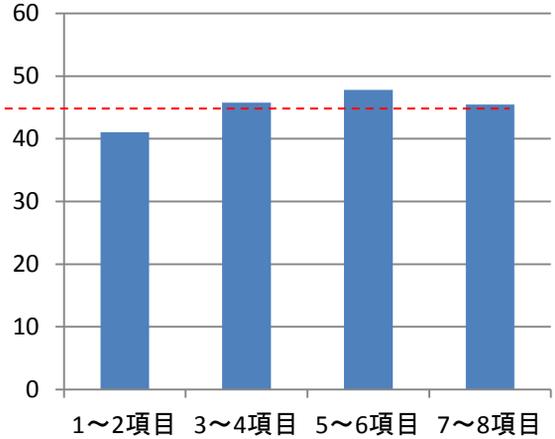
1)「危機感」との依存関係

■ 危機感あり

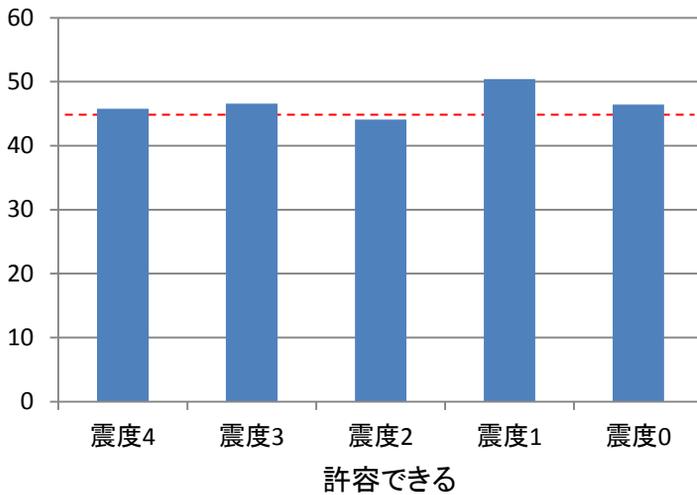
訓練参加経験の有無別



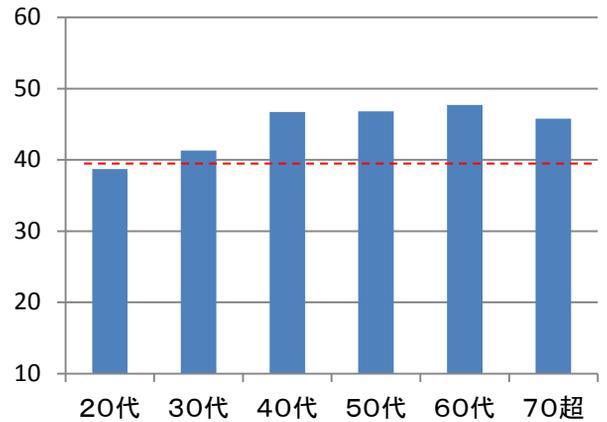
認知項目数別(理解度)



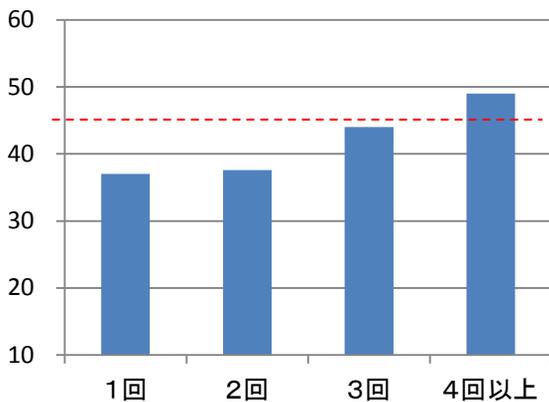
許容度別



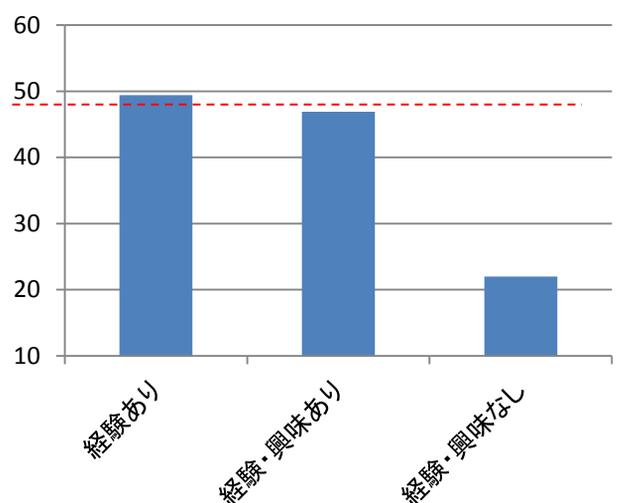
年代別



速報の経験回数別



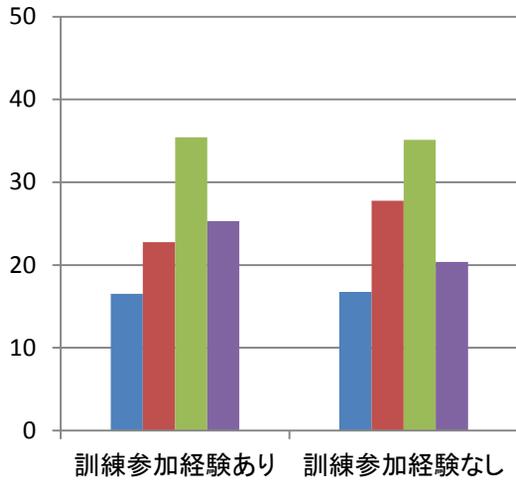
地震体験、興味の有無別



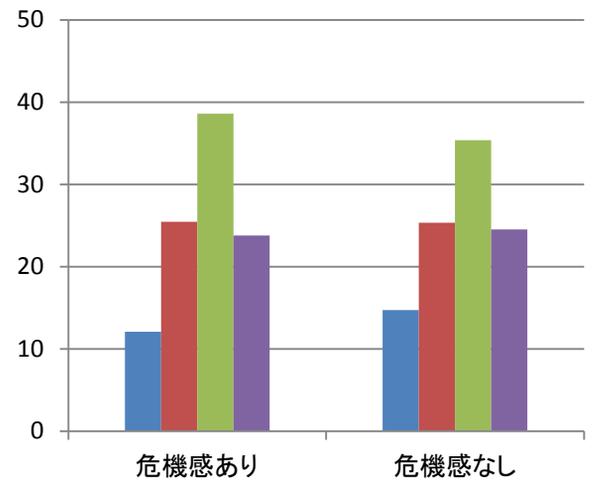
2)「理解度」との依存関係

■ 1～2項目 ■ 3～4項目 ■ 5～6項目 ■ 7～8項目

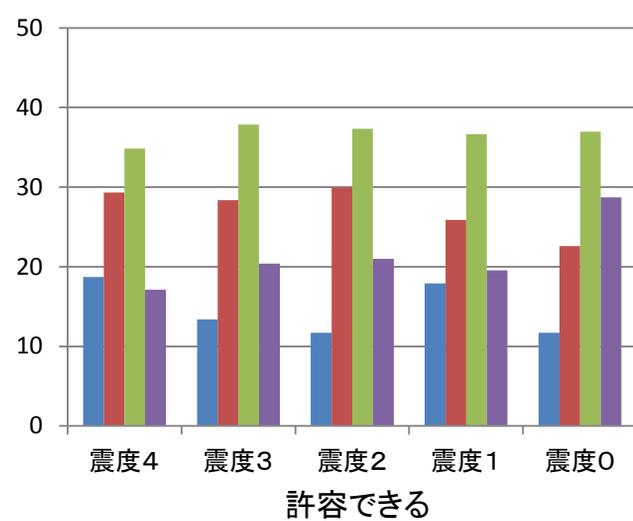
訓練参加経験の有無別



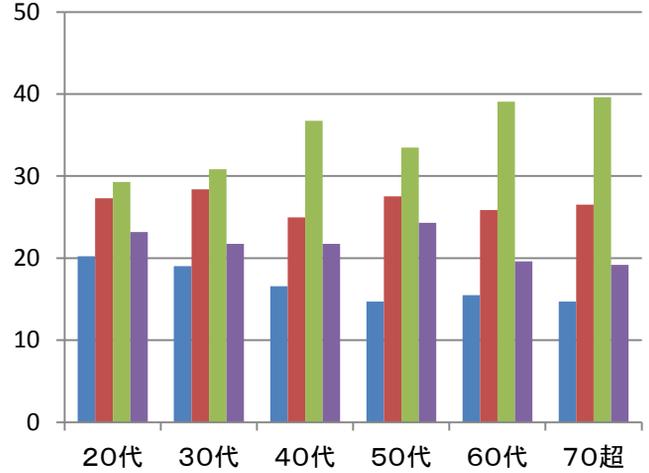
危機感の有無別



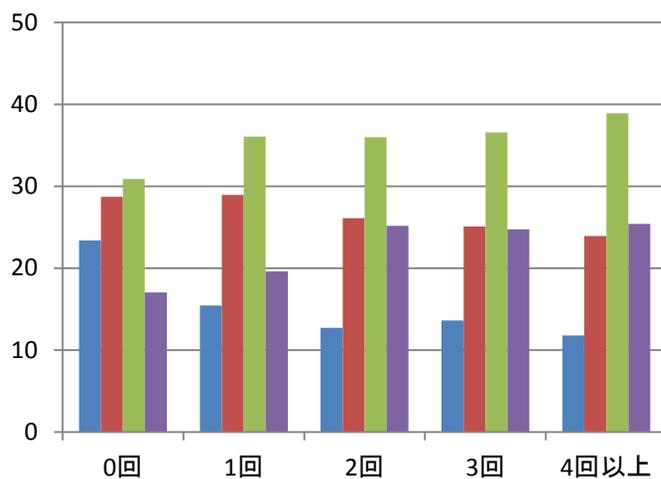
許容度別



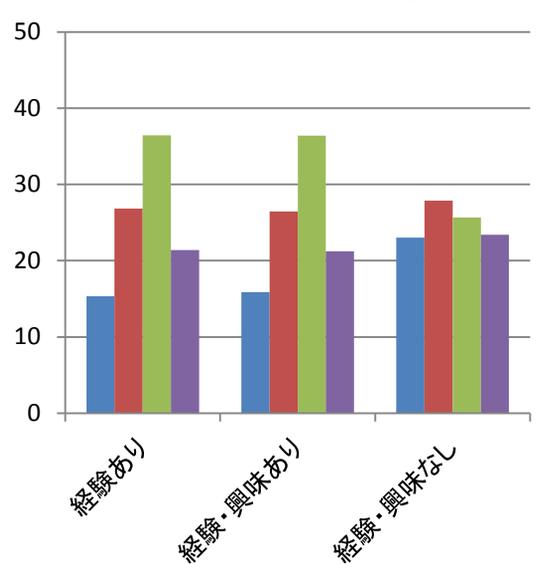
年代別



速報の経験回数別



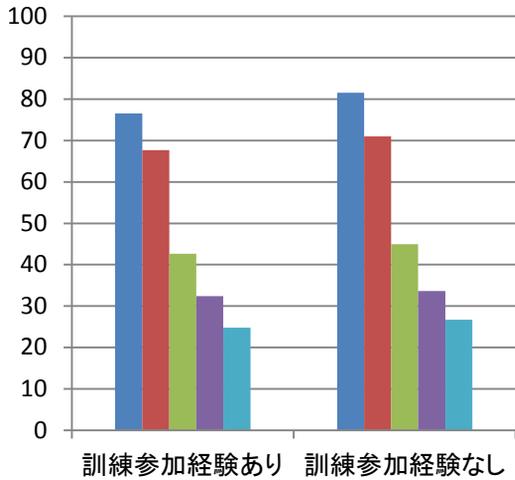
地震体験、興味の有無別



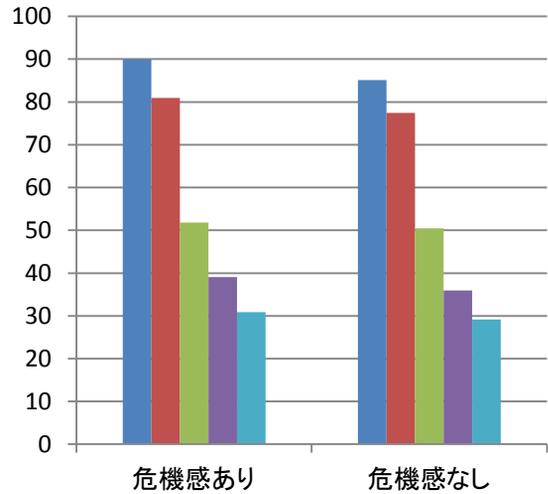
3)「許容度」との依存関係

■震度4 ■震度3 ■震度2 ■震度1 ■震度0

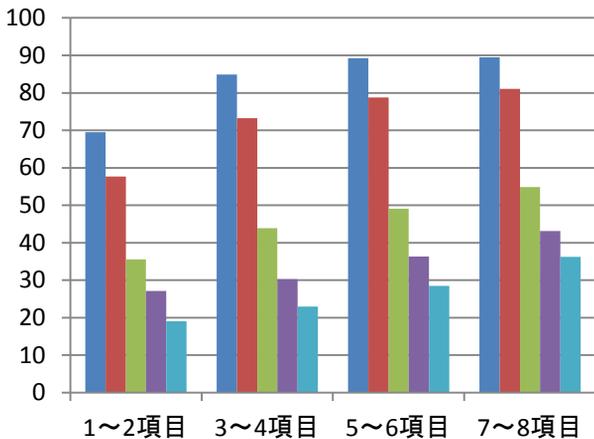
訓練参加経験の有無別



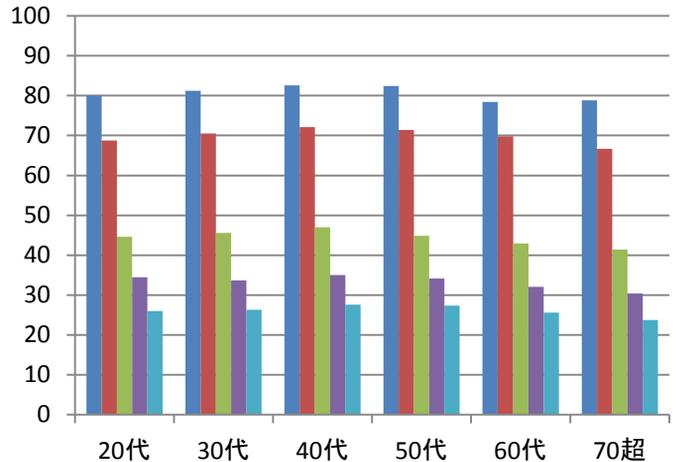
危機感の有無別



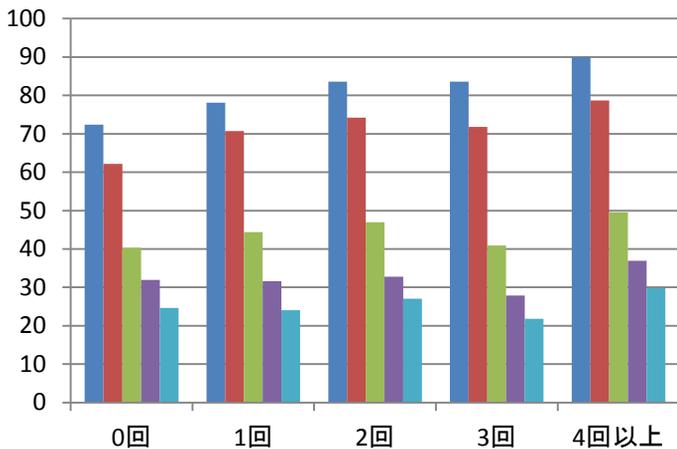
認知項目数別(理解度)



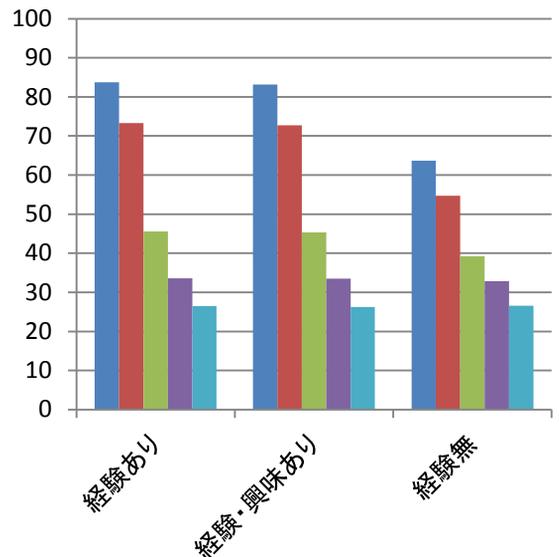
年代別



速報の経験回数別



地震体験、興味の有無別



【参考②】各要素の依存関係(4)

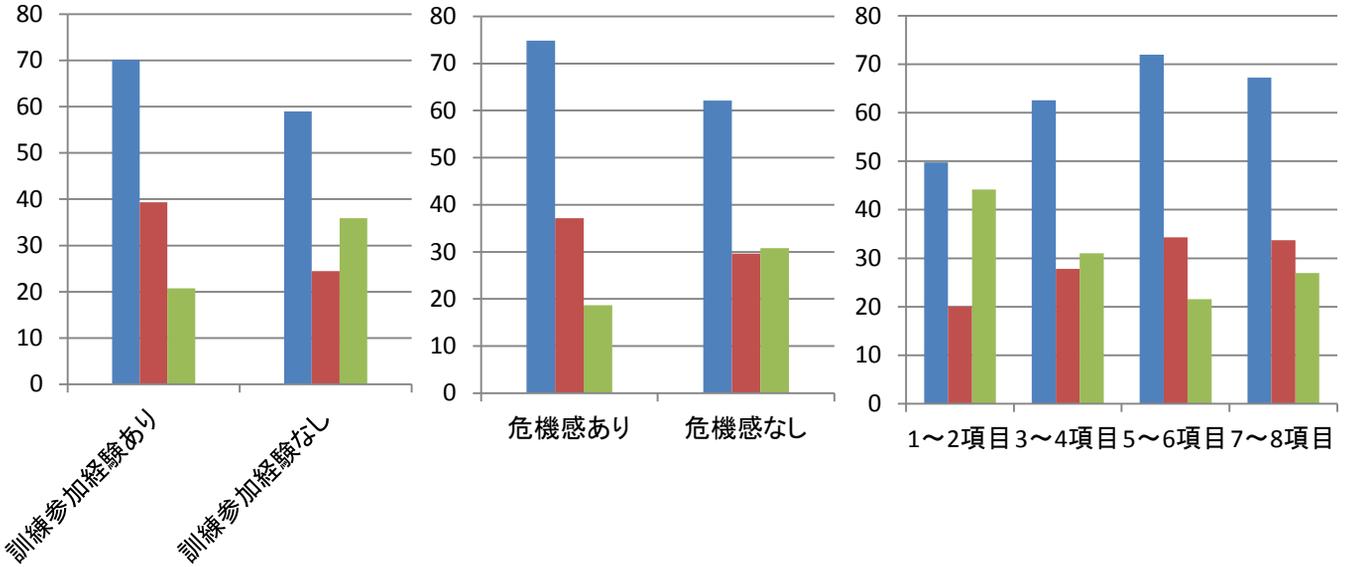
4)「地震への備え」との依存関係

■ 経費をかけて備えた ■ 経費をかけず備えた ■ 備えはしていない

訓練参加経験の有無別

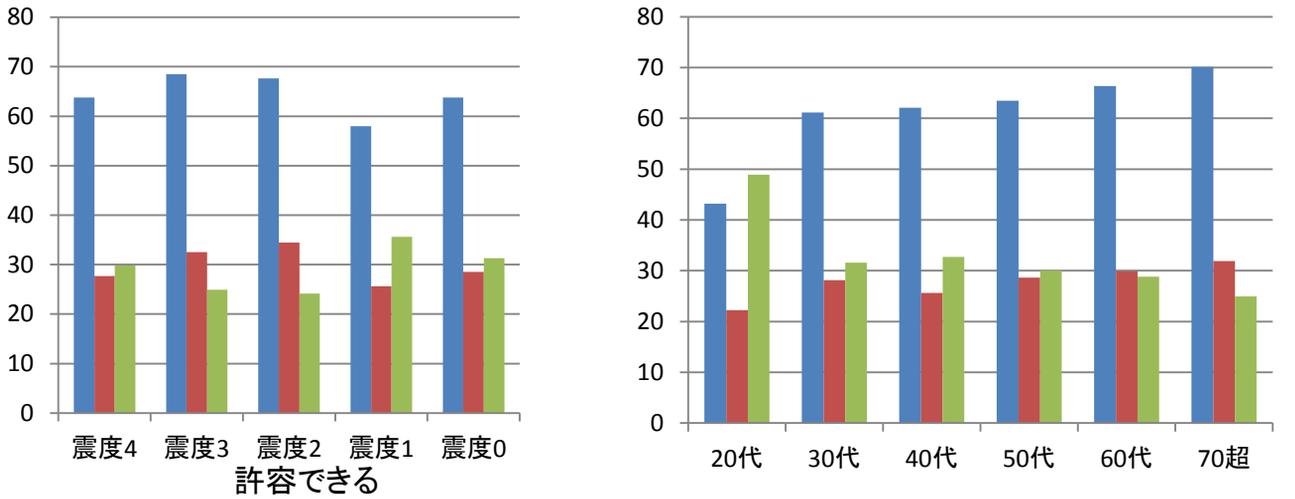
危機感の有無別

認知項目数別 (理解度)



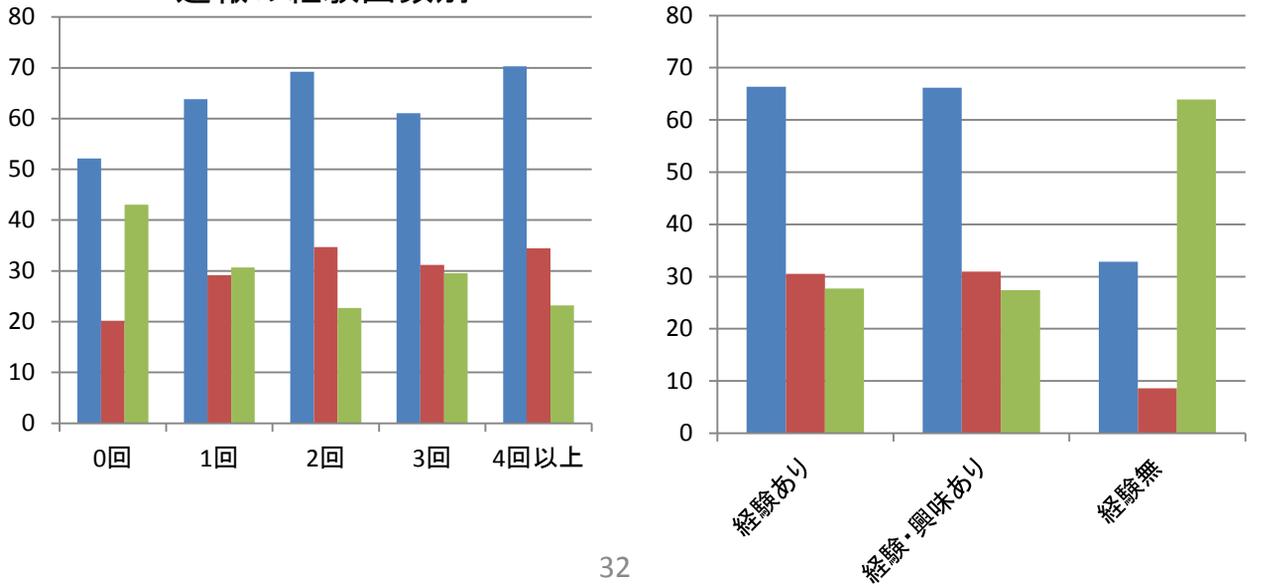
許容度別

年代別



速報の経験回数別

地震体験、興味の有無別

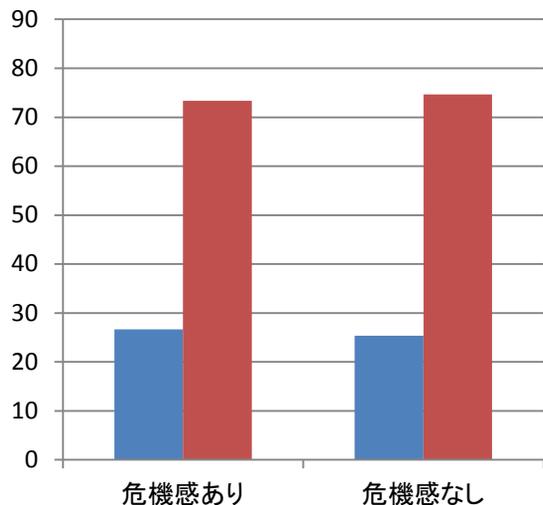


【参考②】各要素の依存関係(5)

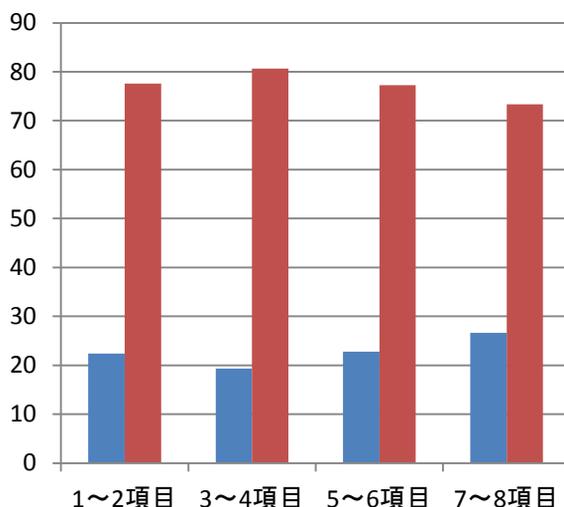
5)「訓練の参加の有無」との依存関係

■ 訓練参加経験あり ■ 訓練参加経験なし

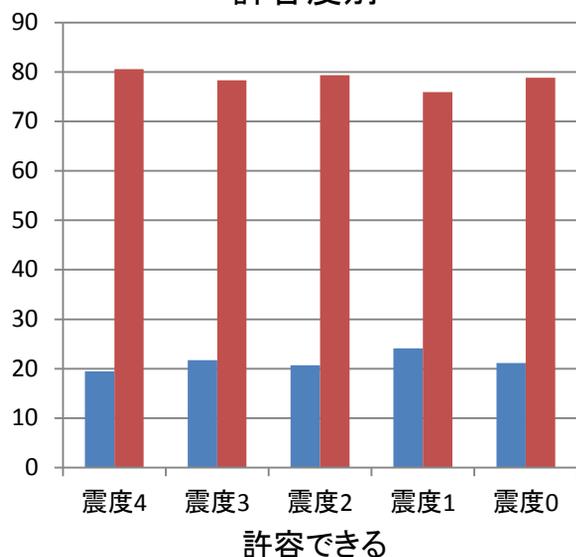
危機感の有無別



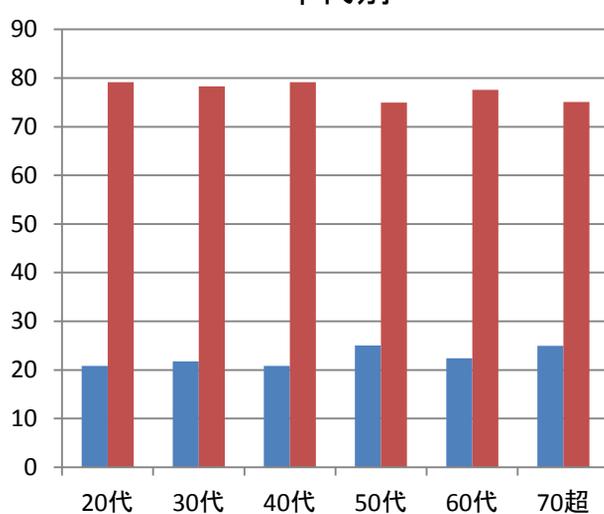
認知項目数別(理解度)



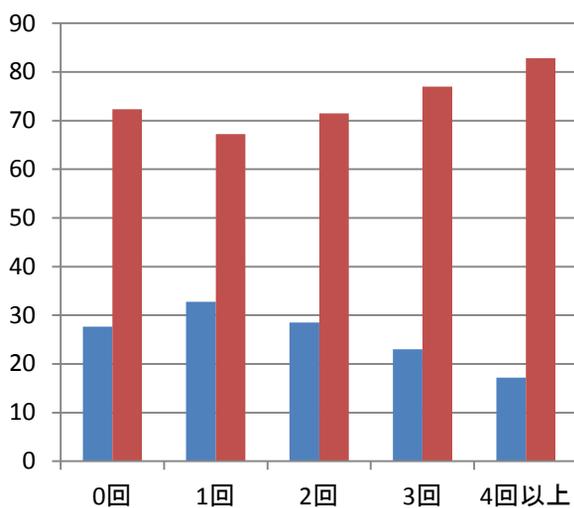
許容度別



年代別



速報の経験回数別



地震体験、興味の有無別

